

# 令和4年度南部圏域課題解決プラン

## 実施結果及び評価



# 1 強靱・安心を実現する地域づくり

## (1) 強く・しなやかな地域社会の構築

### 【プラン1】すべての命を守り・つなぐソフト対策の推進

#### 徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 地域防災を担う人材の育成	イ 関係機関との連携・協働による防災訓練等の実施
ウ 災害に備えた応援体制の充実	エ 災害時を見据えた健康な地域づくり
オ 要配慮者支援対策の推進	カ 災害医療力の強化
キ 山地災害の危険性の高い地域の調査や点検の実施	ク 効果的な住民避難に繋げる「洪水浸水想定区域図」の活用
ケ 水位周知河川の「洪水タイムライン」の活用	コ ファミリータイムラインの作成
サ 避難行動促進のための水位情報や河川情報の発信	シ 土砂災害警戒区域に関する情報の周知
ス 地域におけるきめ細やかな雨量情報を提供	セ BCP（事業継続計画）の策定・実践力向上

プラン評価	順調
事務局所見	<p><b>【地域創生防災部】</b> 切迫する南海トラフ巨大地震や頻発・激甚化する風水害など大規模自然災害を迎え撃つため、「深化する！防災減災県南プログラム」に基づき、「防災出前講座」や住民参加型防災イベント「防災まつり」の実施により地域住民の防災意識の高揚を図ると共に、市町災害対策本部運営訓練の支援、地域が一丸として防災に取り組む期間「四国の右下防災旬間」の設定など防災機関の連携を図ることで、地域防災力の向上に繋がった。</p> <p><b>【保健福祉環境部】</b> 要配慮者支援対策としては、個別避難計画策定支援のための対策会議や研修会の開催により、災害発生時における要配慮者の円滑な避難に対する理解が深まった。 災害医療力強化に関しては、医療救護活動訓練等への参加・支援を行うことにより、災害時医療救護体制の向上が図られた。</p> <p><b>【県土整備部】</b> 水位周知河川（6河川）においては、策定した「洪水浸水想定区域図」、「洪水タイムライン」の周知に努めるとともに、「ファミリータイムライン作成」勉強会を開催することにより、住民の避難意識の醸成が図られた。 さらに、「河川監視カメラ」を5箇所設置したことにより、河川の水位監視体制の強化が図られたとともに、洪水時の切迫感ある映像提供により、住民の避難行動を促すことに寄与した。</p> <p><b>【農林水産部】</b> また、山地に起因する災害から地域住民の生命及び財産を守るため、災害情報を収集する山地防災ヘルパーを新たに3名追加し、災害危険箇所などの調査・点検パトロールを実施した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
小・中・高校生を対象にした防災講座等実施回数 '17) 34回 → '22) 40回以上	34回	40回以上	40回以上	40回以上	40回以上	◎	○	
		53回	40回	44回	42回			
医療救護活動訓練の実施市町数 '17) - → '22) 2市町	-	2市町	2市町	2市町	2市町	◎		
		2市町	2市町	1市	2市町			
災害の危険性が高い山地災害危険地区の調査・点検パトロールの実施箇所数 '17) 61箇所 → '22) 60箇所	61箇所	60箇所	60箇所	60箇所	60箇所	◎		○
		72箇所	84箇所	76箇所	63箇所			
山地防災ヘルパーの認定者数(累計) '17) 36人 → '22) 45人	36人	41人	43人	45人	45人	◎		○
		41人	43人	46人	49人			
全ての水位周知河川における「洪水浸水想定区域図」の策定(累計) '17) - → '19) 6河川	-	6河川	-	-	-	-		○
		6河川	-	-	-			
全ての水位周知河川における「洪水タイムライン」の策定(累計) '17) 1河川 → '19) 6河川	1河川	6河川	-	-	-	-		○
		6河川	-	-	-			
ファミリータイムラインの作成(累計) '17) - → '21) 5地区	-	1地区	3地区	5地区	7地区	◎		○
		1地区	3地区	5地区	7地区			
危機管理型水位計の整備(累計) '17) - → '20) 18箇所	-	9箇所	18箇所	-	-	-	○	○
		9箇所	18箇所	-	-			
土砂災害警戒区域の指定率(累計) '17) 53% → '19) 100%	53%	100%	-	-	-	-		○
		100%	-	-	-			
河川監視カメラの整備(累計) '17) - → '22) 9箇所	-	-	-	6箇所	9箇所	◎	○	○
		-	-	6箇所	11箇所			
マイナンバーカード利用によるPHR(Personal Health Record)の活用推進 '17) - → '22) 推進	-	推進				-	○	
		推進	推進	推進	推進			
GIGAスクール構想と連携した「まなぼうさい教室」の開催数 '17) - → '22) 10回	-	-	-	-	10回	◎		
		-	-	-	10回			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 切迫する南海トラフ巨大地震や頻発・激甚化する風水害に備えるため、デジタル社会などの新たな課題に対応した防災出前講座や防災ワークショップの実施による地域住民の防災意識の高揚、防災訓練による防災関係機関との連携強化など、「深化する！防災減災県南プログラム」を着実に推進し、南部地域防災力の強化を図る。  (ア, イ, ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 防災出前講座（実施回数61回、受講者数2,221人）の実施や防災訓練の支援などの防災教育・啓発の取組を行った。 また、デジタル社会の進展に呼応する新たな防災教育・啓発として「いつでもどこでも」学べる防災として防災動画のYouTube配信を行った。 さらに、防災機関と連携した市町災害対策本部運営訓練、「顔の見える関係」構築を目的とした会議の実施などの取組を行った。</p> <p>■成果 防災出前講座の実施をはじめとした取組により「深化する！防災減災県南プログラム」が推進され、防災減災対策の強化につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	
<p>【施策②】 災害時の「防災拠点」として、また平時は防災啓発を行うなど、地域住民の防災意識の高揚や防災知識の普及活動の場として、南部防災館の利活用を図る。  (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 南部防災館においては、防災講座（実施回数120回、受講者数2,763人）の開催、防災備蓄・防災パネル展示などの防災啓発のほか、普通救命講習や消火器訓練、地域住民を対象とした津波避難訓練の実施など地域住民の防災意識の高揚や防災知識の普及を推進する取組を行った。</p> <p>■成果 防災講座や津波避難訓練などの実施により、地域住民の防災意識の高揚や防災知識の普及につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		
<p>【施策③】 巨大地震による津波被害を軽減する海岸防災林について、県南地域の住民との協働による保護・管理活動を実施する。  (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 海陽町「大里松原」の海岸防災林において、海陽中学校生や海部高校生、地元住民、関係者などと協働・連携して、クロマツ植樹による海岸林を造成し、保護・管理活動を実施した（R4.12.18 175人参加）。</p> <p>■成果 海岸防災林の保護・管理活動の実施により、海岸防災林の整備が推進された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 専門知識を有する人材や県職員が講師となり、次世代の防災を担う人材の育成のため、学校や地域と連携し、防災講座等を開催するとともに、「家庭で学べる防災」の展開、防災関係動画の発信などにより、新たな防災教育・防災啓発を実施する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 次世代の防災の人材育成として、南部圏域の小・中・高校生に対して県職員を講師として派遣し防災教育を行う「まなぼうさい教室」（実施回数42回）を実施した。 また、「家庭で学べる防災」の取組として、徳島県公式YouTubeチャンネルである「みぎアゲTV」に防災をテーマとした動画の配信を行い、動画についての周知を行った。 さらに、陸上自衛隊とも連携し、災害発生時に対応できる「災害実行力」を身に付ける「防災デイキャンプ」を実施した。</p> <p>■成果 「まなぼうさい教室」、防災動画の配信、「防災デイキャンプ」の実施などにより、次世代を担う人材育成につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	
<p>【施策⑤】 南部圏域内で開催される各種イベントにおいて、防災減災の要素を加えるなど、様々な場を活用し、広く防災教育・防災啓発を行う。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 南部圏域内で開催される地域イベントへの参加による防災教育・啓発に取り組んでおり、令和4年度においては、牟岐町産業祭や四国の右下観光局が主催するイベントにおいて防災ブースを出展し、防災教育・啓発を行った。 また、県公式YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」に防災に関する動画を配信することにより、防災教育・啓発の機会創出を図る取組を行った。</p> <p>■成果 地域イベントだけでなく、家庭などにおいても防災教育・啓発の機会創出を図ることができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	
<p>【施策⑥】 防災関係機関と連携した実践的な防災訓練の展開や、市町・地域、事業所等が実施する各種防災訓練への参加・支援を通じ、南部地域の防災力向上を図る。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 南部圏域内の防災関係機関と連携し、実践的な災害対策本部の訓練である「市町指揮機関訓練」（図上訓練・勉強会）を実施したほか、学校や事業者に対する津波避難訓練の支援などを実施した。 また、市町と連携し、災害時に使用する情報器機を用いた「情報伝達訓練」を実施した。</p> <p>■成果 防災関係機関と連携した実践的な訓練の実施等により、南部地域における防災力向上を推進した。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑦】 多くの地域住民にとって防災減災を考える機会となるよう、様々な展示・体験を用意した防災イベントを防災関係機関と連携し実施する。  (ア、イ)</p>	<p>■令和4年度取組 昭和南海地震が発生した12月に重点的に防災に取り組む期間として「四国の右下防災旬間」を設定し、多くの地域住民が参加する防災イベント「防災まつり」などを防災関係機関と連携して実施した。 また、教育委員会、陸上自衛隊などと連携し、小・中学生を対象とした「災害対応力」を体験して身をつける「防災デイキャンプ」を実施した。</p> <p>■成果 「防災まつり」や「防災デイキャンプ」などの取組により、南部圏域の地域住民の防災意識の向上につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		
<p>【施策⑧】 休日等勤務時間外における緊急事態や災害発生時の応急対応のため、配備編成計画の作成、初動要員及び市町派遣職員の指定を行うとともに、研修の実施等、職員の災害対応力向上に努める。  (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 休日勤務時間外の災害等の対応については、初動体制運用要領に定めるとともに、応急対応のための特別初動要員として20名、市町との連絡調整を行う市町派遣職員として30名の職員に対して指定を行い、職員に対しては研修等を行った。</p> <p>■成果 指定職員への研修等により、職員の災害対応能力向上につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		
<p>【施策⑨】 非常時における防災関係機関等との円滑な情報共有のため、衛星携帯電話など通信端末の整備による、通信手段の複数化や、災害時情報共有システムの有効活用など、情報連絡体制を充実させる。  (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 非常時における防災関係機関との情報共有のため ・衛星携帯電話 ・デジタル無線機（電話・メール） ・衛星系防災行政無線（電話・FAX・インターネット） などを整備し、通信手段を複数構築している。 令和4年度は、各市町と連携し、災害時の情報器機を用いた「情報伝達訓練」を実施した。</p> <p>■成果 防災関係機関と情報共有のための通信器機の整備を行うとともに、情報伝達訓練などを実施することにより情報連絡体制の充実が図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑩】 出前講座や市町等との実践訓練を通じて、平時からの健康づくりや快適なトイレ環境とエコノミークラス症候群予防、新型コロナウイルス等感染症対策などを併せた「健康避難生活」の普及啓発を図る。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 出前講座や医療救護活動訓練の実施等にあわせ、「健康避難生活」の普及啓発を行った。</p> <p>■成果 普及啓発により、県民や関係機関等へ情報提供ができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑪】 災害発生時の避難の際に配慮を要する避難行動要支援者の個別の避難を支援する「個別避難計画」の作成を推進するため、管内5市町と連携し、要配慮者対策会議等を開催し、市町の個別避難計画作成を支援する。 また、市町等との実践訓練を通じて、災害時における高齢者や母子、障がい者などの要配慮者にやさしい避難所の設置・運営を推進する。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 管内市町の「個別避難計画」策定を支援するため、「南部圏域災害時要配慮者対策会議」や「南部圏域福祉防災研修会」をオンラインにより開催した。 市が実施している避難所開設・運営訓練に参加し、要配慮者に関する普及啓発を行った。</p> <p>■成果 担当者会議や研修会を通して「個別避難計画」策定に向けた効果的な手法についての情報共有が図られ、各市町での計画作成が進みつつある。市と連携し、避難所開設・運営訓練を通して、要配慮者へ配慮した避難所運営に関する情報提供ができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑫】 災害時要配慮者を地域ぐるみで支えるため、在宅等で避難生活を送る要配慮者に対し、発災初期から支援者同士の連携が円滑に進むよう、平時から保健・医療・福祉分野のネットワークを構築するとともに、若年層を中心として広く要配慮者の支援方法等の普及啓発を行うことにより、地域の支援力の向上を図る。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 「南部圏域災害時コーディネーター研修会および調整会議」を開催し、各機関の災害対策に関する現状の共有等を行った。避難所開設・運営訓練において、母子スペースの設置及びスクリーニング訓練を通し、地域住民および関係機関への啓発を実施した。</p> <p>■成果 保健・医療・福祉分野の関係機関と、顔の見える関係の構築が進められた。 要配慮者を考慮した避難所運営に対する理解の醸成が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑬】 災害発生時に被災者に適切な治療や医薬品の提供を行うため、マイナンバーカード利用による個人の医療・健康等データ（PHR：Personal Health Record）を活用できる仕組みの構築を推進する。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 マイナンバーカードの申請や健康保険証としての利用申込を支援する「出張申請サポート事業」や、カード新規取得者を対象に県独自ポイントを付与する「徳島県版プレミアムポイント事業第2弾」を実施した。</p> <p>■成果 上記事業をはじめとしたマイナンバーカードの普及促進策を展開することにより、令和元年度から交付率が53.5%増加した。 &lt;マイナンバーカード交付率（県内）&gt; R元年度末：12.8% → R4年度末：66.3%</p>	B	デジタルとくしま推進課	○	
<p>【施策⑭】 災害時コーディネーターを中心に、災害拠点病院などの医療機関と連携した訓練を実施するとともに、市町に設置される医療救護所と関係機関との医療救護活動における連携体制の強化を図る。 (カ)</p>	<p>■令和4年度取組 「南部圏域災害時コーディネーター研修会及び調整会議」の開催や、災害拠点病院や市町等との「災害時対応情報交換会」の実施により、災害発生に備えて、平時から関係機関の連携体制強化に努めた。 また、医療救護活動訓練等への参加・支援を行い、災害時の医療救護体制の向上に努めた。</p> <p>■成果 研修会・調整会議や情報交換会を通し、関係機関との連携体制の強化が図られた。また、訓練を通じ、災害対応能力の向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑮】 台風豪雨やゲリラ豪雨による土砂災害から生命・財産を守るため、治山施設や地すべり防止施設等を整備するとともに、山地災害の危険性が高い地域の調査やパトロールを実施し、人的災害ゼロを目指す。 (キ)</p>	<p>■令和4年度取組 台風による集中豪雨や線状降水帯による豪雨が頻発していることから、災害時要配慮者施設（幼稚園・老人ホーム等）に隣接する地域や山地に起因する災害が発生した地区などを重点的に調査・点検し、併せて地域住民への啓発活動を行った。</p> <p>■成果 山地災害危険地区等の調査を、美波管内27箇所、那賀管内36箇所、計63箇所で行った。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○



主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑯】 山地災害に関する情報収集の迅速化や地域住民に対する防災啓発を推進するため、地域に密着した山地防災ヘルパーの認定を推進する。</p> <p>(キ)</p>	<p>■令和4年度取組 5月20日～6月30日の「徳島県山地災害防止キャンペーン」期間中において、山地防災ヘルパーと共に山地災害危険地区のパトロールを実施した。</p> <p>■成果 山地に起因する災害情報や情報収集をより迅速化し、地域に密着した山地防災ヘルパーを新たに3名認定した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○
<p>【施策⑰】 水位周知河川で策定した「洪水浸水想定区域図」の周知や活用により、住民の避難意識の醸成を図るとともに、適切な避難場所の設定や円滑かつ迅速な避難のための措置を講じ、一層効果的な住民避難に努める。</p> <p>(ク)</p>	<p>■令和4年度取組 策定した「洪水浸水想定区域図」の周知に努めるとともに、市町が作成するハザードマップ作成の支援を行った。</p> <p>■成果 「洪水浸水想定区域図」の策定・周知により、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項を記載した洪水ハザードマップの作成を支援し、出水時の水防活動への活用や平時から洪水に備える避難意識の醸成が図られた</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○
<p>【施策⑱】 策定した「洪水タイムライン」を流域住民に周知を図り、安全かつ確実な避難行動へ繋げるとともに、防災機関が活用し、地域における防災活動の迅速化など、災害対応能力の向上を図る。</p> <p>(ケ)</p>	<p>■令和4年度取組 策定した「洪水タイムライン」の周知に努めるとともに、関係防災機関と時系列ごと取るべき災害対応の確認を行った。</p> <p>■成果 平時からの洪水への備えと住民の安全かつ確実な避難を確保するため、防災機関の連携による地域の防災活動の迅速化など、災害対応の能力の向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○
<p>【施策⑲】 「平成30年7月豪雨」や「令和元年台風第19号」による未曾有の大水害を受け、洪水からの「逃げ遅れゼロ」社会の実現に向けた避難意識の醸成を図るため、「ファミリータイムライン作成」の支援を推進する。</p> <p>(コ)</p>	<p>■令和4年度取組 那賀町において、「ファミリータイムライン作成」勉強会を2回開催した。</p> <p>■成果 台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、家族や隣近所が取るべき行動を時系列に整理した「ファミリータイムライン」の作成支援に取り組むことにより、住民が「避難の備えやタイミング」「避難場所の選定や逃げ方」など避難行動に向けた課題に「気づき」、どのような行動が必要なのか「考える」ことができるため、水防災に関する知識と心構えを共有し、「避難の実効性確保」が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策20】 IoTを活用した危機管理型水位計の整備により、河川の水位監視体制を強化するとともに、人的被害の軽減を図る水位情報を発信し、住民の早期避難につなげるよう努める。</p> <p style="text-align: right;">(サ)</p>	<p>■令和4年度取組 これまでに設置した危機管理型水位計18箇所（阿南管内8箇所、那賀管内2箇所、美波管内8箇所）の周知に努めた。</p> <p>■成果 河川の水位監視体制の強化が図られるとともに、平時から洪水に備える避難意識の醸成が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部	○	○
<p>【施策21】 洪水からの「逃げ遅れゼロ」社会の実現に向けた住民の避難行動を促すため、洪水時に「切迫感」のある河川状況をリアルタイムで確認できる「河川監視カメラ」の設置を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(サ)</p>	<p>■令和4年度取組 河川監視カメラを5箇所設置した。（阿南管内1箇所、那賀管内2箇所、美波管内2箇所）</p> <p>■成果 河川の水位監視体制の強化が図られるとともに、洪水時の切迫感のある映像提供により、避難行動をとりやすくなった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部	○	○
<p>【施策22】 土砂災害による被害から生命・財産を守るため、IoTを活用した雨量計の整備により、きめ細やかな雨量情報を提供し、住民の適切な避難を支援する。</p> <p style="text-align: right;">(シ, ス)</p>	<p>■令和4年度取組 令和2年度に設置完了したIoT雨量計を供用している。</p> <p>■成果 局地的集中豪雨等の事前準備として、きめ細やかな雨量情報の提供に寄与し、地域住民の安心・安全に役立っている。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部	○	○
<p>【施策23】 南海トラフ巨大地震による津波災害から農業の早期復興を図るため、管内土地改良区やJA等による「農業版BCP」の実践力向上の取組みを支援する。</p> <p style="text-align: right;">(セ)</p>	<p>■令和4年度取組 令和5年2月9日に、「南部地域農業版BCPに係る研修会」を開催するとともに、阿南市の江ヶ谷池において、地震時におけるため池被害の軽減を図るため、緊急放流訓練を実施した。</p> <p>■成果 農業版BCPに関する知識や防災意識の向上に加え、災害対応に係る実践力が向上した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農林水産総合技術 支援センター 農山漁村振興課		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策24】 大規模災害時における橘港の機能継続計画（港湾BCP）（H27策定）、大規模災害時における浅川港の機能継続計画（港湾BCP）（H30策定）に基づき、平素から関係者相互の連絡系統の確立や継続的な活動を行う。 (七)</p>	<p>■令和4年度取組 橘港及び浅川港の港湾BCPについて、訓練や協議会の結果を踏まえ計画の改定作業を進めた。</p> <p>■成果 発災後における「経済活動の継続」や「地域社会の早期復興」に資するため、最低限の物流機能を維持させるための機能継続計画策定や、関係者相互の連携強化のための協議会・訓練を継続的に実施し、港湾BCP（機能継続計画）の実効性が向上した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		
<p>【施策25】 県内企業における災害時のBCP（事業継続計画）について、大学や商工団体等と連携した研修・指導や認証制度の運用等により、策定を促進する。 (七)</p>	<p>■令和4年度取組 商工団体の相談支援体制（徳島経済産業会館内にある「とくしまBCP支援センター」）を充実させるとともに、より一層の連携のもと、BCP策定相談や防災対策のための融資制度の紹介などを行った。 また、徳島大学と連携し、BCP研修の実施等普及啓発に取り組むとともに、「徳島県企業BCP認定制度」について、引き続き制度の運用を行い、県内企業におけるBCPの策定を促進した。</p> <p>■成果 新規4社認定。更新10社認定しており、継続したBCPの見直しが図られている。</p>	A	商工政策課		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●防災に対する共通理解を深め、有事の際の避難行動などに生かすため、「広報あなん」を活用し、様々な情報を提供する。また、地元自主防災会での防災訓練、防災講座等に参加し、防災意識の高揚を支援するとともに、訓練・講座等の実施に際し、補助金を交付する。</p> <p>●自主防災組織の組織率100%を目指す。また、公民館を単位とした市内14地区に自主防災組織連合会の結成を促進するとともに自主防災組織連絡協議会を通して各地区の災害リスクの共有や相互の情報交換などにより、自主防災組織連絡協議会等を通して、地域の防災力の向上を図る。</p> <p>●地域防災計画やハザードマップ等に基づき、多種多様な災害に対応した総合的かつより有効な防災体制の確立を図る。また、社会・経済の変化に即し、消防体制、救急・救助体制の充実強化や、住民一人ひとりの防火・防災意識の高揚による予防対策の充実に努め、安全・安心で災害に強いまちづくりを目指す。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙への防災情報の掲載</li> <li>・自主防災組織の防災訓練、防災講座への参加</li> <li>・自主防災組織育成事業補助金の交付</li> <li>・高潮ハザードマップの作成</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の防災訓練35回、防災講座12回</li> <li>・自主防災組織育成事業補助金の交付実績 68組織、補助額417,000円</li> <li>・自主防災組織235組織、組織率98.5%（令和5年3月31日現在）</li> <li>・高潮ハザードマップ 5,000部印刷、ホームページで公開</li> </ul> <p>住民参加による防災活動の推進を図り、地域の自発的な防災活動を支援するとともに、住民の防災に対する意識の高揚が図られた。</p>	阿南市
<p>●自主防災組織の結成率を高めるとともに、防災訓練活動を実施し、地域全体の防災力強化を図る。</p> <p>●地域における防災力向上の担い手となる人材の養成を促進するため、防災士の資格取得を支援し、災害に強いまちづくりを推進する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は毎年、自主防災組織訓練を各地区毎に実施していたが、コロナ禍により、実施数が以前より減っている。少しずつコロナの影響も小さくなりつつあり、今後は少しずつ活動を再開する。</li> <li>・防災士資格取得者に補助金を交付し、防災士の取得者を増やした。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の活動を続けることが、共助の大きな力となり、地域の防災力強化につながっている。</li> <li>・地域の防災リーダーとなる防災士が、毎年数人ずつ増えており、民間から「那賀町防災士の会」が発足し加入者が増えつつある。</li> </ul>	那賀町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●自主防災組織や各種団体の防災リーダーを育成し、組織ごとの防災力向上を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 地域防災推進員養成研修の受講案内と自主防災組織に周知するとともに自主防災会防災サークルで避難所の設営を目的とした訓練を実施した。</p> <p>■成果 防災意識の高揚や防災知識の普及につながった。</p>	<p>牟岐町</p>
<p>●自主防災会の充実、活性化の取組みに対して支援するため、徳島大学地域づくりセンターと連携し、地域に応じた防災活動の普及啓発を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 徳島大学地域づくりセンターと連携し、地域の防災力向上に向けて、自主防災会の活動支援や防災活動の普及などを実施した。</p> <p>■成果 地域及び町の防災力が向上した。</p>	<p>美波町</p>
<p>●住民・自主防災組織等を対象にした防災講座や防災訓練の実施、小中学校での防災教育等防災意識の高揚及び防災知識の普及活動を行う。</p> <p>●被災後早期に的確なまちづくりに着手するために、事前復興計画の策定、地域防災計画・町業務継続計画（BCP）・津波避難計画を必要に応じ改訂し運用する。</p>	<p>■令和4年度取組 全町一斉津波避難訓練を開催し、同日穴喰小学校で防災クイズやテント組み立てなどを行う防災祭りを開催した。</p> <p>■成果 定期的に避難訓練や防災教育を実施することで、町内の防災意識向上に繋がった。</p> <p>■令和4年度取組 事前復興計画に定めた内容に取り組む事前復興推進事業を実施した。避難確保計画に基づき、町内特定避難困難地域の解消に取り組んだ。</p> <p>■成果 発災後迅速な復興を目指し、遺体安置所や応急仮設住宅等の候補地選定や、町民向けWSの実施、庁内検討会を実施し、事前復興推進を図った。特定避難困難地域の解消検討業務を行うことにより、同地域解消に向けて必要な避難施設の数量や位置を把握することができた。</p>	<p>海陽町</p>

【プラン2】あらゆる自然災害を迎え撃つハード対策の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 避難場所や避難路の整備	イ 山地災害の未然防止対策
ウ 緊急輸送道路等の整備・倒木対策	エ 河川・海岸堤防等の地震・津波対策
オ 河川における浸水対策の推進	カ 海部川モデルの推進
キ 長安口ダムの本体改造の完成及び長期的堆砂対策の促進	ク 阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備に合わせた地域防災公園やアクセス道路の整備
ケ IoT・AI等を活用した戦略的なインフラのメンテナンス	

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【県土整備部】</p> <p>津波浸水被害の想定される沿岸部でのがけ崩れ対策と併せ、避難場所・避難路を整備したほか、緊急輸送道路等における拡幅工事や事前伐採を実施し、倒木災害の未然防止を図った。</p> <p>長安口ダムの「長期的堆砂対策」については、貯水池機能を将来にわたり確保するため、継続して検討が進められた。</p> <p>海部川においては、「海部川モデル」により河川堆積土砂の総合対策を推進した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
那賀川加茂地区、和食・土佐地区の築堤整備の促進 <'17> 工事施工中 → <'20> 完成	工事施工中	促進	完成	—	—	—		○
長安口ダムの本体改造の促進 <'17> 工事施工中 → <'19> 完成	工事施工中	完成	—	—	—	—		○
長安口ダムの長期的堆砂対策の促進 <'17> 事業着手 → <'22> 工事促進中	事業着手	促進	促進	促進	—	—		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】</p> <p>津波避難困難地域解消のため、津波浸水被害の想定される沿岸部での「がけ崩れ対策」と併せ、避難場所・避難路の整備や砂防施設（管理道や作業ヤード等）を活用した避難場所等の創出を推進する。また、地震や台風による災害からの避難場所を確保する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>「がけ崩れ対策」と併せた避難路（階段）を1箇所整備した。</p> <p>■成果</p> <p>津波避難困難地域解消のため「がけ崩れ対策」と併せた避難路の整備を累計65箇所実施し、避難場所の確保が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策②】 那賀川や海部川など上流域における森林の公益的機能の維持増進を目的とした治山事業を推進する</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から地域住民の生命・財産の保全を図る重要な国土保全政策となっていることから、山地において発生した崩壊地や荒廃溪流の復旧整備などを行った。</p> <p>■成果 治山事業を美波管内9箇所、那賀管内13箇所、計22箇所において実施し、森林の維持造成に努めた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○
<p>【施策③】 孤立集落の発生を防ぐため、倒木対策協議会（平成26年度設置）を通じ、生命線道路や緊急輸送道路において、台風や大雪等による倒木を防ぐ事前伐採を実施する。 また、発災時に緊急輸送路等の補完道となり得る農林道の整備を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 関係機関と連携し、緊急輸送道路及び生命線道路において事前伐採を実施した。（阿南管内2路線2本、那賀管内1路線127本、美波管内2路線282本）</p> <p>■成果 台風や大雨等による気象災害による倒木災害の未然防止につながった。引き続き現地調査の上、優先箇所から事業を実施していく。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 県土整備部		○
<p>【施策④】 津波迂回ルート設計等を進め、用地取得等が完了したところから工事を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 芥附海部線において、道路改良工事を実施し、事業の推進を図った。</p> <p>■成果 平成29年度から、開削が完了した区間の擁壁工や排水工の整備を順次進めており、令和3年度にはトンネル詳細設計が完了するなど、事業計画の達成に向け、順調に進捗した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		
<p>【施策⑤】 救命救急や防災活動を支援する緊急輸送道路などのインフラ整備を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 一般国道193号、195号他の緊急輸送道路において、用地買収及び拡幅工事等を実施した。</p> <p>■成果 切迫する大規模地震に対し、ハード面からの防災・減災対策を進め、県土強靱化を推進した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		
<p>【施策⑥】 河川・海岸堤防等の地震・津波対策を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 県管理の福井川、日和佐川、今津坂野海岸の堤防において、耐震補強工事等を実施した。</p> <p>■成果 堤防の耐震補強工事の進捗により、地震による被害や津波による浸水被害等の軽減や津波からの避難時間の確保が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑦】 河川・海岸における、陸閘・水門・樋門の自動化や統合による閉鎖を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 日和佐港海岸、浅川港海岸で計2基の自動閉鎖陸閘を整備した。また、中島港海岸、母川の樋門について、無動力化の設計を行った。</p> <p>■成果 河川・海岸における、陸閘・水門・樋門の自動化や統合による閉鎖を推進し、陸閘閉鎖作業の軽減・迅速化等、負担軽減が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		
<p>【施策⑧】 気候変動により頻発化・激甚化する水災害による被害を軽減するため、堤防強化、樹木伐採及び河道掘削等の安全に洪水を流下させる浸水対策を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組 那賀川、海部川、熊谷川、椿川などで治水上支障となる箇所樹木伐採や河道掘削を実施した。</p> <p>■成果 樹木伐採や河道掘削により適正な流下能力が確保され、浸水対策の強化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○
<p>【施策⑨】 平成26年8月、平成27年7月豪雨をはじめとする洪水被害から県民を守る予防的な治水事業として、那賀川加茂地区、和食・土佐地区等の県管理河川（重点対策河川）の整備を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組 那賀川加茂地区、和食・土佐地区では堤防整備が完成し、令和4年度は引き続き那賀川阿井地区、木頭出原地区、十八女地区や福井川など、県管理河川（重点対策河川）の整備を推進した。</p> <p>■成果 那賀川加茂地区、和食・土佐地区において、戦後最大流量を記録した平成26年8月豪雨と同程度の洪水に対しても、那賀川の氾濫を抑えることができたようになった。 他の河川においても事業計画の達成に向け、順調に進捗した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○



主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑩】            県民の生命や財産を守るため、河川の堆積土砂を撤去から活用まで支援・管理する「海部川モデル」により、堆積土砂の総合対策を推進する。            (カ)</p>	<p>■令和4年度取組            5カ年加速化対策事業を活用し、治水上支障となる箇所への樹木伐採、砂利掘削を推進するとともに、「竹・樹木」の有効活用を実施した。            【堆積土砂撤去実績】            ・Aゾーン【下流域：公共工事での活用】 V=18、400m<sup>3</sup>            （河床掘削）            ・Bゾーン【中流域：県民との協働事業】 V=48、500m<sup>3</sup>            （民間に配布量）            ・Cゾーン【上流域：民間による砂利採取】 V=45、000m<sup>3</sup>            （採取量）</p> <p>■成果            流域の浸水被害から県民の命と財産を守るため、河川管理上支障を来している堆積砂利や樹木の公共事業への活用や、民間での有効活用について、安定かつ継続的な方法を構築する「海部川モデル」を加速化させた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○
<p>【施策⑪】            直轄管理の長安ロダムにおいて、洪水調節能力の増強に向け、放流設備の増設を促進するとともに、長期的堆砂対策を促進する。            (キ)</p>	<p>■令和4年度取組            長安ロダムの長期的堆砂対策の設計・検討を実施した。</p> <p>■成果            長期的堆砂対策の検討が進められた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○
<p>【施策⑫】            阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備と合わせた穴喰地区地域防災公園へのアクセス道路の整備を推進する。            (ク)</p>	<p>■令和4年度取組            アクセス道路となる久尾穴喰浦線の用地買収および一部工事を実施した。</p> <p>■成果            津波による分断・孤立が懸念される海陽町穴喰地区において、穴喰インターチェンジへのアクセス道路となる「県道久尾穴喰浦線」や、結節点となる「穴喰地区・地域防災公園」の整備を、国・県・町が連携し、一体的に推進した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		
<p>【施策⑬】            IOT・AI等を活用し、費用の平準化・縮減や作業の省人化、効率化を図るため、予防保全等の計画的なインフラのメンテナンスを推進する。            (ケ)</p>	<p>■令和4年度取組            既存インフラについては、長寿命化計画等に基づく計画的な老朽化対策を進めており、令和4年度は桑野川において、UAV測量を実施し、今後の堤防調査に役立てていく。</p> <p>■成果            既存インフラの維持管理に新技術を積極的に活用することにより、診断の効率化・省力化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●住宅の耐震化の必要性及び支援制度を詳しく広報するとともに、耐震診断と耐震化を支援する。また、老朽化して危険な空き家・空き建築物の除却を推進する。</p>	<p>【阿南市】</p> <p>■令和4年度取組 住宅耐震化に関する広報としては、「阿南市ホームページ」及び「広報あなん」へ掲載し、啓発を行った。更には、阿南市総合防災訓練の際に耐震に係る相談ブースを設置し、周知を図った。</p> <p>■成果 耐震診断33戸、補強計画9戸を実施。また、耐震改修20戸、住替え支援10戸、除却支援による空き家の解体・除却10戸に対して補助金を交付したほか、特定空き家の除却2戸（行政代執行1戸、略式代執行1戸）を実施した。</p> <p>【那賀町】</p> <p>■令和4年度取組 耐震改修・除却の補助制度について広報で周知。</p> <p>■成果 耐震改修については実績がなかったが、危険空き家の除却を7件実施した。</p> <p>【牟岐町】</p> <p>■令和4年度取組 広報として、牟岐町ホームページ、広報むぎへの掲載を行った。</p> <p>■成果 補助事業に関しては、耐震診断5戸、住宅住替え支援事業1戸を実施した。</p> <p>【美波町】</p> <p>■令和4年度取組 住宅の耐震診断、耐震改修について、広報を実施し事業を進めた。老朽化して危険な空き家の除却について、広報を実施し除却を行った。</p> <p>■成果 耐震診断6件、耐震改修0件、簡易耐震補強（町単独事業）2件の事業を実施した。 空き家（住宅）解体件数 16ヶ所</p> <p>【海陽町】</p> <p>■令和4年度取組 広報活動は、海陽町の広報誌「広報海陽」に4月と11月の2回掲載した。</p> <p>■成果 木造住宅耐震診断8戸、耐震改修事業2戸、老朽危険空き家解体事業17戸について支援を実施した。</p>	<p>各市町</p>

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●民間ビル所有者等との協定締結をはじめ避難場所の確保や整備を推進する。</p> <p>●民間ホテル等との協定締結により避難所の拡充や環境整備を図る。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「災害時におけるキッチンカーによる炊き出し支援等に関する協定書」徳島県キッチンカー協会</li> <li>「電気自動車を活用した災害連携協定書」徳島日産自動車(株)、(株)日産サティオ徳島・日産自動車(株)</li> <li>「災害時における阿南市と徳島トヨペットグループの協力に関する協定書」徳島トヨペットグループ</li> </ul> <p>■成果</p> <p>避難所における機能強化及び環境整備を図ることができた。</p>	阿南市
<p>●避難場所、避難路の整備の充実（看板・防犯灯）を図るとともに、二次避難場所の整備を進める。</p> <p>●地震・津波等大規模災害に対策として高台整備を進める。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>指定避難所である鷺敷体育館の建替えに向けて、旧鷺敷体育館を除却後、駐車場として整備済み。</p> <p>そして令和5年度に完成する新体育館と駐車場を結ぶ連結道を拡幅し、大型車の通行が可能となった。</p> <p>■成果</p> <p>駐車場が広くなり、完成後の新体育館が指定避難所として有効に利用できるようになった。</p> <p>また体育館予定地と駐車場を結ぶ連結道が拡幅され、大型車の通行が可能で、大災害時の救援物資の搬入等が円滑にできるようになった。あとは新体育館の完成を待つのみ。</p>	那賀町
<p>●避難場所・避難経路の整備充実（防犯灯など）を図る。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>避難路整備及び備蓄倉庫・LED防犯灯を新設。</p> <p>■成果</p> <p>防災力強化につながった。</p>	牟岐町
<p>●避難場所、避難路の整備の充実（看板・防犯灯）を図るとともに、二次避難場所の整備を進める。</p> <p>●地震・津波等大規模災害に対策として高台整備を進める。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>蓄電池付きの避難誘導灯を整備した。</p> <p>■成果</p> <p>大規模災害発生時の、夜間における避難対策が図られた。</p>	美波町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●緊急避難場所、避難路等の整備、備蓄倉庫の充実等計画的に実施する。</p> <p>●河川氾濫の原因となる河川に堆積した土砂を取り除き、増水時における安全性を確保できるよう県と連携して取り組む。</p> <p>●消防団の車両・設備等を計画的に整備・充実し、地域防災力の強化を図る。</p> <p>●住宅の耐震診断・耐震改修や老朽危険空き家の取り壊しの支援を行う。</p> <p>●津波による分断・孤立が懸念される海陽町穴喰地区において、阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備に合わせて、防災拠点施設となる地域防災公園を整備する。</p>	<p>■令和4年度取組 避難路の整備として避難誘導灯の整備を3箇所。備蓄倉庫・備蓄品の整備1箇所（備蓄倉庫、発電機、簡易トイレ等）</p> <p>■成果 避難路の誘導灯整備により、夜間の避難行動の安全確保が図られた。また備蓄倉庫、備蓄品の整備により緊急避難時に必要となる物資の確保が出来た。</p> <p>■令和4年度取組 海部川、母川、穴喰川の堆積土砂及び樹木については、県と協力し取り除きを実施した。町で整備した八山残土処分場に撤去した土砂等の受け入れを行った。</p> <p>■成果 母川、穴喰川の堆積土砂及び樹木については、県と協力し取り除きを実施することにより増水時における安全性を確保ができた。</p> <p>■令和4年度取組 消防車両の整備2台。</p> <p>■成果 計画的に老朽車両の整備を行い、地域防災力の強化が図ることができた。</p> <p>■令和4年度取組 広報活動は、海陽町の広報誌「広報海陽」に4月と11月の2回掲載した。</p> <p>■成果 木造住宅耐震診断8戸、耐震改修事業2戸、老朽危険空き家解体事業17戸について支援を実施した。</p> <p>■令和4年度取組 穴喰地区地域防災公園については、工事用道路整備工事が完成し、国、県と協議を行い、本体造成工事の早期完成を目指す。</p>	<p>海陽町</p>

(2) 生涯健康で安全・安心できる暮らしの確保

【プラン3】「人生100年時代」を見据えた質の高い生活の確保

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 医療提供体制の構築	イ 地域包括ケアシステムの深化・推進
ウ 健康寿命延伸に向けた健康づくり	エ 自殺予防対策の推進

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【保健福祉環境部】</p> <p>在宅医療・介護コーディネート事業では、研修会や市町村支援を行い、多職種連携を強化することにより、地域包括ケアシステムの推進を図った。また、実習生の受入れ、災害医療体制・公衆衛生活動についての講義・演習により、将来、地域の保健医療活動を担う人材を育成した。</p> <p>食に関する正しい情報を提供する「健康づくり推奨店」の登録促進により、地域住民が「食」から健康づくりに取り組む環境整備を図った。</p> <p>さらに、自殺予防対策では、ワンストップコーディネートを意識した相談窓口ネットワークの構築を目的とした「けんなん”ほっと”つながるステーション事業」を開始した。事業を活用しながら、旧海部町の研究により明らかになった自殺予防因子についても引き続き啓発し、自殺予防サポーターを養成することにより、生き心地の良いまちづくりを推進した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
認知症サポーター数(累計) 〈'17〉 10,256人 → 〈'22〉 16,800人	10,256人	13,500人	14,600人	15,700人	16,800人	◎		
		13,957人	14,191人	14,839人	15,392人			
栄養表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店等(健康づくり推奨店)の登録数(累計) 〈'17〉 20店舗 → 〈'22〉 30店舗	20店舗	24店舗	26店舗	28店舗	30店舗	◎		
		24店舗	27店舗	28店舗	32店舗			
自殺予防サポーター数(累計) 〈'17〉 5,541人 → 〈'22〉 7,500人	5,541人	6,300人	6,700人	7,100人	7,500人	◎		
		6,908人	7,043人	7,266人	7,647人			
「けんなん“ほっと”ナビゲーター養成講座」の開催回数 〈'17〉 - → 〈'22〉 1回	-	-	-	-	1回	◎		
		-	-	-	2回			
「けんなん“ほっと”つながるステーション」のステーション数 〈'17〉 - → 〈'22〉 20箇所	-	-	-	-	20箇所	◎		
		-	-	-	31箇所			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 南部圏域の公的医療機関が一体となった医療提供体制（海部・那賀モデル）において、医療従事者の相互交流及び協力、ICT活用によるネットワーク構築、治療材料・医療機器の共同調達等を推進する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 海部・那賀モデル推進協議会については、新型コロナウイルス感染防止のため、令和4年度も引き続き、開催を延期した。</p> <p>※南部圏域の公的医療機関も含む「徳島医療コンソーシアム」については、年2回の協議会開催等を通じて、各病院における現状及び課題を共有し、課題に対する解決策について協議を行った。</p> <p>■成果 徳島医療コンソーシアムにおいて、関係機関が一体となり、医師確保をはじめとした医療提供体制の強化に向けた取組（遠隔医療の実装等）を進めた。今後、海部・那賀モデルについても、推進協定書に基づき、医療従事者の相互交流及び協力等の実施に向けた検討を引き続き実施していく。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課	○	
<p>【施策②】 救急医療電話相談（#7119）や小児医療電話相談（#8000）の利用促進のための周知を図り、活用していただき、急な病気やケガにより不安が生じる県民への安全・安心の確保とともに、保護者が安心して子育てができる環境整備を図る。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 周知用チラシを用いて、県内医療機関、社会福祉協議会等へ送付し、周知依頼。</p> <p>■成果 広報への取組みにより認知度が向上、県民の安全・安心の確保とともに、保護者が安心して子育てができる環境の整備が進んだ。 （#7119相談件数 R4：3、21件、うちすぐに救急車を呼ぶよう案内した件数343件） （#8000相談件数 R4：8、531件、R3：6、905件、R2：6、970件、R1：10、057件、H30：11、804件）</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課		
<p>【施策③】 県民のさらなる健康向上や医療費の抑制を図るため、患者の診療情報を各医療機関、介護事業所及び薬局で共有化する「阿波あいネット」の利用拡大を図る。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 「阿波あいネット」参加医療機関間での情報提供、参照する機能の拡充を推進し、阿波あいネットの更なる利便性の向上と患者へ提供する医療の質の向上を目指して、新たに美波病院にサーバーを整備し、情報の双方向連携を可能にした。</p> <p>■成果 地域の中核病院である美波病院が他の双方向連携施設（海部病院、上那賀病院等）と情報を双方向で共有できることにより、南部圏域における中核病院の連携強化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課	○	

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 県内3大学等から実習生を受け入れ、他職種連携による災害医療や地域包括ケアシステムの推進に重点をおいた臨地実習を行うことにより、将来の保健医療の中核を担う人材育成を図るとともに地域医療の充実を目指す。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 県内3大学及び富岡東高等学校専攻科・看護科等の学生実習（累計339名）を受け入れ、カリキュラムの中で、近年の地震等大規模災害の状況や、災害医療体制・公衆衛生活動についての講義等により、将来、地域の保健医療活動を担う人材育成に努めた。</p> <p>■成果 事業を通じ、将来の地域保健医療活動を担う人材の育成に繋がった。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑤】 人生の最期まで本人の生き方が尊重される医療・ケアに携わる医療・保健・介護分野の人材育成と、多職種連携を強化することにより、地域包括ケアシステムの推進を図る。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 在宅医療・介護コーディネート事業に取り組み、研修会及び市町村支援を実施した。</p> <p>■成果 事業を通じ、医療・保健・介護分野の従事者の人材育成に繋がった。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課 長寿いきがい課		
<p>【施策⑥】 地域における高齢者支援の充実を図るため、また高齢者の地域での繋がりを維持するため、感染症対策を徹底し、認知症サポーターの拡大を推進する。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 各市町、各種団体や企業の協力のもと、様々な年齢層に対する認知症サポーター養成講座を実施した。</p> <p>■成果 認知症についての正しい知識を普及・啓発することができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 長寿いきがい課 各市町		
<p>【施策⑦】 長期の喫煙習慣が主な原因であるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について情報提供を行い、受動喫煙防止や喫煙習慣の改善など健康づくり対策を推進する。 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 若者に対する啓発として、学校への出前講座や高校文化祭等各種イベントの機会を捉え、パンフレット等を活用した健康教育を行うとともに、事業所に対しては、商工会を通じたチラシ配布等により、たばこによる健康への影響やCOPDの予防・早期発見・治療につなげるための正しい知識の普及啓発を行った。</p> <p>■成果 COPDの認知度アップやCOPD・喫煙に関する正しい知識の普及啓発が図られた。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑧】 栄養表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店等（健康づくり推奨店）を拡大し、「食べること」から元気で活力ある地域づくりを推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 野菜たっぷりメニューの提供や、メニューの栄養成分表示を行う飲食店等の登録を推進するとともに、登録店舗の情報発信を行った。</p> <p>■成果 食に関する正しい情報を提供する飲食店等を拡大することにより、地域住民が「食」から健康づくりに取り組むことができる環境整備を推進することができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑨】 「自殺予防サポーター」の養成に努めるとともに、関係機関と連携し、ワンストップを意識した相談・支援体制の充実を図る。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 自殺予防対策会議や自殺対策関係職員スキルアップ研修会等を開催し、関係機関との連携強化を図った。また、ワンストップコーディネートを意識した相談窓口ネットワークの構築を目的とした「けんなん”ほっと”つながるステーション事業」を開始。事業を活用しながら、旧海部町の研究により明らかになった自殺予防因子についても引き続き啓発し、自殺予防サポーターを養成した。</p> <p>■成果 自殺予防サポーター養成者数 381名</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		



市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●阿南医療センターの医師確保を図ることにより、救急医療体制を確立するとともに、災害拠点病院及び地域医療支援病院としての機能維持及び安定した経営基盤の確保に向け、必要な支援を行う。</p> <p>●すべての住民が住み慣れた家庭や地域社会で共に助け合い、しあわせに暮らすことができるよう、住民との協働のもとに地域福祉の体制の整備を図るとともに、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けた取組を推進する。</p>	<p>■令和4年度取組 阿南医療センターの医師確保対策事業として、同センターに開設された「阿南地域医療教育センター」を拠点として実施する、徳島大学の寄附講座「実践地域診療・医科学分野」に係る経費の一部を補助金として交付し医師の確保を行った。</p> <p>■成果 本事業の実施により阿南医療センターで従事する医師の確保のみならず、将来の地域医療を担う医師の育成も図られた。</p> <p>■令和4年度取組 各種団体や企業の協力のもと、様々な年齢層に対する認知症サポーター養成講座を実施した。</p> <p>■成果 認知症についての正しい知識の普及・啓発が図られた。</p>	阿南市
<p>●県立海部病院等と連携し、地域医療の充実を図るためには医師の人材確保が不可欠である。地域医療を守る会を支援しながら医師流出を抑える施策を継続し、連携強化を推進する。</p> <p>●町全体での見守り支援として、認知症サポーターの増加、生活支援体制を整備するとともに、医療と介護の連携を推進し地域包括ケアシステムの構築に向け内容の充実を引き続き図る。</p>	<p>■令和4年度取組 ありがとう弁当・クリスマスケーキ・バレンタインチョコなどを贈った。</p> <p>■成果 新型コロナウイルス感染症の影響により顔の見える関係作りは今までのようにはできなかった。</p> <p>■令和4年度取組 認知症サポーター養成講座は、1回実施。生活支援体制整備事業においては、専任の担当者を配置し、月2回の協議会を実施し、地域課題の改善に取り組んでいる。在宅医療介護連携推進事業を海部郡医師会に委託し、WEBを利用した医療介護関係者への研修を7回実施。</p> <p>■成果 これらの事業を通じて、地域包括ケアシステムの構築に向けた内容の充実が図られた。</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●高台に移転した美波病院又津波への対策がされた医療保健センターを活用し、美波町における総合的、継続的な保健医療福祉サービスの提供を継続していく。</p>	<p>■令和4年度取組 高台に移転済みの美波病院と津波対策がされた医療保健センターを活用し、包括的な保健医療福祉サービスを住民に提供した。</p> <p>■成果 美波病院と医療保健センターが保健・医療・福祉に関するあらゆる情報を共有・連携を深めた。</p>	<p>美波町</p>
<p>●住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう医療・介護の連携を強化し、町全体での見守り支援として、見守り事業者の増加、認知症サポーターの養成、生活支援体制の整備や充実に向けた取り組みを推進する。</p>	<p>■令和4年度取組 海部郡医師会と協力して、在宅医療・介護の連携を推進している。医療・介護関係者向けの研修会を計9回開催し、参加人数は計189人であった。在宅療養やACP普及啓発のため、住民向けの講演会やミニ講座を計4回開催し、参加人数は計106人であった。 小中学校、町・社協職員を対象として計6回認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを108人養成した。 社協と協力して配達サービス協力店に見守り協定への参加を呼びかけ、49ヶ所の事業者と協定を締結した。見守り協定事業者から気になる高齢者に関する連絡が計10回あり、社協と連携して対応している。 介護予防を目的とした教室を月2回、短期集中型の体操教室を1ヶ所、計10回、いきいき百歳体操の自主グループを対象にフォローアップ教室を17ヶ所、計41回開催した。 生活支援体制整備としては、第3層で取り組んでいる「ご近所での助け合い活動推進事業」に新規で8分館が申請し、計46分館で実施している。第1層では町内の商店などの事業者と連携して、コロナ禍で外出しにくい高齢者等を対象とした配達サービスを実施し、協力店は42ヶ所となっている。</p> <p>■成果 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、認知症サポーター養成講座は、職域や地域での開催を積極的に呼びかけなかった結果、開催の希望がなく養成講座の開催件数が減少した。今後は、感染状況を見ながら開催を呼びかけていく。 コロナ対策として実施した配達サービス協力店に、高齢者の見守り協定への参加を呼びかけた結果、協定事業者が49ヶ所増加し、計108ヶ所になった。今後、ラインを活用した見守りネットワークの構築に向けて取り組みを進めていく。</p>	<p>海陽町</p>

【プラン4】地域との協働による安全・安心な暮らしの確保

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 食の安全・安心の確保 ウ 児童虐待防止対策の推進	イ 消費者行政・消費者教育の推進 エ DV・性暴力被害に対する支援の充実
-------------------------------	---

プラン評価	
事務局所見	<p>【保健福祉環境部】</p> <p>児童虐待防止や予防のため、関係市町の要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関で連携し、必要に応じて個別ケース会議を開き、対応を協議した。</p> <p>さらに、DVや性暴力の被害者支援については、警察や関係機関との連携により、相談・保護・自立支援等を行い、関係機関とのネットワークの強化が、緊急時のスムーズな対応に繋がった。コロナ禍におけるDVの増加や深刻化が懸念される中、「DV電話相談」の24時間化を実施し、被害者に寄り添った支援を行った。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
学校安全ボランティアの登録数 <'17> 2,686人 → <'22> 2,000人以上	2,686人	2,000人以上 2,113人	2,000人以上 2,186人	2,000人以上 2,179人	2,000人以上 1,578人	△		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】</p> <p>監視指導体制の強化による食品表示の適正化、徳島県HACCP認証の普及、HACCPアドバイザー育成による事業者の自主衛生管理の推進に努めるとともに、リスクコミュニケーション機会の提供による消費者と事業者間の相互理解の促進により、県民の食に対する安全安心の確保に努めます。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飲食店8件に対し立入検査を実施し、産地偽装等不適正な食品表示の防止に努めた。また、食品製造業者や流通業者を対象とした監視に伴い、表示の確認を行った。</li> <li>食品事業者団体と連携し、令和3年度までに育成を行ったHACCPの助言・指導のための人材（HACCPアドバイザー）による事業者の自主衛生管理普及を推進した。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監視により発見された、衛生事項における不適切表示に対し是正指導を行い、危害発生の可能性を低減した。</li> <li>HACCPアドバイザーは南部圏域で23名が認定されており、小規模事業者の自主衛生管理を推進している。</li> <li>県版HACCPについて、4業種で認証を更新した。</li> </ul> <p>これらの取組により、県民の食に関する安全安心の確保につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 保健福祉環境部 安全衛生課		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策②】 地域の課題解決につながる政策提言を行う「とくしま政策研究センター」（県立総合大学校）において、「消費者行政・消費者教育」をテーマとした調査研究を実施する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 「脱炭素社会の実現」を目的として、南部圏域の河川や道路、公園の維持管理で発生する刈草を焼却することなく堆肥化。刈草から作られた堆肥「もったいない2号」を活用した農作物栽培実験を行い、ビジネス展開の可能性を検証した。 併せて、家庭から発生する食品残渣を堆肥化し農作物栽培を行う実験と、高齢者や障がい者が当該取組に従事する可能性に係る実証実験を行った。</p> <p>■成果 ・高齢化を背景とした消費者トラブルの増加 ・観光地における消費者問題 ・未利用の森林資源・刈草等 南部圏域の課題解決に向けた調査研究を通じて、安全・安心で持続可能な地域の構築に資する政策の参考となった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 県立総合大学校本部		

<p><b>【施策③】</b>          圏域内で市町に設置された見守りネットワークが実効性のある活動を継続するための情報提供や研修、事業者の消費者志向経営を推進するとともに、若年者の消費者教育の充実に努めます。また、消費生活相談員の育成及び市の消費生活センター相談員の資質向上への支援による相談体制の強化に努めます。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和4年度取組          多様化する高齢者等の消費者被害防止を図るため、見守りネットワークの活動をさらに活性化させることを目的とした研修会を開催し、ケーススタディや情報共有等を行った。          シンポジウムやセミナーを開催し、事業の取組を発表するとともに、消費者志向自主宣言事業者数の増加に努めた。          若年者の消費者教育については、とくしま「消費者教育人材バンク」を活用した出前授業の実施や、徳島発「中学生向け消費者教育教材」及び「小学生向け消費者教育教材」並びに「特別支援学校向け消費者教育動画教材」等のデジタル教材の活用により、令和4年度からの成年年齢引下げに対応した消費者教育を推進した。          消費生活相談員の育成に向け消費生活相談員等養成講座を開催したほか、市の消費生活センターと日頃から情報交換を行うとともに、相談員懇談会を開催するなど、相談体制強化に向けた取組を推進した。</p> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度から令和4年度まで毎年度、見守りネットワーク研修会（WEB併用含む）を開催し、参加者の見守り活動のスキル向上につながった。</li> <li>県内の消費者志向自主宣言事業者数が、令和元年度から令和4年度までで37増の66事業者となった。</li> <li>消費者教育の推進により、学生の消費者行動への理解促進につながった。</li> <li>令和元年度から令和4年度まで毎年度、消費生活相談員等養成講座を開催し、受講者の中から延べ49名が合格した。また、相談員懇談会の開催や、阿南市消費生活センターへの巡回などにより県市の連携が図られ、消費生活相談体制が強化された。</li> </ul>	<p>A</p>	<p>消費者政策課</p>
--	--	----------	---------------

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を行うために、要保護児童対策地域協議会を中心とした関係機関との連携を密にし、子どもの安全を最優先にした対応を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 各市町の要保護児童対策地域協議会（要対協）をはじめ、多くの関係機関と連携及び情報共有をし、また、緊急性の高い児童については一時保護を行い、子どもの安全を確保した。</p> <p>■成果 一時保護した児童の家庭復帰に向け、要対協の関係者が連携して支援したため、家庭に戻ってからは安定した生活を送ることができている。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑤】 地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ボランティア活動の支援を行い、幼児、児童、生徒の安全確保を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 全ての小学校区に学校安全ボランティアを配置し、危険箇所の確認や立哨による交通指導など、登下校時の見守り活動を中心に取り組んだ。</p> <p>■成果 幼児、児童、生徒の安全確保が図られ、地域での事件等は発生していない。なお、新型コロナウイルス感染症のため、ボランティア活動登録者数が減少した。</p>	B	教育委員会		
<p>【施策⑥】 DVの早期発見や発生防止を図るため、講座やパネル展など啓発活動を実施するとともに、阿南市配偶者暴力相談支援センターやDV被害者等支援ネットワーク等関係機関との一層の連携を図る。また、DV被害者の視点に立った相談・保護を実施し、自立支援を促進するとともに、児童相談と連携し、DVのある家庭で育つ子どもへの支援を図る。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 DV防止啓発パネル展（鶯敷文化祭、県立海部病院、阿南市人権フェスティバル）を開催し広報啓発を実施。R2年5月から拡充した相談体制（DV電話相談の24時間化）や相談窓口についても広報周知した。 南部圏域における関係機関との連携強化を図るため、「DV被害者等支援ネットワーク研修会」を開催し、弁護士会、市町、母子生活支援施設、学校、民間団体等、被害者支援に携わる関係者28名が出席し、連携を深めた。</p> <p>■成果 「DV被害者等支援ネットワーク研修会」の開催により、関係機関同士の顔の見える関係性の構築ができた。 DV家庭の母子について、児童相談や関係機関と必要な情報を共有し、相談・保護・自立支援など連携して対応することができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑦】 性暴力被害者支援センター「よりそいの樹とくしま（南部）」の定着を図るため、相談窓口の周知に努めるとともに、支援を担う関係機関と連携してスタッフのスキル向上に取り組み、被害者支援機能の強化を図る。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 デートDVや性暴力被害の未然防止のため、管内の中学校へ、若者向け啓発リーフレット「よりそいの樹とくしまって知ってる？」を配布した（19校2、509名）。 性暴力被害者支援研修等に参加し、相談員の専門的スキルの習得に努めた。</p> <p>■成果 広報啓発により相談先が身近にあることの周知が進んだ。職員のスキル向上により、性暴力被害者からの相談・支援に、迅速に対応できた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑧】 配偶者等からの暴力の防止の視点に立って、若年層を対象に、「デートDV防止セミナー」などの啓発を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 若年層を対象に、デートDVやDVの防止に関して理解と関心を深めてもらうためのセミナーを、学校への出前講座形式で実施した。（令和元年度から4年度までの4年間で、県内延べ105校で開催し、8、927人が受講した）。</p> <p>■成果 県民のDV防止についての理解が深まるとともに、若年層へのデートDV防止啓発が図られた。</p>	A	男女参画・人権課		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●老人クラブ会員、保護者組織（CST）等による小学生の登下校時の通学路の不審者対策及び交通安全のための見守り活動とあいさつ運動を実施する。</p>	<p>■令和4年度取組 例年通り一字ヶ丘学園前、各主要交差点等、保護者組織を含め老人会のみならずにも協力いただき実施。</p> <p>■成果 本年度も本町では不審者情報、交通事故等もなく見守りの成果として出せている。</p>	牟岐町

## 2 世界を魅了する観光地域づくり

### (1) 地域の強みを活かした観光戦略の展開

#### 【プラン5】自然・文化・スポーツ等による新たな魅力の創造とレガシーの創出

##### 徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア DMOを核とした広域連携による観光の推進	イ 「アドベンチャーツーリズム」による新たな魅力の創造
ウ アフターコロナを見据えた誘客促進	エ アウトドアスポーツツーリズムによる消費拡大
オ 国際スポーツ大会開催の機運醸成、レガシーの創出	カ 生涯スポーツの拠点づくり

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>【企業局】 川口ダム湖畔を中心とした「スマート回廊」のにぎわい創出のため整備していた「カヌー・SUP等拠点施設」が予定どおり開設されている。</p> <p>【地域創生防災部】 新型コロナの水際対策が昨秋大きく緩和されたことを受けて、インバウンド需要に本格回復の兆しが見えてきた。地域の豊かな自然や文化芸術等の強みを活かし、高付加価値な体験型観光への関心と消費意欲が高い旅行者の誘致を図るため、地域資源の磨き上げや、アウトドアツーリズムを中心とした事業に取り組んだ。</p>

#### 主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
一般社団法人四国の右下観光局の日本版DMO法人への登録 <'17> - → <'19> 登録	-	'19登録 登録	- -	- -	- -	-		
南部圏域内における外国人の延べ宿泊者数(暦年) <'17> 2,386人 → <'20> 6,000人	2,386人	4,000人 4,928人	6,000人 612人	- -	- -	-		
ワールドマスターズゲームズの2026年開催に向けた南部圏域開催競技の機運醸成 <'17> 推進 → <'22> 推進	推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進	推進 推進	-		
国際スポーツ大会開催への地元機運醸成に向けた「スポーツ教室」等の実施(累計) <'17> 1回 → <'22> 11回	1回	5回 5回	7回 7回	9回 9回	11回 12回	◎		
来訪者の満足度(7段階評価中最高評価の割合) <'17> - → <'22> 25%以上	-	25%以上 35%	25%以上 -	25%以上 57%	25%以上 31%	◎		



主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'22 (R4)達成度	DX	GX
川口ダム湖畔におけるカヌー・SUPの拠点整備 '17) - → '22) 開設	-	-	-	推進	開設	◎		
		-	-	推進	開設			
南部健康運動公園陸上競技場の整備 '17) 工事施工中 → '20) 完成	工事施工中	推進	完成	-	-	-		
		推進	完成	-	-			
橋港小勝・後戸地区の緑地整備 '17) ソフトボール場2面供用 → '20) レクリエーション施設の概成	ソフトボール場 2面供用	推進	概成	-	-	-		
		推進	概成	-	-			
サイクルキャビンを活用したイベント・ツアーの実施回数 '17) - → '22) 2回	-	-	-	-	2回	△		
		-	-	-	0回			

主要施策・主要事業	令和4 ('22) 年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<b>【施策①】</b> 「一般社団法人四国の右下観光局」と連携し、地域の合意形成を図ることで、広域連携による旅行商品の造成や国内外に向けたプロモーションに取り組む。  (ア)	<b>■令和4年度取組</b> 令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要が見込まれない中、アフターコロナを見据え、(一社)四国の右下観光局等と連携し、旅行商品の開発等を実施した。 ・SNS等による情報発信の強化 ・DMVを中心とした誘客プロモーション ・県南観光施設を活用した周遊観光プロモーション など  <b>■成果</b> DMVなど県南の観光資源のPRにより、観光客の増加につながった。観光情報サイトを充実することにより観光客の受入環境整備の推進が図られた。	A	南部総合県民局 地域創生防災部		
<b>【施策②】</b> 「四国遍路」を将来の世代へ保存・継承していくため、四国他県や関係団体と連携して、世界遺産登録を目指した取組みを加速する。  (イ)	<b>■令和4年度取組</b> 大日寺(13番)、井戸寺、金泉寺道、薬王寺道の総合調査を実施した。また、美波町において「四国遍路を未来につなぐまちづくり講座」を世界遺産登録推進協議会事業として開催した。  <b>■成果</b> 世界遺産登録に向け、札所寺院・遍路道の調査及び史跡指定が進捗するとともに、地域と連携した遍路道保全の取組みにより、四国遍路の世界遺産登録に向けた機運が醸成された。	A	文化資源活用課		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策③】 旅先でのアウトドア、自然文化や歴史体験への参加ニーズの高まりを受け、アウトドアアクティビティや「地域のお祭り」や「伝統食」、「へんろ道」等の自然文化資産を題材にした「アドベンチャーツーリズム」による体験プログラムなど、ここでしか体験できない付加価値の高い体験プログラムを整備し、観光資源として活用する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 県南の強みである大自然を活かした体験プログラムの開発（DMV+1）やアウトドアツーリズムを推進するため、キャンプなどの体験ツアーを実施した。</p> <p>■成果 「四国の右下」オリジナルの旅行商品として、実証実験を重ねてきた「キャンプ」の本格的な商品化を目指すことができた。 また、食文化を通じて地域の魅力を再発見する「ガストロノミーツーリズム」の開発を実施することができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		○
<p>【施策④】 アフターコロナを見据えた県南への誘客を促進するため、旅行者のニーズの変化に合わせた新たな観光コンテンツの開発や、ワーケーションの誘致等に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 県南において「地域」と「企業」の交流による地域課題の解決と関係人口の拡大及び観光等におけるビジネスプランの創出を図るため、地域のお祭りなどを加えた新たなワーケーションのツアーを実施した。</p> <p>■成果 企業へのワーケーションに関する理解促進を図るとともに、参加者から幅広い意見を聴取することができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑤】            県南の恵まれたアウトドアフィールドを活かし、アウトドアスポーツツーリズムによる消費拡大を図るため、スポーツイベントによる経済効果の拡大とスポーツ環境の魅力発信に取り組む。            (エ)</p>	<p>■令和4年度取組            コロナ禍で大規模なイベント実施が難しい中、            ・「四国の右下」ロードライド事業では、「新しい生活様式」に即したイベントとして、1市4町のエリア内に設置されたチェックポイントを回ることで得点を集める「ロゲイニング」方式でサイクリングイベントを実施。各スポットでは、2次元バーコードによる通過確認を行うとともに、ポイント上位者には特産品を贈呈するなど、「四国の右下」の魅力発信に努めた。            ・四国の右下が誇る海・サーフスポット、それらを存分に活かしたサーフィンというスポーツを子どもたちに知ってもらうため、小中学生を対象に「四国の右下サーフィン教室」を実施。また、トップアスリートから直接、実技指導が受けられる「SUP講習会」、「サーフィン講習会」をそれぞれ実施した。</p> <p>■成果            ・ロードライド事業 参加者の約半数がロードライドイベントに初めて参加するなど、徳島県南部に訪れるきっかけ作りに寄与するとともに、県南の魅力がPRすることができた。            ・四国の右下サーフィン教室 県南部1市4町から満員となる20名の子どもたちとその保護者が参加するなど、地元アスリート育成の場づくりを推進することができた。</p>	B	南部総合県民局 地域創生防災部		○
<p>【施策⑥】            南部健康運動公園等を活用し、社会人や学生の団体が行うスポーツ合宿を誘致する。            (エ)</p>	<p>■令和4年度取組            スポーツツーリズムによる交流人口拡大と地域活性化を図るため、「徳島県スポーツコミッション」を核として、県内スポーツ施設を紹介するパンフレットや動画の作成等による情報発信の強化に取り組むとともに、本県のスポーツ資源や観光資源を活かした積極的なスポーツ合宿の誘致を実施した。</p> <p>■成果            南部健康運動公園（JAアグリあなんスタジアム、陸上競技場）や蛇王運動公園野球場等のスポーツ施設の県内外に向けた情報発信等により、県南部におけるスポーツ合宿の実施やスポーツツーリズムを推進した。</p>	A	スポーツ振興課		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑦】 ワールドマスターズゲームズ公式競技の「トライアスロン」、 「アクアスロン」、「カヌー（スラローム）」及びオープン競技 の「サーフィン」において、地元自治体や競技団体などと連携 し、大会の開催に向け情報発信や機運の醸成、大会運営に携わる 人材育成・組織づくりなどの受入態勢整備を進める。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年5月に新会期が決定したワールドマスターズゲームズ関西の開催に向け、関係機関と緊密な連携を図り、「トライアスロン・アクアスロン」競技の大会は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、「カヌー（スラローム）」競技、「サーフィン」競技のテスト大会を開催した。</li> <li>・国際スポーツ大会開催などの効果を最大限享受するため、米国最大級の旅行博への参加、現地旅行会社への営業活動を行うなど県南エリアのインバウンド誘客促進に向けた取組を推進。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会の成功に向け、スポーツレガシーの継承と発展に取り組むとともに、本番大会に先駆け各競技会を開催することで、機運の醸成や着実な準備・運営の推進を図った。</li> <li>・旅行博への参加や海外の現地旅行会社への営業活動を行うことにより、県南エリアの観光コンテンツの魅力発信を図ったとともに、新たな観光プランの造成を促し、インバウンド向け県南エリアへの誘客促進につながった。</li> </ul>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 スポーツ振興課		
<p>【施策⑧】 ワールドマスターズゲームズへの出場機会の創出を図るため、 トップアスリート等を講師とした実技講習会や、小学生を対象と したサーフィンスクールの開催により、地域を巻き込んだ「四国 の右下」ならではのスポーツレガシーの創出を行う。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>国際スポーツ大会の機運醸成及び次世代のアスリート育成のため、地元小中高生を中心に「サーフィン講習会」を開催。また、トップアスリートから直接、実技指導が受けられる、トップアスリートによる「SUP講習会」、「サーフィン講習会」をそれぞれ実施。</p> <p>■成果</p> <p>【トップアスリートによるSUP講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程：2022年10月9日（日）</li> <li>・参加者：16名（一般の方対象）</li> <li>・講師：トップアスリート2名</li> </ul> <p>【トップアスリートによるサーフィン講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程：2022年11月5日（土）</li> <li>・参加者：20名（小中高生対象）</li> <li>・講師：プロサーファー4名</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程：2022年11月6日（日）</li> <li>・参加者：8名（一般の方対象）</li> <li>・講師：プロサーファー2名</li> </ul>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	
<p>【施策⑨】 ワールドマスターズゲームズの開催に向け、「四国の右下」で開催されるトライアスロン、カヌー、サーフィン、軟式野球の参加者や家族等の誘客を促進するため、商談会に参加するなど海外でのプロモーションを強化する。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 米国をターゲットとしたプロモーション展開として、米国最大級の旅行博への参加、現地旅行会社への営業活動を実施。</p> <p>■成果 旅行博への参加や現地旅行会社と商談を実施するなど、県南エリアにおける旅行商品造成を促し、誘客促進につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○
<p>【施策⑩】 川口ダム湖畔を中心とした「スマート回廊」のにぎわい創出のため、カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備を進める。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 令和元年7月に策定した川口ダム湖畔活性化構想に基づき、整備を進めていたカヌー・SUP等拠点施設が、令和5年3月に完成した。</p> <p>■成果 これまでの取組により「スマート回廊」のにぎわい創出のためのカヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備が完了した。</p>	A	企業局	

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●7月1日から8月下旬まで、海水浴場（北の脇海水浴場、淡島海水浴場）の開設を行い、集客に努めるとともに観光地引き網事業やあなんマリンフェスティバル事業への支援など、海自然の魅力の情報発信に努める。また、若者同士の情報交換の場として、市のイメージアップや若者層の定住人口増加をめざし、羽ノ浦健康スポーツランド内のスケートボード場、阿南市屋内多目的施設（あなんアリーナ）をPRし、多くの若者の交流を図る。</p> <p>●西日本生涯選歴野球大会、野球のまち阿南少年野球全国大会、西日本500歳野球大会等の開催充実、阿南市屋内多目的施設（あなんアリーナ）を利用しての社会人野球や大学野球部の合宿、県外高校野球合宿の誘致受入を行う。また、野球と観光をセットにした「野球観光ツアー」の実施、大会や情報発信などにより、周辺を含めた地域の活性化を図る。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、海水浴場（北の脇海水浴場、淡島海水浴場）を開設した。</li> <li>・第10回記念野球のまち阿南少年野球全国大会、第8回西日本500歳野球大会、第2回AnananCup、第14回西日本古希軟式野球大会等をJAアグリあなんスタジアムで開催。野球観光ツアー、合宿誘致では富山未来高校他3チーム、選抜出場の北陸高校を受け入れた。また、天理高校を招待した高校野球招待試合や杉本裕太郎選手による少年野球教室を開催した。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海水浴場の開設を行うとともに観光地引き網事業やあなんマリンフェスティバル事業への支援など、海自然の魅力の情報発信に務めた。</li> <li>・少年野球全国大会（28チーム）、西日本500歳野球大会（18チーム）、西日本古希野球大会（32チーム）など大会開催による県外からの宿泊誘致のほか、AnananCup、杉本裕太郎選手少年野球教室、ベースボール型スポーツスタート事業による野球人口の底辺拡大を行った。</li> </ul>	阿南市

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●林業者の伝統を活かした「木頭杉一本乗り大会」を7月に開催する。川口ダム湖でのカヌー、木製サップを活用した地域振興。南つるぎ登山道の魅力情報発信に努める。</p>	<p>■令和4年度取組 規模を縮小し「木頭杉一本乗り大会」のイベントを行った。南つるぎ地域活性化協議会の活動を助成することにより、各種イベント開催や登山道の整備活動、環境保全活動を行った。</p> <p>■成果 規模縮小し「木頭杉一本乗り大会」のイベントを開催したが入場制限等したため、思ったほど成果はだせなかった。南つるぎ登山道については、登山道の整備活動、環境保全活動を通じ、登山道の魅力情報発信に寄与した。</p>	<p>那賀町</p>
<p>●宿泊商品（民宿・旅館・民泊）・体験観光（サーフィン・SUP・シャワークライミング・山登り・クルージング・あんどん体験・かずら工芸・草木染他）・一次産業（農業体験：農業手伝い・漁業体験：釣り、はえ縄、天草・林業体験：炭焼き体験、樵木体験、狩猟体験）を自由に組み合わせて牟岐町を満喫していただく仕組みづくりを進める。</p> <p>●四国の右下観光局（教育旅行推進室）が実施する教育旅行の取り組み拡充に努める。</p> <p>●観光協会や観光ガイドの会と連携して出羽島（重要伝統的建造物群保存地区）や遍路道などを活用した着地型観光プランメニューを企画し、歴史的文化的価値の継承や保存と経済循環を図る。また、県内2地区の重要伝統的建造物群保存地区（三好市、美馬市）と出羽島を周遊する仕組みを検討する。</p> <p>●牟岐の特産品を町内の飲食・宿泊施設で料理提供などすることで、特産品の販路拡大と牟岐町の認知拡大を目指す。また、牟岐ゆかりのふるさと会員が営む飲食・宿泊施設等へも波及できる仕組みを検討する。</p>	<p>■令和4年度取組 全般的にコロナの影響により、イベントはすべて中止になり、誘客活動も低迷した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度、四国の右下観光局教育旅行推進室（南阿波よくばり体験）は、自然、マリンスポーツ・アウトドア、味覚、地場産業伝統工芸などの体験を行い、教育旅行 10校 908人（337泊）、個人客徳島県内 1団体 30人（日帰りのみ）を受け入れた。</li> <li>観光協会、観光ガイド会と連携した出羽島ガイド（62名）を実施した。</li> <li>観光協会、あんどんの会と連携したあんどん作り、紙漉き体験（32名）を実施した。</li> <li>観光協会と連携して、体験やツアーに併せて、昼食や弁当の斡旋を実施した。（170名）</li> <li>牟岐大島や出羽島、モラスコむぎにて親子ワーケーションツアー（17名）を実施した。</li> <li>ポタリングツアー試走会（7名）を出羽島で開催した。</li> </ul> <p>■成果 コロナの影響で各種イベントは中止となり認知度の増加を図る取り組みは実施できなかったが、感染対策を徹底しコロナ過でも小規模な取り組みは実施できた。今後、JTB、ポタリング協会と連携して、R5ツアー造成に向けて協議を進める予定。</p>	<p>牟岐町</p>

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●漁業協同組合、JAかいふ、道の駅、商工会や観光協会等と連携し、既存商品のブラッシュアップに努めると共に、美波ブランド産品認証規定を検討し、その基準に沿った新たな産品の創出や「美波の詰め合わせ」として推奨できる組み合わせ商品等の形成に取り組む。</p> <p>●商工会や観光協会が核となって取り組む物産のPR活動や、県内外の地域産品フェアへの参加、百貨店、商店街等での催事・見本市等における販売促進事業の支援を行う。</p> <p>●地域資源と既存の移住交流支援施設や体験施設を生かした着地型観光（体験ツアー）を進めるとともに空き家、空き家店舗等の利活用を模索し、よくばり体験拠点等を拡充する。</p> <p>●道の駅日和佐のチャレンジショップ、イベント支援用付帯設備、自転車ラック等を活用し誘客促進を図る。 また、地元食材を用いた新商品の開発に取り組み、道の駅日和佐や由岐ふれあいホール「ぼっぼマリ」などでの販売を行う。</p> <p>●南阿波よくばり体験の取り組み拡充に努力するとともに、町内農林漁家民泊の受入態勢、体験メニューや組織の充実等に取り組む。</p> <p>●人と自然のふれあいを大切に、桜街道・夢マラソンやひわさうみがめトリアスロンの多くのアスリートを美波町に迎えて開催し、美波町や南部圏域のアウトドアフィールドを知り、体感する契機としてもらう。</p> <p>●薬王寺門前の再生に当たっては、増加する外国人お遍路の滞在時間、消費額の増加を目指して案内板の整備や話題性のある取り組み、魅力ある店舗の誘致や開業支援等に取り組む。</p> <p>●うみがめ博物館の機能強化を図り、うみがめ保護活動等を学び、エコツーリズムの拠点施設とすることで美波町来訪者の増加と回帰率の向上を目指す。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美波ブランド産品認証規定等については美波町がSDGs未来都市に選定されたことを受け、それらの取組と連携しながら進めるための検討を行った。</li> <li>・商工会と大阪天神橋筋商店街にて物産展を実施した。</li> <li>・観光協会と阿波晩茶の収穫・仕込みが体験できるツアーを実施した。</li> <li>・コロナ禍により教育旅行等が大幅に自粛される中、アフターコロナに向けた態勢強化等について検討を行った。</li> <li>・桜街道・夢マラソンは中止、ひわさうみがめトリアスロンは感染対策を行ったうえでの開催に向け準備を進めていたが、感染状況が好転しなかったため中止となった。</li> <li>・門前町の再生については、藍庵・桜屋に続く空き家活用として八嶋電機の活用者を決定した。</li> <li>・うみがめ博物館については、全面改修に係る展示パネルの原稿作成、体験型展示のソフト開発などを行った。博物館の改修後を見据え、博物館と町内事業者が連携したエコツアーとして夜の博物館を実施、来館者がうみがめ保護を学びつつ町内で消費する仕組みづくりを行った。またスタンプラリー等を適時開催し、来館者が町内を巡る仕組みづくりを行った。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で、多くの取り組みは実施できなかったが、アフターコロナを見据えてのツアーの検討等の取り組みや物産展でのPR等は実施できた。</li> <li>・今後増加してくるであろう外国人のお遍路や観光客に対応するため、他の事業や担当課とも連携しながら対応策の検討を実施し課題の洗い出しが行えた。</li> <li>・桜街道・夢マラソンは、新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止とした。ひわさうみがめトリアスロンについては実行委員会で決定した開催基準を満たしていなかったことから開催一週間前に中止となった。</li> </ul>	<p>美波町</p>

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「海部川風流マラソン」の開催、「まぜのおかオートキャンプ場」・「海陽町海洋自然博物館」での各種イベント・行事を拡充・充実し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>●「蛇王運動公園（野球場）」における四国アイランドリーグ等の試合を開催し施設の魅力アップを図る。</p>	<p>■令和4年度取組 珊瑚の発光現象や珊瑚の産卵の観察など、夜の珊瑚観察やマリinjャム（海陽町海洋自然博物館）でのイベントと竹灯りなどのイルミネーションイベントを開催。</p> <p>■成果 各種団体と連携することで、珊瑚＝海陽町、認知度の向上と観光誘客を図ることができた。</p> <p>■令和4年度取組 春季キャンプ実施 令和5年3月1日（水）～令和5年3月8日（水）</p> <p>■成果 四国アイランドリーグのキャンプや公式戦を実施することにより、施設のイメージアップを図った。</p>	<p>海陽町</p>



**【プラン6】国内外に向けた魅力発信の強化**  
徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア デジタル技術の活用によるプロモーションの強化

イ 「スマート回廊」における先端技術・科学体験の展開

プラン評価	要注視
事務局所見	<p><b>【企業局】</b> 川口ダム湖畔を中心としたスマート回廊の魅力発信のため、ICT授業やVRによるダム・発電所の施設見学を実施し、体験者数の目標を達成することができている。</p> <p><b>【地域創生防災部】</b> 四国の右下の観光誘客の拡大を図るため、「YouTube」を運用した情報発信や英語版SNSの運用、映像コンテンツの海外向け広告の実施などにより、インバウンド需要の回復を見据えた県南部の魅力発信が図られた。</p>

**主要業績指標**

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」への動画投稿本数(年間) <'19> - → <'22> 40本	-	-	-	40本	40本	◎	○	
				23本	45本			
YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」の年間総再生回数(累計) <'19> - → <'22> 300,000回	-	-	-	150,000回	300,000回	△	○	
				197,673回	218,484回			
英語版SNSによる投稿回数(年間) <'19> - → <'22> 100回	-	-	-	100回	100回	◎	○	
				707回	2124回			
「川口エネ・ミュー」におけるバーチャルコンテンツ体験者数 <'19> - → <'22> 9,000人	-	-	-	8,000人	9,000人	◎	○	○
				9,438人	10,257人			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 四国の右下の「観光情報」や「人の魅力」を効果的に発信するため、地域の事業者等を巻き込み「YouTube」等を活用した動画での情報発信に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 徳島県公式YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」において動画コンテンツの制作により、四国の右下の観光や体験、自然文化など地域資源の魅力発信に取り組んだ。 また、「四国の右下観光大使」である赤井英和氏が出演する観光プロモーション動画（美波町、牟岐町、海陽町）の動画を制作した。</p> <p>■成果 動画コンテンツの制作及び情報発信により、アフターコロナを見据えた観光需要回復を見据えた、県南部の魅力発信につながった。 著名人によるプロモーション動画を配信することにより県南のPRにつながった。</p>	B	南部総合県民局 地域創生防災部	○	
<p>【施策②】 FIT（海外への個人旅行）誘客を促進するため、「四国の右下」の自然・伝統文化・体験など、FIT層に訴求力の高いコンテンツをSNS等で発信する。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 外国人地域おこし協力隊による英語版SNSにより、県南部の観光地や体験などの魅力を発信した。</p> <p>■成果 英語版SNSにより、インバウンド需要回復を見据え、県南部の魅力発信につながった。 英語版SNSアカウント「Deep South Tokushima」 【令和4年度実績】 ※投稿回数は記事投稿、ストーリーズ投稿回数を含む Facebook 記事投稿 1,061本 Instagram 記事投稿 1,063本</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	
<p>【施策③】 効果的なインターネット広告の配信やSEO対策等、デジタルマーケティングによる広報戦略の効果拡大に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 一般社団法人四国の右下観光局のホームページにおいて、徳島県南部エリアに位置する観光地やレジャー体験情報を網羅的に整理し、関連サイトのリンクを掲載するなど、利便性の高いサイトの運用を行った。</p> <p>■成果 SEO対策等を踏まえたサイト運営を行ったことで、「四国の右下」に関する広報の効果拡大が図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 「スマート回廊」の魅力発信のため、「川口エネ・ミュー」とその周辺施設が連携し、ニューノーマルに対応したオンラインによるICT授業や、VRによるダム・発電所の施設見学、YouTube「川口エネ・ミューチャンネル」による動画配信等に取組む。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 自然エネルギーに関するICT授業やVRによるダム・発電所の施設見学を実施した結果、426名の利用者があった。また、「川口エネ・ミューチャンネル」での動画配信を随時行うとともに、出前授業（アウトリーチ）や「自然エネルギー探検隊」、「秋の間伐体験」等のイベントを実施した。</p> <p>■成果 コロナ禍においても、こうした取組を実施することにより、川口エネ・ミューを核とした科学技術による人材育成や、川口ダム湖畔を中心としたスマート回廊の魅力発信を行うことができた。</p>	A	企業局	○	○

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●AMA（A阿南市、M室戸市、A安芸市）を広くアピールするために、「新しい生活様式」を取り入れた広域観光ルートの開発や旅行会社、雑誌社に対して観光及び特産品等の情報発信を行う。また、定住自立圏観光圏を形成して、圏域の魅力等を紹介する。</p> <p>●道の駅公方の郷なかがわ、光のまちステーションプラザでの観光パンフレットの配布及び映像を利用した観光情報の発信、YouTubeによる動画配信を行うとともに、観光PRイベントの実施により、四国東南部への集客を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 AMA地域の交流活動、関西圏でのPR活動を実施した。また、道の駅公方の郷なかがわ、光のまちステーションプラザでの観光パンフレットの配布、AMAナビによる情報発信を行った。</p> <p>■成果 交流活動、関西圏でのPR活動や、道の駅や光のまちステーションプラザでのパンフレットの配布やAMAナビ、観光協会HPを活用した情報発信などで、AMA地域の魅力を発信できた。</p>	阿南市
<p>●那賀町「徳島ドローン特区」として、那賀町の山、谷、川、ダム、豊かな自然を活用した空撮アテンドのワンストップサービスの実施やドローンマップを活用したコンテストを開催し、集客を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 「NAKA DRONE FIELD」の管理を町内のドローンレース振興団体の「WTW徳島」に委託し、ドローンレースを計画中である。また、使いやすさ向上のため、場内の埋め立て及び整地を始めた。</p> <p>■成果 次年度以降にドローンレースを開催予定である。</p>	那賀町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●牟岐町の自然や産業など、魅力を町外へ発信することにより、関係人口の増加を目指すとともに、教育や文化、産業の新たな発見と充実をめざし地域の活性化を図る。</p> <p>●牟岐町に特化したソーシャル情報プラットフォーム（牟岐町アプリ）により、ユーザー登録すると自動的に牟岐ふるさと会員になり、牟岐町の様々な情報を受け取れるシステムを構築した。関西・関東を中心に牟岐町ゆかりの方の加入を進め、牟岐町に興味を持っていただいた方等にも魅力情報発信を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 移住定住ウェブサイト「MUGIZINE」では牟岐に関する魅力ある移住者等を牟岐人記事として5件、牟岐人アプリでは様々な牟岐町に関する情報を19件、出羽島「おいでってば」HPに5件のオフィシャルとして新たな記事を掲載した。</p> <p>■成果 令和4年4月～令和5年3月の期間に、移住手住ウェブサイト「MUGIZINE」に新規2,504人、出羽島「おいでってば」HP新規記事に約339,494件アクセスがあり牟岐人アプリでは年間56人が新規登録した。</p>	牟岐町
<p>●地域に埋もれている歴史文化資源を観光プロダクトとして掘り起こし、地域の魅力として発信する。</p> <p>●外国人歩き遍路に人気の高い古道（遍路道）の利活用を進める。</p> <p>●ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催を機に、美波町に訪れる外国人に対して観光プロダクトを販売する。</p>	<p>■令和4年度取組 ・土佐街道及び古道の利活用を目指し、看板設置場所の選定等の現地調査及び整備を行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大により大会が2027年に延期決定した。引き続き観光プロダクトの検討を実施する。</p> <p>■成果 土佐街道及び古道の利活用については、ウォーキングツアーの実施に向けての関係機関との連携や体制を整えることができた。</p>	美波町
<p>●「まぜのおかオートキャンプ場」・「蛇王運動公園」・「B&amp;G海南海洋センター」などの複合的スポーツ・レジャー施設の機能を最大限に利用した、企業・大学などのイベント・スポーツ合宿等の積極的な誘致活動やPR活動を行う。</p> <p>●町のキャラクター「ふるるん」を用いて県内外のイベント等に積極的に参加し、海陽町の魅力等のPRを行う。</p> <p>●地域に埋もれている歴史的・文化的・自然的資源を掘り起こし、地域の魅力として発信し、観光資源につなげる。</p>	<p>■令和4年度取組 R1.8.30 インスタグラム海陽町公式アカウント「slow_life_kaiyo」を開設し、当アカウントを利用し、情報発信力を強化。また、電子旅行雑誌「旅色」とタイアップし、DMVを主体に海陽町の既存の観光コンテンツ等と合わせ、地域の魅力として発信した。</p> <p>■成果 R4.3月末フォロワー1,630人 → R5.3月末フォロワー1,860人（230人増）世界初となるDMVの経済効果を波及させ地域活性化の一助とすることができた。</p>	海陽町

【プラン7】ストレスフリーな旅行環境の整備  
徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 無料Wi-Fi, 他言語表記の整備促進	イ キャッシュレス決済, 手ぶら観光の普及促進
-----------------------	-------------------------

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【県土整備部】 県管理道路の道路標識について, 多言語表記の改善を実施し, 外国人旅行者の利便性を向上させた。</p> <p>【地域創生防災部】 (一社)四国の右下観光局においてインバウンドを視野に入れた事業者向けの接客研修や, 指差しシートなどの効果検証を行い, インバウンド受入環境の整備が図られた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
来訪者の満足度(7段階評価中最高評価の割合)〈再掲〉 〈'17〉 - → 〈'22〉 25%以上	-	25%以上	25%以上	25%以上	25%以上	◎		
		35%	-	57%	31%			

主要施策・主要事業	令和4('22)年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】 旅行者の多くはインターネットを通じて地域ならではの食や体験, 宿泊などの情報を入手するため, 無料Wi-Fi(無料公衆無線LAN)の整備や利用場所を周知する取組を推進します。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 (一社)四国の右下観光局において, インバウンド回復を視野に入れた接客研修を開催した。 また, 事業者に対してWi-Fiの設備やキャッシュレス決済の導入を働きかけた。</p> <p>■成果 「大阪・関西万博」を見据え, インバウンドを対象とした接客研修を実施し, 事業者の知識の向上を図ることができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策②】 旅行者が「四国の右下」を訪れた際、観光地としての魅力を十分に伝えるため、旅行者にとって分かりやすい観光・地点案内表示など多言語表記の整備を促進します。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 一般国道195号の道路標識について、多言語表記の改善を実施した。 また、県道に設置されている観光案内標識の英語表記について、県民から要望等の情報収集を行った。</p> <p>■成果 道路標識の多言語表記により、外国人旅行者の利便性向上が図られた。 各道路管理者間や観光パンフレット、国土地理院作成の地図との英語表記等と整合が図られ、外国人旅行者に対し、混乱がなくわかりやすい案内標識となった。 また、令和4年度は、県民からの道路標識の多言語表記の要望はなく、今後とも県民から要望があれば適切に対応したい。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 県土整備部		
<p>【施策③】 旅行者が買い物しやすい環境を提供し「四国の右下」での消費を促進するため、観光施設や店舗でのキャッシュレス決済の導入を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 （一社）四国の右下観光局において、インバウンド受入環境整備に関する接遇研修を実施した。 また、事業者キャッシュレス決済の導入促進など図った。</p> <p>■成果 インバウンド回復に向けて事業への接遇研修など、知識の向上を図ることができた。 今後もキャッシュレス決済の導入に向けて事業者働きかけていく。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	
<p>【施策④】 歩き遍路をはじめとする旅行者の方々が荷物なく手軽に「四国の右下」を楽しむことができるよう手ぶら観光を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 徳島県の「手ぶら観光サービス」に南部圏域では、継続して11施設が対象施設に登録されたほか、四国の右下観光局において、事業者を対象とした接遇研修や外国人旅行者を対象とした指さしシートを作成し、インバウンドの受入環境を整備した。</p> <p>■成果 歩き遍路をはじめとする観光客の周遊促進や利便性向上が図られた。 今後とも旅行者に「手ぶら観光サービス」の利用促進を図っていく。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●牟岐町アプリの登録を推進することにより、カテゴリーごとに町内の情報を受けることが可能となる。</p> <p>●観光施設等でのWi-Fi環境整備の推進を図る。</p> <p>●牟岐町の遊び、食、宿泊などの体験ツアーを実施し、食だけでなく体験観光と合わせた交流事業を実施する。</p>	<p>■令和4年度取組 牟岐人アプリのメニュー選択は一部を除き多言語に対応しているが、掲載された情報は多言語化されていないため今後の課題。</p> <p>■成果 現在302人が登録している。（昨年度より56名増加）</p> <p>■令和4年度取組 昨年、モラスコむぎを改修してにコワーキングスペースを整備し、モニターツアーを開催するなど、コワーキングスペースの利用促進を図った。</p> <p>■成果 ワーケーションモニターツアーを2回開催した。（参加者20名） コワーキングスペース利用者数 延べ285名。（モラスコむぎ）</p> <p>■令和4年度取組 全般的にコロナの影響により、イベントはすべて中止になり、誘客活動も低迷した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度、四国の右下観光局教育旅行推進室（南阿波よくばり体験）は、自然、マリンスポーツ・アウトドア、味覚、地場産業伝統工芸などの体験を行い、教育旅行 10校 908人（337泊）、個人客 徳島県内 1団体 30人（日帰りのみ）を受け入れた。</li> <li>・出羽島ガイド（62名）、あんどん作り、紙漉き体験（32名）を実施した。また、昼食や弁当の斡旋を実施した。（170名）</li> <li>・牟岐大島や出羽島、モラスコむぎにて親子ワーケーションツアー（17名）を実施した。</li> <li>・ボタリングツアー試走会（7名）を出羽島で開催した。</li> </ul> <p>■成果 コロナの影響で各種イベントは中止となり認知度の増加を図る取り組みは実施できなかったが、感染対策を徹底しコロナ過でも小規模な取り組みは実施できた。今後、JTB、ボタリング協会と連携して、R5ツアー造成に向けて協議を進める予定。</p>	<p>牟岐町</p>

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●外国人観光客誘致促進のため、ホームページ、パンフレットの多言語化、観光案内所への通訳者の配備、Wi-Fi環境整備、多言語案内板整備を実施する。</p> <p>●ワールドマスターズゲームズ2021関西を見据え、様々な関係者と連携を強化し、外国人対応力の向上に努める。</p> <p>●増えている欧米系の外国人お遍路のニーズ（ベジタリアン、ビーガン）に対応出来るよう、町内飲食店と連携を図る。</p> <p>●観光案内所における外国人旅行者の災害時における携帯電話等の充電、災害情報の伝達環境、外国語表記の津波避難マップ等を整備し、安心して旅行できる環境を整える。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人向け観光プロダクト開発事業を実施した。</li> <li>毎月発行の町広報誌に外国語の日常会話を掲載し住民へ啓発を行った。</li> <li>外国人観光客用に観光案内所に英語対応のできるスタッフの配置を行った。</li> <li>設立された門前町商店街組合で、門前町の商店街の連携と活性化を目的に事業を実施した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大により大会が2027年に延期決定した。延期を受け一部予定していた業務内容に変更があったが円滑な運営が行えるよう、受付管理システム、下見動画の微調整、LINE運用などを行った。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に続き新型コロナウイルスの影響により、外国人の来訪者は見込めず、各種イベントが中止となったが、商店街の店主が講師となる「キッズゼミ」の開催やスタンプラリーを企画し、商店街を利用してもらう取組を実施した。</li> <li>毎号の掲載を楽しみにしている住民の声も聞かれ、啓発が図られている。</li> <li>選手への情報発信として、LINEの登録や事前にコース確認等が行えるようコースの動画などを整備。今後は多言語への対応をすべく、アップデートすることが可能となった。</li> </ul>	美波町
<p>●町内の観光スポット・宿泊施設・飲食店案内のパンフレット等を活用し、道の駅等で配布するとともに、ホームページに掲載する。また、外国語版のパンフレット作成について検討する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>海陽町総合観光パンフレットの増刷、及び観光案内板の整備</p> <p>■成果</p> <p>海陽町総合観光パンフレットを増刷し各施設へ配布。観光情報の発信や観光地への案内看板設置等の整備を図った。</p>	海陽町



(2) 交流が広がる交通体系の構築

【プラン8】道路ネットワークの整備促進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 四国横断自動車道、阿南安芸自動車道の整備促進	イ 一般国道、県道等の整備促進
--------------------------	-----------------

プラン評価	順調	
事務局所見		<p>【県土整備部】</p> <p>四国横断自動車道の徳島JCT～阿南間について、残る徳島津田～阿南間の工事を促進した。</p> <p>阿南安芸自動車道の桑野道路については、用地買収、調査設計及び工事を促進し、福井道路については用地買収、調査設計を促進するとともに、工事に着手した。</p> <p>海部野根道路については、調査設計を促進するとともに、用地買収に着手した。</p> <p>一般国道55号の阿南道路については調査設計、牟岐バイパスについては調査設計及び工事をそれぞれ促進した。</p> <p>また県管理道路では、阿南勝浦線、阿南小松島線、一般国道193号、195号などの主要幹線道路において、用地買収及び拡幅工事等を実施した。</p> <p>いずれも、事業計画の達成に向け、順調に進捗している。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
四国横断自動車道(徳島JCT～阿南)の整備 <'17> 工事施工中 → <'22> 工事促進中 (<'20>部分供用 徳島沖洲～徳島津田間) (<'21>部分供用 徳島JCT～徳島沖洲)	工事施工中	促進	部分供用	部分供用	▶	—		
		促進	部分供用	部分供用	促進			
阿南安芸自動車道(桑野道路)の整備 <'17> 用地買収促進中 ~ <'22> 工事促進中	用地取得促進	促進			▶	—		
		促進	促進	促進	促進			
阿南安芸自動車道(福井道路)の整備 <'17> ~ <'22> 用地買収促進中	用地取得促進	促進			▶	—		
		促進	促進	促進	促進			
阿南安芸自動車道(海部野根道路)の整備 <'17> 調査中 → <'22> 用地買収促進中	調査中	事業着手 促進			▶	—		
		事業着手 促進	促進	促進	促進			
一般国道55号阿南道路の整備 <'17> 那賀川大橋周辺2.1kmの4車線化工事施工中 → <'22> 一般国道195号から橘町青木(一般国道55号)	那賀川大橋周辺2.1kmの4車線化工事施工中	4車線化完成 促進			▶	—		
		4車線化完成 促進	促進	促進	促進			
一般国道55号牟岐バイパスの整備 <'17> 工事施工中 → <'22> 工事促進中	工事施工中	促進			▶	—		
		促進	促進	促進	促進			

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
阿南ICへの追加ランプ設置（阿南勝浦線） <'17> 調査設計中 → <'22> 工事推進中	調査設計中	推進				—		
		推進	推進	推進	推進			
阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備と合わせた穴喰地区地域防災公園へのアクセス道路の整備（久尾穴喰浦線） <'17> 調査設計中 → <'22> 工事推進中	調査設計中	推進				—		
		推進	推進	推進	推進			
主要地方道阿南小松島線 持井工区の整備 <'17> 用地買収中 → <'22> 工事推進中	用地買収中	推進				—		
		推進	推進	推進	推進			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<b>【施策①】</b> 近畿及び四国内の交流基盤となる四国横断自動車道（徳島JCT～阿南間）の整備を促進する。 (ア)	<b>■令和4年度取組</b> 徳島JCT～阿南間について、工事を促進した。 <b>■成果</b> 徳島南部自動車道（徳島JCT～徳島津田間）が開通し、徳島小松島港「沖洲地区」「津田地区」が全国の「高規格道路ネットワーク」に直結した。	A	南部総合県民局 県土整備部		
<b>【施策②】</b> 高規格幹線道路と一体となって、高速交通ネットワークを形成する地域高規格道路である阿南安芸自動車道（桑野道路、福井道路、海部野根道路）の整備を促進する。 (ア)	<b>■令和4年度取組</b> 桑野道路について、用地買収、調査設計及び工事を促進した。 福井道路について、用地買収、調査設計を促進するとともに、工事に着手した。 海部野根道路について、調査設計を促進するとともに、用地買収に着手した。 <b>■成果</b> 交流が広がる交通体系の構築に向けて、阿南安芸自動車道の整備が促進された。	A	南部総合県民局 県土整備部		
<b>【施策③】</b> 一般国道55号阿南道路那賀川大橋周辺2.1kmの4車線化工事及び一般国道195号から一般国道55号（橘町青木）までの間の整備を促進する。 (イ)	<b>■令和4年度取組</b> 一般国道195号から一般国道55号（橘町青木）までの間の調査設計を促進した。 <b>■成果</b> 一般国道55号阿南道路の那賀川大橋周辺の4車線化により、地域間交流の促進や防災力の強化、渋滞緩和等、利便性の向上が図られた。	A	南部総合県民局 県土整備部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<b>【施策④】</b> 一般国道55号牟岐バイパスの整備を促進する。 (イ)	<b>■令和4年度取組</b> 牟岐バイパスの調査設計及び工事を促進した。 <b>■成果</b> 交流が広がる交通体系の構築に向けて、牟岐バイパスの整備が促進された。	A	南部総合県民局 県土整備部		
<b>【施策⑤】</b> 阿南安芸自動車道の整備効果を県南部に波及させる阿南勝浦線などの関連道路、地域間交流の促進や防災力の強化、渋滞緩和等に寄与する一般国道193号、一般国道195号、阿南小松島線などの主要幹線道路の整備を推進する。 (イ)	<b>■令和4年度取組</b> 阿南勝浦線、阿南小松島線、一般国道193号、195号などの主要幹線道路において、用地買収及び拡幅工事等を実施した。 <b>■成果</b> 四国横断自動車道や阿南安芸自動車道及び一般国道55号阿南道路や牟岐バイパスの整備効果を県南地域に波及させるため、主要幹線道路の整備を進め、地域間交流の促進や防災力の強化、渋滞緩和等、地域住民に利便性の高い道づくりを推進した。	A	南部総合県民局 県土整備部		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<b>●「四国の8の字ネットワークのミッシングリンクの解消」</b> に向け、平時の救急救命や災害発生時における「命の道」として必要な「海部野根道路」について、早期事業化を関係町・県と連携し、国に要請する。	<b>■令和4年度取組</b> 「海部野根道路」について、地元関係者による「地域対策協議会」、国・県・町で協議を行い、「久保地区」、「高園・野江地区」、「多良地区」との調印式が開催された。 <b>■成果</b> 用地説明会、契約個別説明会を開催し、用地取得交渉を順次進めていただいている。 海部～牟岐間については、要望活動を引き続き行い、新規事業化に向けて取り組んでいく。	海陽町

## 【プラン9】次世代に向けた新たな地域公共交通ネットワークの構築

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 「次世代地域公共交通ビジョン」の策定	イ DMVや鉄道等のイベントによる新たな人の流れの創出
----------------------	-----------------------------

プラン評価	要注視	
事務局所見	<b>【地域創生防災部】</b> (一社)四国の右下観光局や阿佐海岸鉄道(株)と連携しながら、「あさチェン推進会議」を中心とし、DMVの商品開発や滞在型コンテンツの造成、沿線マップ等、魅力ある観光コンテンツの開発に取り組んだ。	

### 主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
「次世代公共交通ビジョン」の策定 <'17> - → <'19> 策定	-	策定	-	-	-	-		
		策定	-	-	-			
DMVを活用した観光コンテンツ <'17> - → <'22> 推進	-	開発準備	開発・推進	開発・推進	開発・推進	-		
		開発準備	開発・推進	開発・推進	開発・推進			
阿佐東線へのDMV導入 <'17> - → <'21> 導入	-	推進	推進	導入	-	-		
		推進	推進	導入	-			
DMVを活用した誘客プロモーションの実施回数 <'17> - → <'22> 10回	-	-	-	-	10回	△		
		-	-	-	7回			
DMVを活用した教育旅行等実施の推進 <'17> - → <'22> 推進	-	-	-	-	推進	-		
		-	-	-	推進			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】  「革新的な公共交通ネットワーク」の構築に向け、多様な担い手によるモーダル・ミックスを中心に、まちづくりと連携した交通網を形成し、利用者の増加につながる好循環を生み出せるよう、未来に向けた「地域公共交通の羅針盤」として「次世代地域公共交通ビジョン」を策定する。また、国・県・市町村、バス・鉄道事業者で構成する「徳島県生活交通協議会ワーキング部会」において、「公共交通の最適化」に向けて取り組む。  (ア)</p>	<p>■令和4年度取組  JR牟岐線阿南駅から浅川駅間において、全国初となる独占禁止法特例法に基づく鉄道とバスの共同経営が開始された。  DMV運行開始1周年を契機として、DMVを描いたラッピング列車やラッピングバスの運行、公共交通利用促進リレーシンポジウムや1周年記念イベントの開催などにより、公共交通の利用促進を図った。  ビジョンを踏まえ、地域公共交通活性化再生法に基づき、「幹線系統バス」に主眼を置いた「徳島県地域公共交通計画」を策定した。</p> <p>■成果  地域の实情に応じた公共交通ネットワークを形成し、利用を促進することで、持続可能な地域公共交通の実現が促進された。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課 海陽町		
<p>【施策②】  （一社）四国の右下観光局や（株）阿佐海岸鉄道など関係機関と連携し、観光周遊ルートづくりをはじめとするDMVを活用した魅力ある観光コンテンツを開発するとともに、誘客促進に向けたプロモーションを推進する。  (イ)</p>	<p>■令和4年度取組  （一社）四国の右下観光局や阿佐海岸鉄道（株）と連携しながら、「あさチェン推進会議」を中心とし魅力ある観光コンテンツの開発に取り組んだ。</p> <p>■成果  DMVを活用した観光コンテンツ（DMV+1）の開発を実施することができた。  また、DMVグッズ（牛乳パッケージ、どら焼き、アメ）の開発、販売を行った。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策③】 阿佐東線に2021年に導入したDMV等を活用し、中学校の総合学習、各種イベントによる利用促進と地域のにぎわいづくりに取り組む。また、四国の右下55フリー切符等の企画切符についても、各種イベントでのPRにより、利用促進を図り、観光振興に繋がるよう取り組む。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 DMVを活用した着地型旅行商品の企画・開発、体験型旅行の誘致など受入環境の整備を行った。</p> <p>■成果 「四国の右下55フリー切符」など各種イベントでのPRにより、利用促進を図り、観光振興に繋がった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課		
<p>【施策④】 阿佐東地域へ、国が一定の評価を示し実用化が可能となったDMVの導入や鉄道活性化に向けた取組みを促進する。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 （一社）四国の右下観光局や阿佐海岸鉄道（株）と連携し、県南の誘客拡大に取り組んだ。</p> <p>■成果 DMVグッズ（牛乳パッケージ、どら焼き、アメ）の開発・販売を行った。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課 海陽町		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●運行事業者である徳島バス（株）、徳島バス阿南（株）と協働し、持続可能な交通体系を構築する。</p> <p>●既存の交通モードにとらわれない、交通手段の確保に向けた検討を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 持続可能な新しい地域公共交通の最適化と移送手段の確保に向け、地域公共交通のあり方について、交通事業者、有識者、利用者等で構成する協議会で議論し、阿南市地域公共交通計画を策定した。 介護保険事業の枠組みを活用した「ご近所ドライブパートナー事業」を2地区において開始した。</p> <p>■成果 阿南市地域公共交通活性化協議会 1回開催 高齢者の移動手段の確保が図られた。</p>	阿南市
<p>●75歳以上の高齢者及び運転免許自主返納者を対象としたタクシー料金助成制度継続、また、徳島バス南部への補助を継続することで、地域住民の生活交通の確保を図る。</p> <p>●日常的な交通体系の整備にあわせ、観光的な交通体系（レンタルサイクリング）を模索・検討する。</p>	<p>■令和4年度取組 高齢者のタクシー利用料金助成制度の継続、徳島バス南部への補助を継続し、住民の生活交通の確保を図った。</p> <p>■成果 配布率 58.1%（うち使用率 37.3%）</p> <p>■令和4年度取組 観光に繋がるレンタルサイクル等を検討した。</p> <p>■成果 予算化出来ず、成果に繋がれなかった。</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●2系統化し利便性を高めた美波病院連絡バスを維持するとともに、拡充した高齢者タクシー助成事業を引き続き実施し、住民の生活交通の確保と美波町の交通体制の構築を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 病院連絡バス，高齢者タクシー助成事業の維持継続。</p> <p>■成果 病院利用者，高齢者の交通手段の確保が図られた。</p>	<p>美波町</p>
<p>●人口減少が進む現状において、関係町・県と連携し、DMVを観光資源とした集客により新たな地域公共交通を支えるモデルとして、利用促進を図り阿佐海岸鉄道の持続可能な運営体系に繋げる。また、DMV導入の相乗効果としてJR、南部バス・町営バス等の公共交通ネットワークの利用促進にもつなげられるように取り組む。</p>	<p>■令和4年度取組 道路と線路の両方を走れる車両（DMV）「世界初の乗り物に一度乗ってみたい」との物珍しさから、令和3年12月25日から令和4年12月末までの乗客数は約4万3千人。乗車人数は、例年のおよそ2倍。旅客収入についても、12月末時点で3千万円を超え、年間では例年のおよそ5倍の収入を上げた。</p> <p>■成果 次世代の乗り物、阿佐海岸鉄道のDMVは、地域公共交通としてJR牟岐線との相乗効果、利用促進、阿佐東地域活性化の「起爆剤」として効果</p>	<p>海陽町</p>

### 3 成長産業化による豊かな地域づくり

#### (1) 地域産業の担い手の育成と確保

##### 【プラン10】次代を担う人材の育成

##### 徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 創業人材の育成・誘致	イ 観光人材の育成
ウ 新規就農者の育成と自立支援	エ 農業版マッチングアプリを活用した農業人材の確保
オ 若手林業グループや「林業アカデミー」等と連携した担い手の育成	カ 「漁業アカデミー」等と連携した担い手の育成

プラン評価	順調
事務局所見	<p><b>【農林水産部】</b>            農業関係では、農業次世代人材投資事業の活用や、「きゅうりタウン構想」「けんなんニューファーマー育成講座」など、就農前後のサポートを充実強化したことで、20名の新規就農者を育成した。「きゅうりタウン構想」の取組みでは、4名が新たに就農し、累計30名が栽培を開始したことで、産地の担い手確保が図られた。</p> <p>また、林業関係では、令和2年の国勢調査の結果、南部圏域の林業就業者数は260人（美波管内（海部郡）113人、那賀管内（阿南市・那賀町）147人）となっており、「緑の雇用」事業の活用や、充実した林業就業体験や林業技術研修を実施した結果、担い手の確保・育成が進んだ。「とくしま林業アカデミー」での即戦力となる人材の育成や那賀高校「森林クリエイト科」、徳島大学「生物資源産業学部」など教育機関が充実したことにより、さらに担い手の確保が期待できる。</p> <p>さらに、水産関係では、「とくしま漁業アカデミー」や就業間もない青年漁業者の経営安定化に向けた支援等を行うことで、浜を支える意欲ある担い手の育成・確保が進んだ。</p>

#### 主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'22 (R4)達成度	DX	GX
観光人材を育成するための講座・研修の実施（累計） '17) ー → '22) 16件	ー	4件	8件	12件	16件	◎		
新規就農者数（累計） '17) 72人 → '22) 146人	72人	101人	116人	131人	146人	◎		
		103人	111人	135人	155人			
施設キュウリ栽培における新規就農者数（累計） '17) 9人 → '22) 32人	9人	20人	24人	28人	32人	◎	○	
		17人	19人	26人	30人			
生産者と求職者のマッチング成立件数 '17) ー → '22) 50件	ー	ー	ー	ー	50件	◎	○	
		ー	ー	ー	290件			
新規林業就業者数（累計） '17) 55人 → '22) 100人	55人	70人	80人	90人	100人	◎		○
		71人	81人	97人	111人			
小中高校に対する森林・林業学習の実施（累計） '17) 10件 → '22) 60件	10件	30件	40件	50件	60件	◎	○	○
		31件	38件	47件	60件			



主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
新規漁業就業者数(累計) '17) 62人 → '22) 118人	62人	85人	96人	107人	118人	◎		
		81人	88人	105人	118人			
県内高校生等の漁業体験者数(年間) '17) 20人 → '22) 30人	20人	30人	30人	30人	30人	◎		
		45人	28人	38人	29人			

主要施策・主要事業	令和4('22)年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<b>【施策①】</b> 海部地域において、施設キュウリ栽培の担い手を確保するため、JAや地域の篤農家と連携し、実践的な技術指導を行う「海部きゅうり塾」を開講し、ニューノーマルに対応した研修やPRを拡充することにより、移住者等の新規就農・自立を支援する。 (ア、ウ)	<b>■令和4年度取組</b> 「海部きゅうり塾」により、実践的な技術指導を実施した。また、「きゅうりタウン構想」のこれまでの取組をPRする、パンフレットを作成し、就農相談者に配布した。 <b>■成果</b> 新たに4名(累計30名)が、キュウリ栽培を開始し、産地の担い手確保につながった。	A	南部総合県民局 農林水産部	○	
<b>【施策②】</b> 若手林業従事者「山武者」や「もりもり」など地域林業関係者との連携を図り、小中高等学校および大学生を対象とした森林・林業体験を実施し、森林・林業への理解を深めるとともに、林業の担い手の確保につなげる。 (ア、オ)	<b>■令和4年度取組</b> 那賀町林業従事者会「山武者」や森林組合、林業事業体などのサポートを得ながら、フォレストキャンパス那賀等を活用して、那賀高校森林クリエイティブ科をはじめとした地域の小中高校の生徒を対象とした森林・林業体験を実施し、林業の担い手の確保につなげた。 ※R4実施回数(参加者数)：美波管内6回(373人)、那賀管内7回(122人) <b>■成果</b> 感染防止対策をしっかりと行いながら、林業機械の操作体験や、植栽の体験研修を昨年度より多く実施し、参加者数も昨年度より増え、小中高校生に林業の知見が広められた。	A	南部総合県民局 農林水産部		
<b>【施策③】</b> 高大連携や地域・民間連携の拠点となる高校・大学・地元企業が一体化した阿南光高校新野キャンパスにおいて、徳島大学との高大接続教育や産業界と連携した研究開発及び防災教育活動に取り組み、イノベーションを創出できる人材を育成します。 (ア)	<b>■令和4年度取組</b> 1 イシマササユリ保護活動(6月・11月実施) 2 植物工場での水耕栽培の共同研究 3 徳島大学との高大接続講義 4 徳島大学及び地域の企業と連携した「あらたのマルシェ」の開催 5 徳島大学及び地域と連携した「広域防災訓練」の実施 <b>■成果</b> 徳島大学や地域との持続可能な連携を構築し、地域の活性化と地方創生を担う人材の育成が図られた。	A	教育委員会		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】  四国の右下を訪れる観光客の満足度を高めるため、一般社団法人四国の右下観光局が行う観光人材育成事業を通じて、おもてなしの心で接する観光ガイドや、地域の魅力を体感する体験インストラクター、国際スポーツ大会での外国人対応する通訳ボランティアなど観光人材の育成に取り組む。  (イ)</p>	<p>■令和4年度取組  インバウンド回復に向けた接遇研修の開催や、情報発信の強化及び観光人材の育成を図るため、アクティビティ、自然・文化体験など県南部の観光コンテンツに関する研修を実施。</p> <p>■成果  県南部の観光コンテンツの視察研修を実施することで、より効果的な情報発信につながると同時に外国人に対応する観光人材のスキルアップにつながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		
<p>【施策⑤】  UJIターン者等に対して新規就農への意欲喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な拡大を図るため、「農業次世代人材投資事業」を実施する。  (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組  「農業次世代人材投資事業」の後継事業である「新規就農者育成総合対策」の実施者が、経営開始資金の利用が13名(美波：6名、阿南：7名)、経営発展支援事業の利用が8名(美波：4名、阿南：4名)であった。</p> <p>■成果  新規農業者に対し、経営開始資金の交付や、就農後の経営発展のために、必要な農業機械等の導入を行うことで、新規就農者の定着に寄与した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑥】  就農希望者等を対象とした営農基礎研修「けんなんニューファーマー育成講座」を通じて、農業の基本的な栽培技術から関連制度まで、広範囲で基礎的な知識、技術の習得を図るとともに、経営バランスのとれた人材を育成し、就農と地域への早期定着を支援する。  (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組  「けんなんニューファーマー育成講座」を、R4年5月～翌年1月まで、17回の講座を実施した。  コロナ感染症防止対策として、オンラインによるハイブリッド開催を行いながら、講義方法を工夫することで計画どおり実施した。</p> <p>■成果  就農間もない者を含む13名が受講し、基礎的な知識・技術の習得が図られた。また、受講生から新たに3名が就農し営農を開始した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑦】  JAと連携し、生産者と求職者を結びつける農業版マッチングアプリを活用し、双方のニーズを満たす柔軟な働き方を提案することで、広く地域内外から農業労働力の確保に取り組むとともに、就農に繋がる人材の育成を行います。  (エ)</p>	<p>■令和4年度取組  農業版マッチングアプリの活用について、ポスター掲示やパンフレットの配布により周知を行った。</p> <p>■成果  マッチングアプリの活用により290件が成立し、労働力確保に繋がるとともに多様な人材の確保により、農業生産に対する理解が深まった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑧】 「那賀町林業テクノスクール」との連携により、新規就業者を対象にした林業技術研修を段階的に実施し、新規就業者のレベルアップと定着化が図られるよう、林業事業体等を支援する。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 「那賀町林業テクノスクール」と連携し、高性能林業機械をはじめとした最新技術の習得やスキルアップを図り、担い手・就業者の確保に取り組んだ。「那賀高校森林クリエイト科」のほか、一般の林業従事者に対しても様々な林業に関する技術講習を実施し、新規就業希望者や林業就業者に対しレベルに応じた技術支援を行った。 ※R4受講実績：那賀高校生162名、一般204名</p> <p>■成果 森林・林業に係る研修の実施によって、小型移動式クレーンや車両系建設機械の運転技能など、那賀高校生の資格取得が進んだ。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑨】 県有林にある「フォレストキャンパス」を拠点に、「とくしま林業アカデミー」を対象にした現地研修や、「那賀高校森林クリエイト科」を対象にした林業実習を実施することによって、即戦力となる人材を育成する。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 和食県有林内の「フォレストキャンパス那賀」を活用して、「那賀高校森林クリエイト科」を対象に、伐木実習や植栽実習また林業機械の操作実習を3回実施した。</p> <p>■成果 伐木や高性能林業機械の操作技術の研修を実施するとともに、伐採跡地で、植栽実習を実施するなど、効率的な研修の実施により、担い手の育成が図られた。「那賀高校森林クリエイト科」から6名が現場技術者として林業事業体等林業関連産業に就業した。また、「とくしま林業アカデミー」から管内事業体へ7名が就業した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑩】 豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 徳島森林管理署、南部総合県民局及び那賀町との連携・協力のもと、「労働安全特別教育（チェーンソー）や刈り払い機」「小型移動式クレーン運転技能講習等」の資格取得を実施した。また、測量分野における産業用ドローン活用方法についても学んだ。地元中学校との交流学习では、木頭スギを使ったイス作りを実施し、次世代への林業教育の充実を図った。</p> <p>■成果 四年制大学への進学や公務員、地域の林業関連産業への就職など、林業に関する様々な知識や技術を身に付け、地域林業を担う人材育成が図られた。</p>	A	教育委員会		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑪】 料理教室やSNSなどによる情報発信を通じて魚食普及活動を行っている椿泊地区の若手漁業者団体「魚っSUN's」を支援する。 (カ)</p>	<p>■令和4年度取組 「魚っSUN's」による学生を対象にした漁業・漁村生活を紹介するための講義の開催を支援した（R4.9.24, YMCA阿南国際海洋センター, 参加人数70人）。</p> <p>■成果 地元の魚をより身近に感じてもらうとともに、漁業および漁村地域への関心を高めることができた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑫】 「とくしま漁業就業マッチングセンター」や、誰もが学べる「とくしま漁業アカデミー」等を通じ、地域漁業の未来を担う青年漁業者を確保・育成する。 (カ)</p>	<p>■令和4年度取組 「とくしま漁業就業マッチングセンター」や、誰もが徳島の漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」等を通じて新規漁業就業者の育成・確保に取り組んだ。</p> <p>■成果 南部管内で新たに13人が就業し、次代を担う漁業就業者の確保に繋がった。 ※阿南中央(1), 椿泊(3), 阿南(1), 阿部(1), 日和佐町(1), 鞆浦(1), 穴喰(5)</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑬】 県内高校生を対象に、漁協と連携して、海士や小型定置網等の実践的な体験漁業に取り組むことによって、漁村地域における就業希望者の積極的な受け入れに向けた意識の醸成を図る。 (カ)</p>	<p>■令和4年度取組 南部管内の漁業協同組合の協力の下、29人の高校生等を対象に、実践的な体験漁業の講習会を実施した。 ※R4.10.14 日和佐（一本釣り漁業 25人参加） R4.12.11 鞆浦（大型定置網漁業 4人参加）</p> <p>■成果 体験漁業の講習会に地元漁業者が一丸となって取り組み、新規就業者の受け入れに向けた漁村地域の意識向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「木頭ゆず」の更なるブランド化を推進する為、フランスなど海外において商談会への出展・ゆず産地PRを図るとともに、農作業お助けセンターを核として、新たな雇用環境の仕組みづくりを検討し、担い手の育成を図るとともに、ゆず商品の6次産業を進める。〈再掲〉</p> <p>●鹿肉加工商品を開発販売し、ブランド化することにより、地場産業として定着化させ地域の雇用創出を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 付加価値の向上等さらなる販路拡大をめざして、展示商談会、展示即売会への出展参加等また木頭地区未来コンビニにおける木頭ゆず祭り等により幅広い地域農産物の広報宣伝活動へ活発に取り組んだ。</p> <p>■成果 木頭ゆず祭り等について新聞等メディアへの取り上げを受けたことから、今後より一層のブランド化の進展等地域農業の振興が図れた。</p>	那賀町
<p>●牟岐町ハナエチゼン栽培研究会、JAかいふ、徳島県と連携し、超早期米「はなえちぜん」のさらなるPRとブランド化、今以上の関西方面への販路拡大を図る。</p> <p>●牟岐の農業を守る会、JAかいふと連携し、もち麦の生産・販売ともち麦を使用した商品開発を町外の大学生と連携して行い消費拡大と販路開拓を図る。</p> <p>●「実生ゆず」がフランスのミシェランガイド掲載の三ツ星レストランのシェフに高評価を経て輸出が開始されており継続して輸出を行う。また、JAかいふ、徳島県と連携し、収穫者を含め安定した収穫の仕組みをつくり6次化を強化して国内での販売につなげる。</p>	<p>■令和4年度取組 関西圏の牟岐にゆかりのある方へハナエチゼンのダイレクトメールを送付することでPRを実施し、関西圏への出荷分は即完売した。今後もダイレクトメールやSNSを活用してPRしていくことでさらなる販路拡大を図る。</p> <p>牟岐の農業を守る会、徳島文理大学食物栄養学科、亀井製麺所、美波農業支援センターとの連携により、もち麦を使ったパスタの袋のデザインを作成してきた。もち麦パスタは文理大学内のコンビニや亀井製麺所のインターネット販売を行った。</p> <p>「牟岐実生ゆず」としてのブランド化を図り、新聞やテレビ、SNS等を活用してPRを実施した。今後もフランスなどへ輸出するとともに、国内の輸出するとともに、国内の販路拡大や実生ゆずを使った6次化を実施し、生産者の所得向上を図る。</p> <p>■成果 ハナエチゼンのブランド化は進められている。 もち麦をとおして徳島文理大学と連携し商品開発を進め、令和4年度においては、地元スーパーと連携し、もち麦を使用した弁当やスイーツが販売できた。もち麦の作付面積を増加することができ、生産者の担い手の確保につながっている。今後も、もち麦の販路拡大を図るとともに、安定供給できるようもち麦の作付面積の拡大を図る。 「実生ゆず」の6次産業化の取組は継続してできた。</p>	牟岐町
<p>●全国の希望者を対象に、短期（1週間）～中期（1ヶ月）間程度、一次産業に従事し、就業体験（インターンシップ事業）を行い、一次産業の後継者不足の解消と、移住・定住の促進を図るとともに、起業に係る各種助成制度を創設し、新規就業者に対する支援を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。</p>	海陽町

## 【プラン11】担い手を育む地域の育成

### 徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 地域おこし協力隊の活動支援	イ 「きゅうりタウン構想」の推進
ウ 「農の里」づくりによる産地強化	エ 林業成長産業化モデル地域（県南）における林業担い手の定着促進
オ 観光人材活用に向けた体制の整備	

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【農林水産部】</p> <p>「きゅうりタウン構想」の推進について、「交流拠点施設」を核とした体験交流ツアーや施設受入れ等の実施では、コロナ渦の影響から回復し、参加者数は累計1,161名となった。</p> <p>また、産地や地域住民が主体となり、担い手確保ともうかる農業の実践に取り組む「農の里」づくりについては、「阿南・那賀未来の農業づくり協議会」が中心となり、「木頭ゆず」、「ケイトウの里」、「きゅうりの里」に続き、新たに「ハウスすだちの里」づくりに取組み、阿南市では、きゅうり、ハウスすだちにおいて「親方制度」等によるマンツーマン指導、那賀町においては、若手生産者グループ「チーム木頭ゆず」の活動支援に加え、ケイトウ栽培に取り組む若手生産者グループ「相花夢」と連携することで産地の活性化に向けた活動を展開し、新規就農者の確保につなげることができた。</p>

### 主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
JAかいふの「交流拠点施設」を核とする体験交流ツアーや施設受入れ等の参加者数（累計） '17 - → '22 1,000人	-	400人	600人	800人	1,000人	◎	○	
		710人	791人	921人	1161人			
「農の里」に取り組む地域数（累計） '17 - → '22 4件	-	1件	2件	3件	4件	◎	○	
		1件	2件	3件	4件			
観光人材を育成するための講座・研修の実施（累計） （再掲） '17 - → '22 16件	-	4件	8件	12件	16件	◎		
		5件	7件	13件	16件			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】</p> <p>海部地域の特産品「施設キュウリ」を核とした地域創生をめざす「きゅうりタウン構想」の実現のため、「交流拠点施設」を中心に生産者や消費者への全国に向けた情報発信を行いつつ、移住促進による担い手確保と新規就農者の定着化を促進する。</p> <p>また、「海部きゅうり塾」に続き、「オクラ・なのはな塾」を展開するなど、「きゅうりタウン構想」で蓄積したノウハウの他品目・地域への横展開を図りながら、担い手確保による産地再生に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>JAかいふが整備した「交流拠点施設」等を活用し、県内外から240名（累計1,161名）の体験交流ツアーや視察者を受入れた。</p> <p>※受入れ計19回：県内6回（29名）、県外13回（201名）</p> <p>また、新規就農者の自立・定着に向け、令和4年度に新規就農した4名を含む30名に対して、就農後の栽培技術・経営力向上のためのサポートを実施した。</p> <p>■成果</p> <p>「交流拠点施設」を活用した体験交流ツアー等により、県内外に向けた情報発信の強化と交流促進が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部	○	
<p>【施策②】</p> <p>阿南・那賀地域において、ブランド品目の生産力の維持・産地強化を図るため、動画配信を活用した情報発信やスマート農業導入に取り組み、産地や地域住民が主体となり「担い手確保」と「もうかる農業」を実践する「農の里」づくりを推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>本年度取り組んだ「ハウスすだちの里」については、新規に経営を開始する生産者2名を、ベテラン農家がマンツーマンで指導・助言するサポートで栽培培習得をめざした取り組みを実施した。</p> <p>これまで取り組んだ「農の里」3品目については、若手生産者の技術習得の支援や情報発信による販売力向上の取組を行った。</p> <p>■成果</p> <p>ハウスすだち、きゅうりでは、マンツーマン指導と環境制御装置を活用した結果、初年度から目標収量を達成することができた。ゆず、ケイトウにおいては、地域ぐるみで技術継承を行う取組とともに、那賀のブランドを強気に情報発信するイベントを実施する取組を実施した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部	○	
<p>【施策③】</p> <p>担い手の高齢化、後継者不足の対応策として、地域農業の生産性向上や農業生産活動の維持を図るため、営農の全部又は一部を協働で行う集落営農組織の育成及び担い手農家への農地集積を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>八幡地区について、「ほ場整備事業実施予定地区」を農地中間管理機構関連農地整備事業の重点推進地区として、担い手への農地集積を推進した。</p> <p>地区の担い手候補者に対し、認定農業者申請に際し、指導助言を通じ営農計画づくりを支援した。</p> <p>■成果</p> <p>地域の中心的な経営体に対し、担い手確保・経営強化事業の活用を促し、経営改善を支援した。（合同会社MNG他）黒地地区の農地について、農地中間管理機構による中間管理権の設定が完了した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 県民が木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動である「木育」を推進するため、木とふれあい、木に学び、木でつながることができる「木育の拠点」を整備する。</p> <p>(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 南部地域では、海陽町（①まぜのおかオートキャンプ内）、阿南市（②那賀川図書館内、③トヨタカローラ徳島 阿南店内）、那賀町（④地域子育て支援センター及び⑤林業ビジネスセンター内、⑥相生森林文化公園あいあいらんど）に「木育の拠点」が整備されており、木材の良さを体験できる場を提供した。（⑦阿南市役所あなんフォーラム内の木育広場については、コロナウイルス感染症対策のため閉鎖中。） また、令和5年3月にオープンした「那賀町山のおもちゃ美術館」の整備を支援した。</p> <p>■成果 「那賀町山のおもちゃ美術館」の整備により、南部地域の「木育の拠点」の利用がさらに促進されるとともに、「木育」への気運を高めることができた。 （南部県民局管内に累計8カ所整備）</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○
<p>【施策⑤】 林業成長産業化地域創出モデル事業の実施や、「那賀町テクノスクール」との連携、小中高生に対する林業体験に取組み、林業担い手の定着を推進する。</p> <p>(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 「那賀町林業テクノスクール」では、「那賀高校森林クリエイト科」162名及び一般204名、併せて366名を対象に技術研修を実施し、林業担い手の定着につなげた。 また、小中高生に対しても林業体験学習を7回（R4.4月～R5.3月）実施した。 林業成長産業化地域創出モデル事業を活用して地域外から林業就業希望者を集め、体験会（林業体験2デイズ）を実施した。</p> <p>■成果 中学生や高校生、一般者に対する幅広い就業体験を継続的に行うことで、林業への理解を深めることができた。 ～那賀高校卒業生の就業状況～ 令和1～3年度：林業事業体等へ21名、関係機関に11名が就業 令和4年度：林業事業体等へ6名、関係機関に2名が就業</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		



主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑥】 国際スポーツ大会の開催を見据え、外国人目線での観光資源の発掘や、HP・SNSなどの多言語化を図るとともに、国際スポーツ大会で外国人の対応を行うボランティアの育成に取り組みます。 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 一般社団法人四国の右下観光局と連携して、事業者向けの「おもてなしセミナー」を開催するなど、インバウンド受入態勢の強化を図った。また、外国人地域おこし協力隊による英語版SNSを活用した情報発信を行った。</p> <p>■成果 おもてなしセミナー（参加者34名）を開催することで、外国人に対応する観光人材のスキルアップ及び受入環境の整備につながった。 外国人地域おこし協力隊によるSNSを活用した情報発信を行うことで、外国人目線での観光資源の発掘につながった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●産業の発展と振興及び農村を含む地域全体の活性化を図るため、「阿南市活竹祭」を開催し、特産品の販売をするなど阿南のPRに努める。</p>	<p>■令和4年度取組 JAアグリあなんと共同し、11月26日（土）～27日（日）の2日間JAあぐりあなん及び県南部運動公園にて、JAあぐりあなん祭と同時開催</p> <p>■成果 竹に関する特設コーナーや、県外7都市から特産品の出店、「なまはげ」や「モンゴル民謡演奏」など、従来の枠組みにとられない幅広いジャンルを取り入れたステージイベント等も実施し、2日間で約27,000人の来場者があり地域全体の活性化及び有意義な阿南市のPRとなった。</p>	阿南市
<p>●高校生・大学生等の新規就業者と都市等からの那賀町移住希望者を対象に、町と連携する雇用業者が農林業新規従事者募集を実施する。併せて、既存空き家屋等を雇用事業者が借り上げるシステムづくりを推進する。そして、借り上げた家屋を居住用に使用するにあたって改修が必要な場合、町はその改修費用の補助を雇用事業者に対して行う。これら施策により農林業新規雇用の増進を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 空き家バンクへの登録に係る農地取得による農業生産活動の開始予定が1件あった。</p> <p>■成果 予定の1件については現在未実施。</p>	那賀町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●道の駅日和佐の物産館入り口脇の、ワンデイシェフ的な活用が出来るチャレンジショップを利用し、集客の向上に加え、飲食関係事業等の新たな展開を模索する。</p> <p>●農家の後継者不足解消及び農地保全に向けて、モデル地区を設定し、農作業を請け負う仕組みを研究する。</p>	<p>■令和4年度取組 チャレンジショップは、5組の方が延べ20日利用し、新たな事業の展開・商品を模索した。</p> <p>■成果 チャレンジショップの利用による道の駅と実店舗への来客増への相乗効果と、初開催となった美波夜市（ナイトマーケット）でもチャレンジショップを活用し、通常の営業時間外での道の駅の活用に繋がった。</p> <p>■令和4年度取組 中山間地域等直接支払交付金を活用して、赤松地区で共同の農業機械を購入し農地保全の取り組みを実施した。</p> <p>■成果 地域として農地保全に取り組みやすい環境整備に寄与した。</p>	<p>美波町</p>

(2) 生産を増やし、需要を拡大する「もうかる農林水産業」の推進  
【プラン12】世界にはばたく農畜産物のブランド化・6次産業化等の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 農地整備や農業用水の安定供給によるブランド産地支援	イ 「木頭ゆず」・「阿波尾鶏」の販路拡大・6次産業化の推進
ウ 6次産業化に取り組む女性ネットワークの活動支援	エ 地域資源の活用や「農水連携」による6次産業化の推進
オ 「ストーリーテラー（商品の語り部）」の育成	カ ケイトウなど那賀町特産花きの新たな需要拡大
キ 地域の特色を活かしたブランド構築による「きゅうりタウン」の発信力の強化	

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>【農林水産部】 「木頭ゆず」については、地理的表示（GI）を活かした商品開発・販路拡大を支援するとともに、輸出体制を構築するため、海外輸出に対応した栽培管理指導や、選果こん包施設等での輸出検査の対応強化を図った。しかしながら令和4年度は例年になく不作とウクライナの影響を受け、輸出量は減少した。「阿波尾鶏」については、「地域商社阿波ふうど」等と連携を図りながら、重点的な輸出先である香港において、現地小売店での販売プロモーションを行うことで、阿波尾鶏の消費拡大及び認知度向上を図った。</p> <p>また、海部郡の女性農業者の6次化商品開発スキルや訴求力を高めるとともに、大学生や首都圏バイヤーとの個別マッチングによる異業種連携の推進により、新商品が開発され販路拡大につながった。</p> <p>ケイトウについては、町やJAと連携した担い手育成の支援により、新たな需要としてビクトリーブーケに加え、花手水でのプロモーション、規格外品のアレンジメントや花束需要に向けた生産拡大の取組が進んだ。</p> <p>その他、「きゅうりタウン」の発信力を強化するため、海部高校と協同し、新たなブランド「波乗りきゅうり」のロゴを作成し、知的財産権の取得に向けた取組を進めた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
ゆず・阿波尾鶏等の海外輸出货量 <'17> 19t → <'22> 40t	19t	31t 28.2t	34t 30.8t	37t 26.7t	40t 29.3t	△		
「GI木頭ゆず」の6次化商品開発数（累計） <'17> - → <'22> 10商品	-	4商品 4商品	6商品 6商品	8商品 8商品	10商品 10商品	◎		
南部の女性ネットワークを活用した6次化商品開発数（累計） <'17> - → <'22> 14商品	-	5商品 5商品	8商品 8商品	11商品 11商品	14商品 14商品	◎		
ビクトリーブーケを活用したケイトウのPR実施回数（累計） <'17> - → <'22> 16回	-	- -	- -	- -	16回 16回	◎		
知的財産権の取得による「きゅうりタウン」の発信力強化 <'17> - → <'22> 推進	-	- -	- -	- -	推進 推進	-		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 那賀川流域を中心とした汎用性の高い農地の整備や、良質な農業用水の安定供給に努めることにより、ブランド産地を支援する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 芳崎地区、長生中央地区及び那賀川西部地区において、21.6haのほ場整備工事等を実施（繰越し含む）。 また、国営付帯県営農地防災事業の那賀川今津地区・那賀川平島地区・那賀川南岸地区において、0.3kmの用水路改修及び用水機施設整備を行った。</p> <p>■成果 管内のほ場整備率が83.7%となり、ブランド産地を支える汎用性の高い農地の整備が進むとともに、良質な農業用水の安定供給が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策②】 TPP11や日EU・EPA（EUとの経済連携協定）などの経済グローバル化にも対応し、南部圏域の基幹農業である施設園芸や土地利用型農業において、次世代に向けた生産・流通での構造改革を推進するとともに、ブランド品目及び育成品目等を中心とした「攻め」と「守り」のきめ細やかな支援により、産地の「体質強化」を実現する。 (ア、イ、ウ、エ、カ)</p>	<p>■令和4年度取組 海部郡及び阿南市の施設キュウリや那賀町のケイトウなど産地の核となる若手農業者の育成や、高性能林業機械導入による生産性向上、漁協施設設備の充実強化、さらには「木頭ゆず」の国内外への販路拡大など、次世代に向けた農林漁業者の取組をTPP関連事業（産地パワーアップ事業（国補）、農山漁村未来創造事業（県単））を活用し、産地を支援した。</p> <p>■成果 「木頭ゆず」においては、輸出に向けた生産体制の強化や、園芸関係ではハウス建設やを未来創造事業を活用し、産地の体質強化につなげた。 ○県単未来創造を活用した施設整備 JAアグリあなん（胡瓜研修施設（1152㎡） 加茂谷元気なまちづくり会：リタイヤインフラ（中古ハウス等） （株）黄金の村：輸出拡大施設（プレハブ冷蔵庫）</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策③】 丹生谷地域の「木頭ゆず」については、地理的表示（GI）を活かし、他産地との差別化やEU等への青果・加工品の輸出促進など、販路拡大を推進する。 また、「阿波尾鶏」の輸出拡大に向けて、「地域商社阿波ふうど」等と連携を図りながら、重点的な輸出先である香港での販売促進や他国・地域への販路拡大を支援する。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 「木頭ゆず」については、地理的表示（GI）を活かした商品開発・販路拡大を支援するとともに、輸出体制を構築するため、海外輸出に対応した栽培管理指導やミカンバエ発生調査の支援を行った。「阿波尾鶏」については、「地域商社阿波ふうど」等と連携を図りながら、重点的な輸出先である香港において、「なると金時」や「海産物」等、他の徳島県産品とともに、現地小売店での販売プロモーションを行った。</p> <p>■成果 「木頭ゆず」については、選果こん包施設での輸出検査の対応強化が図られるとともに、新たな商品開発・販路開拓が進んだ。 ※R4 新商品開発数：2商品 （Yuzu Yukiクッキー、昆ちゃん柚子ポン） 「阿波尾鶏」については、香港における消費拡大及び認知度向上を図ることができた。</p>	B	南部総合県民局 農林水産部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 南部ならではの魚類、海藻類やキュウリ等の農水産物を活用した6次産業化の推進のため、6次産業化に取組む女性や関係事業者等とのネットワークを構築する。 また、多様な女性の視点と情報網を持つネットワークを活かし、「実生ゆず」等と用いた魅力ある商品の開発・販路拡大、農家レストランや農業体験等を支援するとともに、南部地域を代表する特産品となり得る「農水連携」による新たな6次産業化商品の開発・PR等を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 女性等の様々な視点を取り入れた商品開発を支援するため、女性農業者を中心とした加工技術研修会を実施した。また、農業者と大学、首都圏バイヤーとの個別マッチングにより異業種連携の推進を図った。</p> <p>■成果 異業種との連携による6次産業化の取組が育成され、連携をとおして多様な技術や意見を取り入れることで、実生ユズともち麦みそを使用した調味料「ポンジュレゆう」等の南部圏域ならではの新商品が開発された。また、県内外の大学生との交流により地域の魅力を知ってもらうことで、学生の感性を活かした商品開発や情報発信の実施に繋がった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑤】 商品と地域の「物語」をバイヤーや消費者に伝える「ストーリーテラー（商品の語り部）」を育成し、商品とその背景にある地域のPRを強化することで、6次産業化商品の販路拡大やインハウンドの誘客促進に繋げる。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組 県外大学生との交流会により大学生が地域や商品について学ぶ機会を創出し、大学生が独自に販売やPR活動を行う取組みを支援した。</p> <p>■成果 地域外の大学生を「ストーリーテラー」として育成する体制ができ、商品とその背景にある地域のPRが促進され、販路拡大を図ることができた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑥】 那賀町の特産品「ケイトウ」を中心とした花き産地の再生・活性化を図るため、スポーツイベントのピクトリーブーケとして提案するなど、新たな需用拡大を図るとともに、生産供給体制の強化や人材育成に取組む。</p> <p style="text-align: right;">(カ)</p>	<p>■令和4年度取組 全国高等学校総合体育大会の総合受付におけるアレンジメント展示のほか、阿南市で開催されたホッケー競技上位入賞校へピクトリーブーケを贈呈し、メディアやSNSを通じて「勝利の花」のイメージを発信した。 その他、地元小学校や伝統文化行事と連携した場、県南地域でのスポーツイベントでピクトリーブーケの展示等で紹介するとともに、新たに花手水でのプロモーションを実施し、地域ぐるみの情報発信を行った。 また、新規栽培者に対する初期投資の負担軽減やベテラン農家とのマッチングによるマンツーマンでの栽培、経営指導を支援した。</p> <p>■成果 ケイトウの新たな需要として、ピクトリーブーケに加え、アレンジメントや花束需要の可能性が生まれた。また、若手生産者グループ「相花夢」による周年供給体制の整備が進んだ。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑦】  これまでの「きゅうりタウン」の取り組みに加え、海部地域の魅力ある自然や食、文化などの地域資源とコラボしたブランドイメージを展開することにより、「きゅうりタウン」の情報発信の強化や「海部きゅうり」の認知度向上を支援します。</p> <p style="text-align: right;">(キ)</p>	<p>■令和4年度取組  新たに地域ブランド構築検討会（JA、商工会、阿佐海岸鉄道、海部高校、町、県民局）を開催し、海部地域の魅力ある自然や食、文化などの地域資源とコラボしたブランドイメージについて検討した。</p> <p>■成果  海部高校と協働し、新たなブランド「波乗りきゅうり」のロゴを作成し、知的財産権の取得に向けた取組を進めた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「木頭ゆず」の更なるブランド化を推進する為、フランスなど海外において商談会への出展・ゆず産地PRを図るとともに、農作業お助けセンターを核として、新たな雇用環境の仕組みづくりを検討し、担い手の育成を図るとともに、ゆず商品の6次産業を進める。〈再掲〉</p> <p>●鹿肉加工商品を開発販売し、ブランド化することにより、地場産業として定着化させ地域の雇用創出を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 付加価値の向上等さらなる販路拡大をめざして、展示商談会、展示即売会への出展参加等また木頭地区未来コンビニにおける木頭ゆず祭り等により幅広い地域農産物の広報宣伝活動へ活発に取り組んだ。</p> <p>■成果 木頭ゆず祭り等について新聞等メディアへの取り上げを受けたことから、今後より一層のブランド化の進展等地域農業の振興が図れた。</p>	那賀町
<p>●牟岐町ハナエチゼン栽培研究会、JAかいふ、徳島県と連携し、超早期米「はなえちぜん」のさらなるPRとブランド化、今以上の関西方面への販路拡大を図る。</p> <p>●牟岐の農業を守る会、JAかいふと連携し、もち麦の生産・販売ともち麦を使用した商品開発を町外の大学生と連携して行い消費拡大と販路開拓を図る。</p> <p>●「実生ゆず」がフランスのミシェランガイド掲載の三ツ星レストランのシェフに高評価を経て輸出が開始されており継続して輸出を行う。また、JAかいふ、徳島県と連携し、収穫者を含め安定した収穫の仕組みをつくり6次化を強化して国内での販売につなげる。</p> <p style="text-align: right;">〈再掲〉</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西圏の牟岐にゆかりのある方へハナエチゼンのダイレクトメールを送付することでPRを実施し、関西圏への出荷分は即売した。今後もダイレクトメールやSNSを活用してPRしていくことでさらなる販路拡大を図る。</li> <li>・牟岐の農業を守る会、徳島文理大学食物栄養学科、亀井製麺所、美波農業支援センターとの連携により、もち麦を使ったパスタの袋のデザインを作成してきた。もち麦パスタは文理大学内のコンビニや亀井製麺所のインターネット販売を行った。</li> <li>・「牟岐実生ゆず」としてのブランド化を図り、新聞やテレビ、SNS等を活用してPRを実施した。今後もフランスなどへ輸出するとともに、国内の輸出するとともに、国内の販路拡大や実生ゆずを使った6次化を実施し、生産者の所得向上を図る。</li> </ul> <p>■成果 ハナエチゼンのブランド化は進められている。 もち麦をとおして徳島文理大学と連携し商品開発を進め、令和4年度においては、地元スーパーと連携し、もち麦を使用した弁当やスイーツが販売できた。もち麦の作付面積を増加することができ、生産者の担い手の確保につながっている。今後も、もち麦の販路拡大を図るとともに、安定供給できるようもち麦の作付面積の拡大を図る。 「実生ゆず」の6次産業化の取組は継続してできた。</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●商工会や観光協会，漁業協同組合，JAかいふ，場合によっては民間事業者や大学等とも連携を模索し，新たな技術や装置の試験導入も試みながら，既存産品をベースとして或いはいくつかの産品を組み合わせる新たな産品を創出し，販路開拓を試みる。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4.11月に美波町都市再生整備計画事業検討協議会を設置，美波町を訪れる観光客をまちなかに引き込む仕掛けつくりと【仮称】日和佐港賑わいづくり構想案をもとに各種団体及び民間企業による既存産業と新たな産業の融合等による活性化について検討を開始した。</li> <li>・未利用魚であるアイゴの商品化を進めることで磯焼けなど環境保護にも繋がることから，官民で連携し商品化を模索し試食会など実施した。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美波町都市再生整備計画事業検討協議会の設置により，今後の方向性について共有し，賛同を得ることができた。</li> <li>・商品化を進めるため作業場や設備について協議する体制づくりができた。</li> </ul>	<p>美波町</p>
<p>●有機作物栽培の元気農業研究会（勉強会）の実施。海陽町野菜のブランド化を行うとともに消費者へ向けた野菜の価値をPRし，消費拡大，新規販売ルートの開発を目指す。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>有機作物栽培の元気農業研究会では勉強会を実施した。また，毎月末に徳島市内で行われる「とくしまマルシェ」で海陽産の販売を行った。</p> <p>■成果</p> <p>「とくしまマルシェ」は新型コロナウイルスの影響によりあまり出店できなかったが，消費者拡大，新規販売ルートに向けて取り組むことができた。</p>	<p>海陽町</p>



【プラン13】 県南ならではの水産物のブランド化等の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 「海部の魚」のPR・販売促進	イ 大学等高等教育機関や企業と連携した新たな漁業の創出
ウ 低利用・未利用素材などの水産物の6次産業化商品の開発支援	エ 種苗放流や藻場造成など「資源管理型漁業」の推進

プラン評価	順調
事務局所見	【農林水産部】 種苗放流による水産資源の維持・増大や水産物出荷・流通施設の整備による漁獲物の付加価値向上等に取り組んだ結果、県産水産物のブランド力強化が図られるなど、目標達成に向け、順調に進んでいる。

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
水産加工品の開発数(累計) <'17> 1商品 → <'22> 10商品	1商品	4商品	6商品	8商品	10商品	◎		
		4商品	7商品	9商品	10商品			
水産物出荷・流通施設の整備箇所数(累計) <'17> 13箇所 → <'22> 25箇所	13箇所	19箇所	21箇所	23箇所	25箇所	◎		
		21箇所	22箇所	24箇所	25箇所			
水産関係の6次産業化の取組件数(累計) <'17> 8件 → <'22> 12件	8件	9件	10件	11件	12件	◎		
		9件	10件	11件	12件			
魚・貝類の種苗放流の実施件数(累計) <'17> 41件 → <'22> 69件	41件	51件	57件	63件	69件	◎		
		53件	58件	66件	74件			

主要施策・主要事業	令和4('22)年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】 海部郡の漁協、関係町等で組織する「とくしま海部水産物品質確立協議会」を中心に、海部郡内の水産物の産地強化を支援するとともに、ブランド化、6次産業化を推進し、漁家所得の向上、漁協経営の安定を図る。また、生産者等による「インターネット通販」を活用した販路拡大の取組みを支援する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 「とくしま海部水産物品質確立協議会」による産直市におけるPR販売やアオリイカ動画の配信など、海部郡内の水産物の産地強化に向けた取組みを推進した。</p> <p>■成果 かいふ水産ブランド「海部の魚」等の知名度向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策②】 漁協の冷凍冷蔵庫，活魚出荷施設など，出荷・流通施設整備を支援し，品質向上による漁家経済の安定・向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 水産物の品質向上による漁家経済の安定・向上を図るため，農山漁村未来創造事業（県単）を活用した漁協の施設整備を支援した。</p> <p>■成果 阿部漁協における保冷機能付きトラックの導入を支援した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策③】 海藻，貝類の養殖拡大を視野に入れ，大学や企業と連携し，新しい漁業の創出を図る。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 美波町の漁業者等で組織する「美波の海の恵み研究会」によるワカメの養殖試験を支援するなど，新しい漁業の創出に向けた取組みを推進した。</p> <p>■成果 早取りの養殖ワカメ「明けの春姫」など，新しい漁業の創出に向けた取組みが推進された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 美波町		
<p>【施策④】 漁業関係者と大学等が連携して，地元食材，低利用・未利用の素材を用いた新商品の開発などの活動を支援する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 漁業関係者による地元食材である「アイゴ」を用いた新商品の開発に向けた活動を支援した。</p> <p>■成果 新たに1商品（アイゴ加工品（燻製等））が開発され，平成29年度からの累計開発数は10商品となった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 海陽町 美波町		
<p>【施策⑤】 自治体や漁協が実施する種苗放流および増養殖場整備など，資源増大や漁場機能の回復を図る取組みを支援する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 水産資源の増大や漁場機能の回復を図るため，国や県単の補助事業を活用し，漁協等が実施するアワビ種苗放流，アオリイカ産卵礁造成の取組みを支援した。</p> <p>■成果 アワビ種苗放流1件（伊島漁協），アオリイカ産卵礁造成7件（由岐漁協，木岐漁協，日和佐町漁協，牟岐東漁協，牟岐町漁協，鞆浦漁協，穴喰漁協）の実施により，水産資源の増大に向けた取組みを推進した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●地域イベントにおいて、漁協と連携してアワビをはじめとする地元鮮魚・魚介類の販売や海を活かしたPRを実施することで、町内外での水産物利用促進や、交流人口の増加を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 例年アワビの水揚げが減少傾向であることから、アワビから牟岐の新鮮な水産資源としてナガレコ、活魚、イセエビなど幅広く水産資源をPRするため、「アワビまつり」から「漁師祭り」への転換を検討するが、コロナの影響でイベントは中止。 県西部（三好市、美馬市）、県東部（神山町）で海産物を利用した食の交流イベントや商談会を実施した。</p> <p>■成果 R6「漁師まつり」としての再出発する予定。 ヘソサロン（三好市）と町内水産会社が定期的に海産物の取引を開始する。</p>	牟岐町
<p>●美波の海の恵み研究会等が、海藻養殖事業にてブランド化した早摘みワカメ“明けの春姫”とワカメめかぶを配合した植物発酵エキス配合飲料“ハルヒメ”の販路拡大を支援する。</p>	<p>■令和4年度取組 ・例年同様、明けの春姫生産・販売に関する支援を行った。ハルヒメは賞味期限延長試験の実施後、取り扱い店の開拓等、販路拡大等を行った。</p> <p>■成果 ・研究会等の明けの春姫種苗は温暖化を要因とする海水高温化が課題となっているため、徳島県水産研究課と協力し、高水温下でも生育が可能な品種の試験養殖を行い、当漁場で一部、養殖が可能であると確認された。ハルヒメは昨年、賞味期限延長試験に成功した商品の活用を行うため、地元の飲食店業者へ持ち込み、シャーベット等への原材料として提供し、実際、店舗の商品として販売された。今年度、東京にあるアンテナショップ「ターンテーブル」の販売マネージャーと販売の方法など協議を行い、パッケージデザインや店舗での販売方法等について意見交換を行った。</p>	美波町
<p>●町内3漁協（浅川、鞆浦、宍喰）合同で「とれとれ市」（鮮魚販売）を漁協主体により開催する。また、冷凍加工設備を使用し、地元食材を学校給食に提供するとともに新商品と販売ルートの開発を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 「とれとれ市」を開催することができた。 新商品、販売ルートは開発を行えなかった。</p> <p>■成果 久しぶりの町イベントということもあり、沢山の方に参加していただいた。水産業の振興に寄与することができた。</p>	海陽町

## 【プラン14】 県南林業の成長産業化の推進

### 徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 競争力・生産性の高い林業・木材産業の推進	イ 伐採・再造林による循環型林業の促進
ウ 「新たな森林管理システム」の本格運用	エ 森林環境譲与税を活用した林業の成長産業化の推進
オ 計画的な路網整備の促進	

プラン評価	要改善
事務局所見	<p>【農林水産部】</p> <p>令和元年度からスタートした「スマート林業プロジェクト」により、これまで取り組んできた搬出間伐に加え、主伐による県産材の増産を図るため、タワーヤーダなどの主伐に対応した先進林業機械の導入支援やドローンの有効活用を進め林業作業効率の向上を図るとともに、コンテナ苗木などを活用した再造林を進めた。</p> <p>また、令和元年度から始まった「新たな森林管理システム」の構築を支援するとともに、「森林環境譲与税」の活用を図るなど、森林資源の循環利用と持続的な林業を展開した。</p> <p>今後も先進機械の導入や、「とくしま林業アカデミー」及び「那賀高校森林クリエイト科」と連携した人材育成を図るとともに、「那賀町林業テクノスクール」と連携した林業資格研修等に取り組み、県産材生産量の拡大に努めるとともに再造林の実施により循環型林業を促進し、林業の成長産業化に繋げる。</p>

### 主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
県産材の生産量 <'17> 15.2万㎡ → <'22> 26.3万㎡	15.2万㎡	20.9万㎡ 16.9万㎡	22.4万㎡ 14.2万㎡	23.8万㎡ 16.2万㎡	26.3万㎡ 16.1万㎡	△		○
主伐後の再造林面積 <'17> 79ha → <'22> 95ha	79ha	80ha 43ha	85ha 75ha	90ha 93ha	95ha 71ha	△		○
森林境界の明確化面積(累計) <'19> 19,505ha → <'22> 21,500ha	—	— —	— —	20,800ha 21,623ha	21,500ha 22,644ha	◎		○

主要施策・主要事業	令和4('22)年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】</p> <p>年々充実を続ける森林資源の積極的な活用を図る「スマート林業プロジェクト」を推進する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>林業生産の基盤となる高性能林業機械の導入(美波1台+那賀4台)や林内路網の整備はもとより、「とくしま林業アカデミー」により即戦力となる20名の林業技術者(うち7名が南部管内)を育成するとともに、新たな木質バイオマス発電所への燃料需要に対応するべく「那賀町チップ工場」の整備を支援した。</p> <p>■成果</p> <p>木材の増産体制の充実が図られた。</p>	A	スマート林業課 南部総合県民局 農林水産部	○	○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策②】 「ウッドソリューションセンター」を中心に、事業地確保による主伐等の推進に向けた取組みを展開する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 林業における様々な課題を解決するため、海部森林組合内に「海部ソリューションセンター」を設置し、主伐を中心とした事業地確保に取り組んだ。</p> <p>■成果 森林整備の事業地確保が進んだ。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策③】 これまで取り組んできた搬出間伐に加え、主伐による県産材の増産を図るため、先進的な林業機械の導入や効率的な路網の整備等により、生産性の向上を図るとともに、主伐後の再造林も積極的にを行い、森林資源の循環利用と持続的な林業を展開する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 高性能林業機械の導入や作業路網の開設を支援し、生産性の向上を図った。また、伐採後の再造林に取り組む事業者への支援を行うなど、森林資源の循環利用と持続的な林業の展開に取り組んだ。</p> <p>■成果 高性能林業機械を（美波1台＋那賀4台）導入するとともに、作業路網の開設により、生産性向上に向けての効率化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部	○	○
<p>【施策④】 主伐後の造林経費の負担軽減を図るため、植栽時期を選ばず、年間を通じて植栽が可能となる次世代苗木（コンテナ苗）を活用した造林を推進する。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 森林所有者への負担が大きい再造林について、森林環境保全直接支援事業など「造林公共事業」を活用して、造林を実施した。</p> <p>■成果 伐採後の新植について、大半がコンテナ苗木による造林が行われており、裸苗からコンテナ苗へ、低コスト造林への移行が着実に進んだ。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○
<p>【施策⑤】 林業遺産である樺木林業での施業方法を継承しつつ、広葉樹資源の循環型林業の推進と木材の新たな需要開拓・促進に向けた担い手への積極的な支援を行う。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 「(株)四国の右下木の会社」が実施する、樺木林業推進のための加工施設や事業地確保対策等の支援を行うとともに、「とくしま樺木林業推進協議会」を中心に、広葉樹を活用した循環型林業と産業振興へ向けての合意形成が図られた。</p> <p>■成果 樺木林業による森林施業と産業振興への取り組みが開始された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑥】 平成31年度4月から施行された「森林経営管理法」に基づき、市町村が主体となった「新たな森林管理システム」の構築・運用を支援するとともに、「森林環境譲与税」の積極的な活用による森林の適正な整備・管理・担い手の育成、森林境界の明確化の推進、さらには木材の利用を促進するなど、「林業の成長産業化」に向けた取組みを加速する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ、エ)</p>	<p>■令和4年度取組 「とくしま南部地域森林管理システム推進協議会」を中心に、森林所有者に対し、林業経営の意向調査を実施した。また、「森林環境譲与税」の積極的な活用が図られるよう、市町村に対し、森林境界の明確化作業や間伐など森林整備の推進、林業担い手の育成、木材の利用促進を行った。</p> <p>■成果 意向調査の区域が拡大するとともに、「森林環境譲与税」を財源とした森林境界の明確化、森林整備事業も実施され、適切な森林の整備・管理・担い手の育成、木材利用を促進する体制が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 スマート林業課		○
<p>【施策⑦】 効率的な森林施業を実施するため、林道、林業専用道や森林作業道等を適切に組み合わせたネットワークを構築し、計画的な林内路網整備を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組 効率的な森林施業を実施するため、円滑な皆伐作業に必要な林道・林業専用道や、間伐材搬出用の作業道等を整備延長する等、計画的な林内路網の整備・配置を推進した。</p> <p>■成果 森林作業道、林業専用道、林道で合計24kmの開設を行い効率的な森林施業が図られた。</p>	A	スマート林業課 森林整備課		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●新たな木材流通システムを確立し、流域の安定した木材供給と流通コストの縮減を図る。</p> <p>●木粉を材料とした二次製品の販路拡大に向けた市場調査等を支援する。</p> <p>●木づかい住宅等支援事業により、町産材の活用を推進する。</p> <p>●里山の高林齢化した未整備林を整備し、地域住民の生活圏周辺の森林環境と生活環境の改善を図る。</p> <p>●林業の担い手確保と育成を図るとともに、新たな施業システムの導入に向けた研究・開発を推進する。</p>	<p>■令和4年度取組 町内及び県南地域の原木をA材からD材まで全て集約し流通コストの削減を図るため、舞ヶ谷貯木場にチップ工場建設した。</p> <p>■成果 令和5年4月からチッププラントの運用を開始。R5年度は8千トンの製造を行う。</p> <p>■令和4年度取組 市場調査等により(株)那賀ウッドで製造された木粉から二次製品として、タンブラーやティーカップといったボタニカルシリーズの新商品を開発し製品モニタリング及び販売を行った。</p> <p>■成果 木粉を使った新商品については、形成技術の進歩もあり、より複雑な形状が製造できつつある。新商品は実際に利用したアンケートの結果概ね良好な評価が得られた。また、環境への悪影響を懸念してプラスチックから木粉など自然素材に切り替える動きがあり、バイオマス資源を活用した新素材開発推進などの機運が高まっている。</p> <p>■令和4年度取組 木づかい住宅等支援事業：2件 23.867㎡</p> <p>■成果 新築案件はなかったもののリフォーム増改築案件が2件であった。R3年度と比べると少なかったため、制度の見直しをするなど、事業量の増加に努めていく。</p> <p>■令和4年度取組 里山再生を図るため3.46haの主伐を実施した。</p> <p>■成果 集落周辺の日照が良くなるなど地元住民からの評価は高い。</p> <p>■令和4年度取組 林業体感イベント「3Days」や那賀高校クリエイト科の生徒を対象に伐木や高性能林業機械実習を実施し担い手確保に努めた。また、新たな施業システムの研究・開発として、「ケーブルグラップル」の開発・実証を行った。</p> <p>■成果 新型コロナウイルスの影響もあり3Daysを2Daysとし、林業アカデミー生を対象とするなど規模を縮小して実施したが、林業技術交流会等実施内容を工夫したことにより、令和4年度在籍の林業アカデミー生1名が那賀町の林業事業体へ就職した。「ケーブルグラップル」については、実証結果が良好で、令和5年度中に実装予定。</p>	<p>那賀町</p>

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●森林環境譲与税並びに森林環境税を活用し森林の境界線を明確化することで、施業の効率化、高速化を図る。また、意向調査に基づき、とくしま南部地域森林管理システム推進協議会等と連携を図りながら、森林の資源管理、経営についての可能性を探る。</p> <p>●整備されていない広葉樹林帯から備長炭を作り、備長炭を活用した新たな商品開発に取り組む。また、樵木林業による循環型林業の推進を図り、体験型林業をとおして人材育成を推進する。</p> <p>●木材利用のため、大学の建築サークルやかいふの木の家と連携して、町有施設改修事業において木材利用を推進する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海部森林組合や徳島大学建築サークルAUTと連携して小学生向け林業体験（間伐体験、木工教室）を開催した。</li> <li>徳島大学建築サークルAUT、海部森林組合と連携し、町有施設「CANSO」を改修した。</li> <li>サンライン沿いのモラスコ・少年自然の家の看板デザインを実施した。</li> <li>牟岐の伝統伐採法である「樵木林業」の手法等を用いて牟岐町内の森林から木の伐採・搬出を行い、伝統技術の継承を行った。</li> </ul> <p>また、搬出した木材を活用し、林業や木材利用に対する普及啓発、体験学習や炭焼き技術継承を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島大学建築サークルAUTがかいふの木の家と連携し、町有施設「CAN・SO」を改修。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海部森林組合と連携して小学生向け林業体験（間伐体験、木工教室）を開催し、4名が参加した。</li> <li>徳島大学建築サークルAUTと連携して、木工教室を開催し、4名が参加した。</li> <li>徳島大学建築サークルAUT、海部森林組合と連携し、町有施設「CANSO」の中庭改修、棚製作を実施した。</li> <li>地域おこし協力隊に火おこし講習を実施、2名が参加した。</li> <li>西又地区の牟岐色窯で、牟岐町の地域課題の解決のため連携事業を行っている大阪公立大学の学生に、炭窯や、備長炭についての講義、薪割体験を実施し、6名が参加、京都産業大学の学生に、炭焼き・備長炭についての講義、薪割体験、竹コップ・竹箸づくり体験を実施し、20名が参加した。</li> <li>活動を通して、徳島大学建築サークルAUTから河内活性化センター木製看板や保育園への木のおもちゃの寄贈があった。</li> </ul>	<p>牟岐町</p>



市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●森林環境譲与税を活用し、森林整備をはじめ、担い手の確保や林業就業者の育成を図る。</p> <p>●とくしま南部地域森林管理システム推進協議会や一般社団法人とくしま森林バンク等と連携を図りながら、健全な森林整備を行うことにより、森林資源の保全と適正な森林管理を目指す。</p> <p>●とくしま樺木林業推進協議会を中心に樺木林業の再興を図るとともに、薪、炭などの森林資源を活用し、温室効果ガスの排出削減に向けた循環型社会実現に向けた推進を図る。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●森林環境譲与税を活用した美波町森林整備担い手対策事業の申請をサポートした。</li> <li>●とくしま森林づくり推進機構に業務委託し、森林環境譲与税を活用した森林整備事業と森林境界明確化事業を実施した。</li> <li>●とくしま樺木林業推進協議会事業実施地として町有林での実施を協力した。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業について5件の申請があり林業用機械の導入等に係る費用を補助した。</li> <li>●森林所有者の探索に協力したことで現所有者の特定等に資することができ、意向調査結果回収率等事業の進捗に寄与した。放置林整備事業約40ha、境界明確化事業約50haを実施した。</li> <li>●調査林として町有林を提供することで事業に協力し、樺木林業の施業方法確立に向けた調査事業実施の足がかりとした。</li> </ul>	美波町
<p>●海陽町産材活用住宅建築推進事業費補助金対象を拡充し、町産材の活用を推進する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>海陽町産材を活用した住宅や倉庫の建築費の補助</p> <p>■成果</p> <p>増改築1件（町産材使用量29.49m<sup>3</sup>）</p>	海陽町

(3) 「超スマート社会」の実現

【プラン15】「スマート農林水産業」の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア IoT技術導入等による先進農業モデルの構築	イ ドローン等を活用した森林調査やシカ防護柵の見回り効率化
ウ 漁業におけるリアルタイム水温等情報配信システムの利用推進	

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【農林水産部】 次世代園芸技術を導入したキュウリ農家の10aあたりの収量については、「きゅうりタウン構想」の目標とする30トンを実現した。 林地管理や産業用としてのドローン利用に対する興味が高まり、林業事業体などが研修会等に参加することにより、新たな利活用について機運が高められた。 また、ICTを用いた海水温の観測機設置は、順調に進んでおり、効率的な漁業の推進に寄与している。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
年収1,000万円を目指し次世代園芸技術を導入したキュウリ農家の10aあたりの収量 '17) 23t → '22) 30t	23t	25t	28t	29t	30t	◎	○	
ドローン活用した林業用防護柵の見回り地区数 '17) 試験実施 → '22) 推進	試験実施	実証試験実施	推進			—	○	
		実施済	推進	推進	推進			
産業用ドローンを活用する林業事業体数(累計) '19) — → '22) 4事業体	—	—	—	2事業体	4事業体	◎	○	
		—	—	2事業体	4事業体			
ICTを用いた海水温の観測機設置箇所数 '17) — → '22) 5箇所	—	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	◎	○	
		2箇所	4箇所	5箇所	6箇所			

主要施策・主要事業	令和4('22)年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】 「きゅうりタウン構想」を実現するため、次世代園芸技術(養液栽培、複合環境制御、IoT技術)の導入・定着を図り、ベテラン農家並の多収技術を確立することにより、新規就農者の生産性向上を実装するモデルを構築する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 IoT等の次世代園芸技術を導入した7経営体が、目標収量の達成に向けて取組み、2経営体が目標収量の30トン達成した。また、これまでの知見をもとにマニュアルを改訂した。</p> <p>■成果 栽培経験の浅い新規就農者でもマニュアルを基に栽培管理を行うことで、さらなる生産性向上が可能であることが明らかとなった。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部	○	

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策②】 林地において、ドローンを活用したシカ防護柵の管理技術の実証や、森林調査の利用などを検討するとともに、苗・資材を運搬する産業用ドローンの林業事業者での活用を推進し、林地管理の効率化を促進する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 シカ防護柵の見回り区域の拡大を推進するとともに、産業用ドローンの導入を図り、苗木や資材運搬への利用を促進する研修会を実施するなど、林業事業者のドローン活用を推進した。</p> <p>■成果 管内林業事業者のドローン利用に対する機運が高められ、産業用ドローンが2つの林業事業者（各1機）に導入された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部	○	
<p>【施策③】 ICT技術を用いて海水温等のデータを集積し、漁獲量との関連性を調べるなど、「リアルタイム水質情報配信システム」の活用を促進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 穴喰地先に観測機器を設置し、ICT技術を用いて海水温等のデータを集積する体制を整備するなど、「リアルタイム水質情報配信システム」の活用に向けた取組を促進した。</p> <p>■成果 ICT技術を用いた効率的な漁業の推進に寄与した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 水産研究課	○	

## 【プラン16】革新技術を活用した地域課題の解決

### 徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 集積するS0企業と連携したICT人材の育成  
 ウ IoT・AI等を活用した、戦略的なインフラのメンテナンス<再掲>  
 イ コワーキングスペースの積極的活用  
 エ 「i-Construction」の取組みによる建設現場の生産性向上

プラン評価	要改善
事務局所見	<p><b>【県土整備部】</b>                      土砂災害による被害から生命・財産を守るため、IoT雨量計を共用し、きめ細やかな雨量情報の提供に寄与した。                      福井川総合流域防災事業や由岐大西線緊急地方道路整備事業等において、ICTを実施した工事を行い、建設現場の生産性向上が図られた。</p> <p><b>【商工労働観光部】</b>                      LED関連企業の応用製品開発や製品の付加価値化を支援するため、とくしまオンリーワンLEDの認証やLEDサポートセンターの運営を行った。また、新たな市場展開を目指す県内LED関連企業の製品情報の発信や国際規格適合の成績証明書を付与するなど販路開拓支援を行った。</p> <p><b>【地域創生防災部】</b>                      コワーキングスペースを軸に、オンラインの活用もしながら、南部圏域内外のサテライトオフィス企業との交流機会を創出することで、進出企業と地域の交流や企業間連携の足がかりとなる顔の見える関係づくり、サテライトオフィス定着のための機運醸成が図られた。</p>

### 主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
コワーキングスペースを活用した地域課題の解決や新しいビジネス創出 <'17> - → <'22> 推進	-	推進				-	○	
LED新製品開発支援件数(県全体・累計) <'17> 145件 → <'22> 290件	145件	200	230	260	290	◎	○	○
LED応用製品の海外市場開拓数(県全体・累計) <'17> 10ヶ国 → <'22> 18ヶ国	10ヶ国	12	14	16	18	△	○	○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 水産研究課美波庁舎に設けたコワーキングスペース「ミナミマリラボ」等において、サテライトオフィス、大学、地元企業、地域住民等多様な主体が連携した地域課題の解決への取り組みやAI、IoTなどSociety5.0の革新技術に対応できる人材の育成等を促進する。 (ア、イ)</p>	<p>■令和4年度取組 南部圏域で活動するサテライトオフィス企業と圏域内の自治体・高校生が地域の課題について意見交換を行い、その課題解決に向けてサテライトオフィス企業の知見や技術を活用した取組案について提案・意見交換等をミナマリラボで行う交流会をリアル・オンラインのハイブリッド形式で開催した。</p> <p>■成果 コロナ禍の影響により、サテライトオフィス企業の県外からの移動が難しくなった一方で、オンラインを活用した交流が図られたため、サテライトオフィス企業や地域間の交流の促進が図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町	○	
<p>【施策②】 IoT・AI等を活用し、費用の平準化・縮減や作業の省人化、効率化を図るため、予防保全等の計画的なインフラのメンテナンスを推進する。〈再掲〉 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 既存インフラについては、長寿命化計画等に基づく計画的な老朽化対策を進めており、令和4年度は桑野川において、UAV測量を実施し、今後の堤防調査に役立てていく。</p> <p>■成果 既存インフラの維持管理に新技术を積極的に活用することにより、診断の効率化・省力化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部	○	
<p>【施策③】 土砂災害による被害から生命・財産を守るため、IoTを活用した雨量計の整備により、きめ細やかな雨量情報を提供し、住民の適切な避難を支援する。〈再掲〉 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 令和2年度に設置したIoT雨量計を供用している。</p> <p>■成果 局地的集中豪雨等の事前準備として、きめ細やかな雨量情報の提供に寄与し、地域住民の安心・安全が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部	○	○
<p>【施策④】 今後の労働力不足に対し、安全で魅力ある建設現場とするため、「i-Construction」の取り組みを推進し、建設現場の生産性向上を図る。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 福井川総合流域防災事業、汐谷総合流域防災事業、由岐大西線緊急地方道路整備事業、那賀川総合流域防災事業等でICTを活用した工事を行った。</p> <p>■成果 ICTの活用により、建設現場における作業の省力化や効率化など生産性の向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部	○	

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑤】 LEDバレイ徳島の世界展開を進めるため、LED関連企業の開発・生産、ブランド化、販路開拓などを支援することにより、次世代LED産業クラスターの形成を推進する。 <b>(ア、イ)</b></p>	<p>■令和4年度取組 県産LED製品の国際市場における競争力の飛躍的向上を図るため、国際規格・ISO17025を満たす「LED測光試験所」である工業技術センターにおいて、県内企業の製品に国際規格適合の成績証明書を付与し、海外展開を後押しした。</p> <p>■成果 可視光LEDなどに加え、次世代LEDを活用した新製品開発やブランド発信、販路開拓などの支援により、LED関連企業による高付加価値な応用製品開発や関連企業の集積につながった。</p>	A	新未来産業課	○	○
<p>【施策⑥】 徳島大学など県内高等教育機関、県内企業、工業技術センターの共同研究の推進等により、LED応用製品の開発支援に取り組む。 <b>(ア、イ)</b></p>	<p>■令和4年度取組 国内大手や海外企業の低価格製品に対抗するためには、より付加価値の高い製品づくりが求められていることから、県独自の認証制度や共同研究の推進により県内LED企業における応用製品の開発支援に取り組んだ。</p> <p>■成果 徳島大学の医工・農工連携によるLED新用途開発研究を核に、高等教育機関の研究シーズと企業の開発ニーズのマッチングを促進し、産学官連携によるLED応用製品の開発に取り組んだ。</p>	A	新未来産業課	○	○
<p>【施策⑦】 県内LED関連企業が開発・生産する高品質なLED応用製品を大規模展示会から発信し、国内外市場における販路開拓を支援する。 <b>(ア、イ)</b></p>	<p>■令和4年度取組 新たな市場展開を目指す県内LED企業の情報発信や販路開拓を支援するため、「JAPANSHOP」「徳島ビジネスチャレンジメッセ」への出展を支援した。</p> <p>■成果 国内外で開催された大規模展示会への出展を支援することにより、新たな市場を開拓することができた。</p>	B	新未来産業課	○	○

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●阿南工業高等専門学校等の学術機関及びLED関連企業との連携を強化する。</p> <p>●県と連携したとくしまイノベーションセンター等の活用促進を図る。</p> <p>●インターネット動画サービス等により、「青色LED発祥の地阿南」「光のまち阿南」を世界に発信することで、新しい利用の方向性を求める。</p> <p>●各種イベントによるLED体験・体感の充実を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 阿南市の象徴である「光」を活用したイベントを市内の各種団体と企画し、官民が一体となって開催した。 光のマンガラドームを設置し、子供たちを中心としたダンスや歌の発表会を「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業で整備したプラットフォームで動画配信し、観光資源である恋人の聖地や地域資源としての「光」を全国に向けてPRした。</p> <p>■成果 イベントの企画や開催を通じて、関係者の間ではシティプロモーションによる地方創生への取組みに対する意識の醸成が図られた。 また、地域の魅力の再発掘やブラッシュアップ、社会の変化に合わせたデジタル化や情報発信力の強化が図られた。</p>	阿南市
<p>●ドローンの活用により、農林業への利活用等地域課題の解決に向けた社会実装を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 ドローンによる苗木・資材運搬研修及び講習を実施。</p> <p>■成果 R3年度実証により労務費の削減等に繋がる結果を得たことからR4年度は2事業体と那賀高校森林クリエイト科を対象として15回の研修及び講習を実施し、ドローン運搬の社会実装に繋がった。</p>	那賀町
<p>●地域課題解決のための事業を、産官学連携によりICTを活用して実証を進める。</p>	<p>■令和4年度取組 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施なし</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●止まらない通信網の平時利活用のため更なる技術導入並びに全町展開に向けスマートシティ構想の構築を図る。</p> <p>●サテライトオフィス，大学等と連携し，防災対策など地域課題解決に向け取り組んでいる事業のさらなる発展と充実を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 国土交通省のワンコイン浸水センサ実証実験として，ニタコンサルタント・光陽無線/太陽誘電と美波町とで実証実験を行った。設置個所は田井地区（文化交流施設内）で，計14機のセンサを設置し水位の上昇を検知する事を目的としデータを集積する。</p> <p>■成果 今年度は出水期にまとまった雨量がなく浸水等の被害はなかったが，一定の水位上昇の確認ができた。 次年度はニタコンサルタント独自センサも追加し，浸水センサの実証実験を引き続き行っていく。</p>	<p>美波町</p>



4 自然とともに歩む地域づくり  
 (1) 美しく豊かな自然環境の保全と継承  
 【プラン17】多様な自然環境の保全

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 貴重な自然資源の保護と次世代への継承	イ 森林の公有林化の推進
ウ 地域特性を活かした多様で健全な森林への誘導	エ 「適正管理計画」に基づく野生生物の適正管理

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【保健福祉環境部】          千年サンゴサポーター数は、順調に増加している。今後も保全活動、啓発等を持続的に実施するとともに、サポーター募集により、活動への理解と支援の輪の拡大を図る。加えて、次世代継承を念頭に、若年者へのPRを軸として、あらゆる機会を捉え、情報発信して行く。          また、狩猟免許新規合格者数(累計)は、9割以上達成しており、令和元年度以降の新規試験合格者の約2/3は、60歳未満の人が占めるなど、比較的若い世代への普及が進んでいると見られる。しかし、現状において、狩猟免許所持者の3/4以上は、60歳以上であることから、南部地域の高齢化・人口減少が進行する中、若年層への啓発活動を一層強化し、受検者数の増加を図って行く必要がある。</p> <p>【農林水産部】          森林整備においては、南部圏域の豊かな自然環境を保全するため、間伐等による整備や、公有林化による森林の適切な保全・管理が進んだ。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
民間協働で取り組む自然資源の保護活動支援者(千年サンゴサポーター)数 <'17> 321人 → <'22> 360人	321人	330人 333人	340人 342人	350人 383人	360人 398人	◎		○
公的管理森林面積(累計) <'17> 3,079ha → <'22> 4,900ha	3,079ha	3,800ha 4,059ha	4,200ha 4,452ha	4,500ha 5,060ha	4,900ha 5,310ha	◎		○
狩猟免許新規合格者数(累計) <'17> 333人 → <'22> 540人	333人	420人 409人	460人 439人	500人 482人	540人 520人	◎		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 県南部の生物多様性の保護と「千年サンゴ」をはじめとする貴重な自然資源を守り、次世代に継承するため地域住民等と連携した保護活動を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 サンゴ保全活動と海中環境調査を各2回に実施し、また、イベントに出展参加して啓発するなど、千年サンゴと生きるまちづくり協議会と連携し、着実に事業を実施し、成果を上げた。 ※千年サンゴ保全活動 2回、海中環境調査 2回 啓発活動（行事）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シュノーケリング体験教室」の開催</li> <li>・「四国ブロック・ユネスコ活動研究会in徳島」に出展</li> <li>・「牟岐町にぎわい産業祭」に参加</li> <li>・「青少年のための科学の祭典2022徳島大会」に参加</li> <li>・千年サンゴについての環境教室（牟岐小学校）の開催</li> </ul> <p>■成果 千年サンゴサポーター 398人</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		○
<p>【施策②】 水源林をはじめとする環境や防災面で重要な森林について、所有者の管理放棄や目的が明らかでない森林買収などに対応するため、公有林化（県版保安林，県・市町有林化等）を進め、適切な保全を図る。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 県有林化等推進事業や企業局の森づくり支援事業等により、森林を取得したほか、徳島森林づくり推進機構による分収林の買収等を行うとともに、県版保安林の指定を行い、森林の公有林化や公的管理を進めた。</p> <p>■成果 県と那賀町による森林の取得169haに加え、徳島森林づくり推進機構による公有林化（森林取得，分収林買収，管理受託）を52ha実施したほか、県版保安林を81ha指定した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○
<p>【施策③】 造林・間伐による人工林の適正な整備や、「樵木林業」による広葉樹林の整備など、健全で豊かな森林の維持造成を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 南部圏域において、造林の実施に加え、下刈や間伐，作業道開設などの適切な森林整備を進めた。</p> <p>■成果 人工林においては、造林・間伐事業の実施や作業道の開設に取り組んだ。また樵木林業においては、林業機械を導入するなど広葉樹林を整備するための基盤整備が進んだ。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 「徳島県ニホンジカ適正管理計画」の達成のため、市町村が実施する有害鳥獣捕獲に加え、指定管理鳥獣捕獲等事業による県が主体となったシカの個体数調整捕獲を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 「徳島県ニホンジカ適正管理計画」の達成に向け、阿南・海部海岸地域を含む県内7地区で指定管理鳥獣捕獲事業を実施した。 ■成果 県内でニホンジカを1,028頭捕獲するなど、ニホンジカの個体数調整捕獲を推進した。</p>	A	鳥獣対策・ふるさと創造課		
<p>【施策⑤】 狩猟への関心を高めるため、各市町の鳥獣被害対策協議会や研修会等において情報提供を行うとともに、働く世代が狩猟免許を取得しやすいよう、日曜日に試験を実施することで、新たな狩猟人材の確保を図る。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 試験日を受験しやすい日曜日に設定し、年5回実施。 従来からの鳥獣被害対策協議会や猟友会に加え、公共施設及び農業機械販売店に協力を依頼し、試験概要等の幅広い周知に努めた。 ■成果 38名の狩猟人材を確保した。 ※受験者数 38名（合格者38名、合格率100%）</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		○

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●生物多様性あなん戦略に基づき、「阿南市生物多様性ホットスポット」選定地の保全・活用の仕組みづくりについて関係者及び関係団体等と共に検討し、課題を共有する。</p>	<p>■令和4年度取組 阿南市生物多様性ホットスポットである伊島のササユリ保護活動について、阿南高専と連携し、伊島ささゆり保全の会の運営に参画。市内高校生ボランティアとともにササユリ生育調査、除草作業を行った。同ホットスポットである出島野鳥園では、中野島小学校5年生を対象とした野鳥観察会を行い自然保護について学習を行った。 ■成果 子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることができた。</p>	阿南市

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●「美波町ウミガメ保護条例」に基づき、「大浜海岸のウミガメ及びその産卵地」の保全を図るとともに、イベント等を通じて自然環境保護の重要性を啓発し、ウミガメと人間が共存出来る豊かな自然環境を守る。</p> <p>●美波町の回帰率向上拠点計画の実現に向けた5ヶ年計画で、日和佐うみがめ博物館の改修を行う。</p> <p>●ウミガメ保護から始まり、豊かな自然環境を次世代に繋ぐためSDGsの取り組みを推進する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月20日から8月20日までの間、夜間の大浜海岸への立入禁止とともに付近の車両通行禁止を行った。4年度はコロナ禍において、イベントの開催は中止した。同期間中にウミガメ上陸を知らせるウミガメメールの配信やパトライトの点灯等ウミガメの上陸を周知することは中止し、監視員の観察だけを行った。</li> <li>・美波町回帰率向上拠点計画は3年目を迎え、展示パネルの原稿作成、体験型展示のソフト開発などを行った。</li> <li>・カレットを拠点として町のSDGsの取組をPRするため、夜の博物館、特別放流体験など新しい取組を行った。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大浜海岸での上陸産卵の実績は、7頭上陸産卵という結果であった。</li> <li>・ウミガメ保護を中心とした内容でSDGs未来都市に選定された。</li> </ul>	美波町
<p>●「海陽町海部川清流保全条例」・「海陽町ふるさとの水を守る条例」の制定により、きれいな水環境の実現を図る。</p> <p>●竹ヶ島海中公園自然再生協議会を通じてエダミドリイシの採卵、稚サンゴ育成と移植及びサンゴ育成モニタリング調査の実施による保全・再生活動を行う。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>海陽町内の河川7地点において、前期・後期2回の水質調査と1回の底質調査を行った。</p> <p>■成果</p> <p>調査の結果、水質について問題はなかった。底質についても過年度と比較しても安定した底質状態で特異点はみられなかった。</p> <p>■令和4年度取組</p> <p>エダミドリイシの採卵と育成及び移植作業の実施と保全活動の情報発信</p> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月エダミドリイシの採卵と育成及び11月に移植作業の実施。</li> <li>・2月穴喰小学校生徒及び珊瑚保全活動関係者の活動について、シンポジウムの開催を実施。</li> </ul>	海陽町

【プラン18】総合的な環境教育・環境学習の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 生活排水対策の推進

ウ 高校生等のボランティア活動への参加促進

イ 海洋漂着物や海洋プラスチックごみ問題の啓発

エ 河川を対象とした環境学習やフィールド講座の実施

プラン評価	順調
事務局所見	<p>「徳島のみずべ」の魅力を発信する環境学習やフィールド講座を実施することにより、児童・生徒の河川環境保全への意識の向上につながった。</p> <p>地域の企業・団体と教育機関の協力により、環境ボランティアの普及と、環境学習事業、パネル展示等による啓発を推進することができ、業績指標についても、目標を上回るなど、一定の成果を収めることができた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
環境啓発イベント等に参加又は県南部の環境問題についてオンライン学習し、具体的な環境行動を宣言する人数(累計) 〈'17〉 - → 〈'22〉 400人	-	100人	200人	300人	400人	◎	○	○
「みなみから届ける環づくり会議」の「環境ボランティア活動証明制度」を活用した環境ボランティア受入れ団体数 〈'17〉 - → 〈'22〉 5団体	-	3団体	3団体	4団体	5団体	◎		○
牟岐少年自然の家を拠点とした自然体験・交流体験等への参加者数 〈'17〉 800人 → 〈'19~'22〉 年間900人	800人	900人	900人	900人	900人	◎		
小中高校に対する森林・林業学習の実施(累計)〈再掲〉 〈'17〉 10件 → 〈'22〉 60件	10件	30件	40件	50件	60件	◎		
		857人	850人	526人	899人			
		30件	40件	50件	60件			
		31件	40件	47件	60件			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】  地域の実情に適応した生活排水の適正処理を推進するため、水質保全に関する啓発を行うとともに浄化槽キャンペーンや浄化槽の維持管理に関する啓発・指導を実施する。  (ア)</p>	<p>■令和4年度取組  徳島県浄化槽月間（10月）において、水質保全及び浄化槽の啓発街頭キャンペーンを実施したほか、新設浄化槽設置管理者を対象に浄化槽教室を開催した。  ※浄化槽水質検査未受検者への受検指導（10月、1月）  浄化槽教室開催 4回</p> <p>■成果  受検指導により、水質検査未受検者のうち約6%（779件）が受検し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		○
<p>【施策②】  みなみから届ける環づくり会議の水質ワーキングが中心となり、家族連れを対象とした水環境保全に関する環境教育を実施する。  (ア)</p>	<p>■令和4年度取組  小学校4～6年生とその保護者を対象に体験教室「夏休み出動！川の調査探検」を開催したほか、「青少年のための科学の祭典2022徳島大会」に出展し、子供たちとその保護者に水環境保全に関する啓発を実施した。</p> <p>■成果  ・「夏休み出動！川の調査探検」参加者 20名（小学生10名、保護者10名）  ・「青少年のための科学の祭典2022徳島大会」出展企画「あなんの水をキレイに!!大作戦」参加者 26名（小学生）と保護者</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		○
<p>【施策③】  若年層を対象に県南の海をフィールドにした体験型イベントや講座、オンライン学習を通じて海洋環境の現状を学び、保全のため自分たちが何ができるか考える機会を創出し、具体的な環境行動を促します。  (イ)</p>	<p>■令和4年度取組  地域のNPO法人が主催した「海ゴミと風呂敷を使ったエコ講座（講座及びビーチクリーン）」及び「わたしたちの生活から考える海ゴミ講座（講座及びビーチクラフト）」を支援し、地元高校と連携して海洋環境保全活動の普及を推進した。  また、次のとおり普及啓発を図った。  ・移動啓発スポットコーナーを設置し、啓発パネルを展示。  ・県ホームページ「学ぼう！環境のためにできること！」による啓発。  ・海洋環境保全の大切さについて理解を深める機会として、「ビーチコーミング&amp;ビーチクラフト体験教室」の開催。</p> <p>■成果  地域の団体と連携して環境講座による普及を推進することにより、海洋環境保全活動への理解と協力の輪の拡大と地域との協力関係の構築を進めることができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部	○	○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験や出張授業による自然学習、交流体験、食育等を推進する。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 牟岐少年自然の家の主催事業・共催事業において「海辺の環境学習」や「わんぱく冒険王」などの自然体験、交流体験活動を11事業実施した。さらに、穴喰小学校や鷺敷小学校等の小学生を対象に、オンライン（5回）も含め全9回の出前授業を実施した。</p> <p>■成果 一部天候の影響を受けて中止となった事業もあったが、宿泊を伴う体験活動を充実させ、前年度より引き続きオンラインを活用した小学生対象の出前授業を実施するなど、様々な手法で地域の自然や文化活動の魅力を発信することができた。</p>	A	教育委員会		
<p>【施策⑤】 みなみから届ける環づくり会議が策定した「環境ボランティア活動証明制度」を活用して、高校生等が地域の環境ボランティアに参加しやすい仕組みづくりを推進する。 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 県南地域の高校生等に環境ボランティア活動の場を提供するため、民間企業等による環境ボランティア受入の拡大に努めた。</p> <p>■成果 受入団体数 12団体 表彰基準を満たした5名を表彰した。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		○
<p>【施策⑥】 豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイティブ科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。 〈再掲〉 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 徳島森林管理署、南部総合県民局及び那賀町との連携・協力のもと、「労働安全特別教育（チェーンソー）や刈り払い機」「小型移動式クレーン運転技能講習等」の資格取得を実施した。また、測量分野における産業用ドローン活用方法についても学んだ。地元中学校との交流学习では、木頭スギを使ったイス作りを実施し、次世代への林業教育の充実を図った。</p> <p>■成果 四年制大学への進学や公務員、地域の林業関連産業への就職など、林業に関する様々な知識や技術を身に付け、地域林業を担う人材育成が図られた。</p>	A	教育委員会		
<p>【施策⑦】 河川環境保全への意識啓発を行うとともに、「徳島のみずべ」の魅力を発信する環境学習やフィールド講座を実施する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 河川環境学習を2校（見野林小、海南小）で実施した。</p> <p>■成果 河川環境保全の意識啓発に役立った。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑧】 若手林業従事者「山武者」や「もりもり」など地域林業関係者との連携を図り、小中高等学校および大学生を対象とした森林・林業体験を実施し、森林・林業への理解を深めるとともに、林業の担い手の確保につなげる。〈再掲〉 (ウ), (エ) (ア, オ)</p>	<p>■令和4年度取組 那賀町林業従事者会「山武者」や森林組合、林業事業者などのサポートを得ながら、フォレストキャンパス那賀等を活用して、那賀高校森林クリエイト科をはじめとした地域の小中高校の生徒を対象とした森林・林業体験を実施し、林業の担い手の確保につなげた。 ※R4実施回数(参加者数)：美波管内6回(373人)、那賀管内7回(122人)</p> <p>■成果 感染防止対策をしっかりと行いながら、林業機械の操作体験や、植栽の体験研修を昨年度より多く実施し、参加者数も昨年度より増え、小中高校生に林業の知見が広められた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		
<p>【施策⑨】 県民が木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動である「木育」を推進するため、木とふれあい、木に学び、木でつながることができる「木育の拠点」を整備する。〈再掲〉 (ウ), (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 南部地域では、海陽町（①ませのおかオートキャンプ内）、阿南市（②那賀川図書館内、③トヨタカローラ徳島 阿南店内）、那賀町（④地域子育て支援センター及び⑤林業ビジネスセンター内、⑥相生森林文化公園あいあいらんど）に「木育の拠点」が整備されており、木材の良さを体験できる場を提供した。（⑦阿南市役所あなんフォーラム内の木育広場については、新型コロナウイルス感染症対策のため閉鎖中。） また、令和5年3月にオープンした「那賀町山のおもちゃ美術館」の整備を支援した。</p> <p>■成果 「那賀町山のおもちゃ美術館」の整備により、南部地域の「木育の拠点」の利用がさらに促進されるとともに、「木育」への気運を高めることができた。 （南部県民局管内に累計8カ所整備）</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○
<p>【施策⑩】 土地改良施設や農地等の保全及び農山漁村地域の活性化の推進に対し、理解と熱意を有する地域のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成とその活動を支援する。 (ウ), (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 農山漁村地域の活性化を図るため、那賀町と美波町の3名の「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動（地域内外住民との農業体験交流の場づくりと景観保全の実施等による地域活性化）を支援した。</p> <p>■成果 「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動の支援により、農山漁村地域の活性化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課		○



市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●食と健康のつながり、食の大切さを学ぶ「葉食同源」を推進するため、食育キャラクター（海陽戦隊ゲンキレンジャー）による子どもへの食育啓発、関係機関とともに小学生を対象とした栽培体験授業や思春期の子どもを持つ保護者を対象とした食育講演会の実施、また、地元の主婦を対象として料理研究家を招き、地元食材を使った料理等の開発や広報誌・HPで旬の農水産物とそのレシピの紹介を行う。</p> <p>●農水産物の直産市の開催や学校給食・保健福祉施設等における地域食材の積極的利用、地産地消協力店・生産者の登録・HPでの紹介を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 2か月に1回、公立保育所、幼稚園で、管理栄養士による子どもたちへの食育活動を行い、保護者に食育だよりを配布。10月には町内4保育所、1幼稚園で、ゲンキレンジャーによる「早寝・早起き・朝ご飯」をテーマに食育啓発劇を実施。</p> <p>■成果 年間を通じて、子どもたちには直接、保護者には食育だよりを通じて、食の大切さを定期的に伝えることを継続していくことで、家族全体の食習慣、食環境の見直しにつながってる。</p> <p>■令和4年度取組 地元農林水産物の学校給食への積極的利用は行うことができた。「とれとれ市」を今年も開催することができた。</p> <p>■成果 地元農林水産物の学校給食への積極的利用については継続して行っている。「とれとれ市」が開催することができ、地域振興に繋げることができた。</p>	<p>海陽町</p>

(2) 豊富な自然資源等の利活用

【プラン19】自然と調和したまちづくりの推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 集落で取り組む総合的な鳥獣害対策の普及  
 ウ 公共工事における環境配慮の実施  
 オ 木製（間伐材）ガードレール等の整備・修繕を推進

イ 「阿波地美栄」の供給体制の強化と消費拡大  
 エ 県管理道路における道路照明灯等のLED化の推進

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【県土整備部】                      河川の護岸においては、多自然型護岸工法で施工するなど、自然環境に配慮した工事を実施した。                      県管理道路においては、道路照明灯のLED化を実施し、省エネルギー対策の実施につなげるとともに、木製ガードレールの整備を実施し、道路景観の向上と県産材・間伐材の利用促進を図った。</p> <p>【農林水産部】                      鳥獣害対策に取り組むための講習会の開催等により、モデル集落の育成に努めた。                      農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための共同活動（農地・農業用施設等の保全）に対し、交付金による支援を行うことで、3,023 haの地域資源の保全が図られた。                      新規に事業を予定している農業農村整備事業1地区の事業計画作成において、「徳島県田園環境配慮マニュアル」に基づく、動植物の生育環境に配慮した事業計画を策定した。                      「阿波地美栄」の供給体制強化のため、阿南市と牟岐町に新たにジビエ処理加工施設を整備し、阿南市、牟岐町においてジビエの取組が始まった。                      また、「うまいよ！ジビエ料理店」での料理提供等を進めるとともに、事業者向けの試食会の開催やイベントへの出展により、ジビエの消費拡大と認知度向上に努めた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組むモデル集落数（累計） 〈'17〉 7集落 → 〈'22〉 28集落	7集落	16集落 17集落	20集落 20集落	24集落 24集落	28集落 28集落	◎		○
「徳島県田園環境配慮マニュアル」に基づく事業計画策定地区数（累計） 〈'17〉 14地区 → 〈'22〉 19地区	14地区	16地区 16地区	17地区 19地区	18地区 20地区	19地区 21地区	◎		○
「阿波地美栄」取扱店舗数（累計） 〈'17〉 - → 〈'22〉 11店舗	-	- -	- -	- -	11店舗 12店舗	◎		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 侵入防止柵の設置などのハード整備とモンキードッグ育成や鳥獣を寄せ付けない環境整備などのソフト対策を組み合わせ、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 集落で鳥獣被害対策に取り組むモデル集落の育成やAI技術を活用した捕獲監視センターを試験的に導入を行った。 また、鳥獣被害対策指導員の研修を行うことで、その確保を図った。</p> <p>■成果 集落で鳥獣対策に取り組むモデル集落を4地区育成した。 また、AI技術を活用したIoT捕獲監視センターを複数地域に設置し、その効果を検証している。さらに地域において被害対策の核となる地域リーダーの育成や指導員の確保を図るための研修会を開催した。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○
<p>【施策②】 捕獲鳥獣を新たな地域資源として活用するため、「阿波地美栄」の供給体制を強化するとともに、「うまいよ！ジビエ料理店」をはじめとした「阿波地美栄」取扱店の拡大を図り、消費拡大と認知度向上を促進する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 「阿波地美栄」の供給体制を強化するため、阿南市と牟岐町にジビエ処理加工施設を令和3年度に整備し、稼働を始めた。 また、消費拡大と認知度向上のため、事業者向けの試食会開催や町の産業祭に出展し、販売を行った。</p> <p>■成果 「阿波地美栄」の供給体制の強化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 鳥獣対策・ ふるさと創造課		
<p>【施策③】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮にあたり、農地・農業用水等の保全のための地域の共同活動により行われる取組みや、中山間地域等における農業生産活動を推進する取組み等を支援する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 多面的機能支払交付金を活用し、3,023haの農地に対する農業の多面的機能の維持・発揮のための地域協働活動を支援した。</p> <p>■成果 農地・農業用水等の保全のための地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動が促進された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課		○

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】            景観や生物多様性など自然環境の保全を図るため、「徳島県田園環境配慮マニュアル」や「徳島県公共事業環境配慮指針」に基づき、環境負荷の少ない計画や工法を採用した公共事業に努める。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>【県土整備部】</p> <p>■令和4年度取組            多自然型護岸工など、自然環境に配慮した公共工事を推進した。</p> <p>■成果            環境負荷の少ない計画や工法を採用した公共事業により、景観や生物多様性など自然環境の保全が図られた。</p> <p>【農林水産部】</p> <p>■令和4年度取組            農業農村整備事業の新規1地区において、自然環境調査に基づいた環境配慮事業計画を策定するとともに、継続中の地区で自然環境に配慮した工事を推進した。</p> <p>■成果            環境負荷の少ない計画や工法を採用した公共事業により、景観や生物多様性など自然環境の保全が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 県土整備部		○
<p>【施策⑤】            省エネルギー対策を推進するため、県管理道路における道路照明灯等のLED化を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和4年度取組            県管理道路において、道路照明灯のLED化を実施。            （阿南管内65基（うちトンネル22基）、那賀管内2基、美波管内37基（全てトンネル））</p> <p>■成果            省エネルギー対策が図られた。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○
<p>【施策⑥】            県管理道路において、道路景観の向上のみならず、県産材（間伐材）の利用促進に効果的で、木材産業の活性化に寄与する木製（間伐材）ガードレール等の整備・修繕を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組            県管理道路において、木製（間伐材）ガードレールの整備を実施。            （那賀管内：12m）</p> <p>■成果            道路景観の向上が図られるとともに、県産材・間伐材の利用促進につながった。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		○

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●阿南市内にある水銀防犯灯のLED型防犯灯への交換を検討する。</p>	<p>■令和4年度取組 夜間における犯罪の防止と市民の通行の安全を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯灯の維持管理及びLED型防犯灯への交換の検討を行った。</p> <p>■成果 約100件の故障した防犯灯の交換を行い、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与した。また、水銀防犯灯のLED型防犯灯への交換について検討した結果、次年度交換を開始する予定となった。</p>	阿南市
<p>●牟岐の自然を守り、次世代継承のため、地元住民、団体などによる連携のもと、自然と共存するまちづくりに向けた環境保全活動、地域の活性化に繋がる活動を推進する。</p>	<p>■令和4年度取組 千年サンゴの保全活動として、サンゴ破損の原因となるオニヒトデの駆除に取り組むなど、自然環境の保全に努める。</p> <p>■成果 保全活動2回 生物環境調査2回 地元小学校への出前講座1回</p>	牟岐町
<p>●田井ノ浜、恵比須浜、沿岸域や沖合ダイビングスポット、日和佐川中・上流域など、改善や拡充の余地を有する空間を再調査し、観光協会や関係住民等と連携しながら集客スポットとして再生又は創出する。</p> <p>●県猟友会が実施する研修会や狩猟免許受験費用の一定額を助成することで、新規狩猟免許取得者を確保し、有害鳥獣駆除従事組織の持続に努める。</p> <p>●ウミガメを含む生物に悪影響のある光害に対して、関係機関が連携し対策を模索する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、田井ノ浜海水浴場の開設及びそれに伴うイベント（SUP体験）は中止した。</li> <li>・徳島県主催の講習会を猟友会員に対し案内した。狩猟免許受験費用の助成について町広報誌に掲載した。</li> <li>・ウミガメ保護条例に基づき産卵期間中の光害対策を行った。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町独自で猟友会員を対象に初心者向けのワナ講習会を実施した。狩猟免許受験費用のうち講習費用2件、受験費用2件の助成を行った。</li> <li>・大浜海岸での上陸産卵の実績は、7頭上陸産卵という結果であった。</li> </ul>	美波町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●海陽町産材活用住宅建築推進事業費補助金の対象を新築住宅だけでなく、増築・店舗・倉庫等にも対象を拡充し、町産材の活用を促進することにより、町産材の流通を活性化し、未管理森林の発生を防止し、健全で豊かな森林の維持・造成を図る。</p> <p>●町内にある防犯灯を、新設又は更新するものから、順次LED型防犯灯へと転換する。</p> <p>●有害鳥獣の計画的な駆除及び集落単位での防護施設の整備等を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 海陽町産材を活用した住宅や倉庫の建築費の補助</p> <p>■成果 増改築1件（町産材使用量29.49m<sup>3</sup>）</p> <p>■令和4年度取組 新設 7基，更新 10基</p> <p>■成果 防犯灯のLED化により，明るさが向上することで安全性が高まり，さらに長寿命化，電気代の削減などの効果があった。</p> <p>■令和4年度の取り組み 有害鳥獣を計画的に駆除する。</p> <p>■成果 有害鳥獣の駆除件数 総数 913頭 イノシシ（成獣）266頭 （幼獣）45頭 合計 311頭 シカ （成獣）547頭 （幼獣）2頭 合計 549頭 サル 53頭</p>	<p>海陽町</p>

【プラン20】自然エネルギー・水素エネルギー活用の推進

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 自然エネルギー「地産地消」プロジェクトの推進  
 ウ 水素ステーションの整備  
 オ 木質バイオマスエネルギーの利用推進

イ 「自立・分散型電源」の導入促進  
 エ 災害時電源確保モデルの展開

プラン評価	順調
事務局所見	<企業局> 川口ダム湖畔を中心としたスマート回廊の魅力発信のため、ICT授業やVRによるダム・発電所の施設見学を実施し、体験者数の目標を達成することができている。

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
「川口エネ・ミュー」におけるバーチャルコンテンツ体験者数<再掲> <'19> - → <'22> 9,000人	-	-	-	8,000人	9,000人	◎	○	○
		-	-	9,438人	10,257人			
燃料電池バスの運行 <'17> - → <'22> 運行	-	推進	推進	推進	運行	◎		○
		推進	推進	運行	運行			
エコカーを活用した電力供給に関する普及啓発の実施数(累計) <'17> 5件 → <'22> 10件	5件	7件	8件	9件	10件	◎		○
		7件	8件	9件	10件			
「木質バイオマスエネルギー」としての未利用資源の活用及び森林の保全 <'17> - → <'22> 推進	-	-	-	-	推進	-		○
		-	-	-	推進			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、温室効果ガス排出削減や分散型エネルギーによる災害対策、地域の活性化等を目的として、「自然エネルギー」の導入を促進する。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」の具現化に向け、産学官金による「徳島県自然エネルギー活用プロジェクトチーム」により方策を検討、実施した。 今後、各種補助金等を活用し、自然エネルギー電力自給率の向上を図る。</p> <p>■成果 「徳島県自然エネルギー活用プロジェクトチーム」において、電力自給率の向上に向けて協議し、方向性を確認した結果、「自然エネルギー」導入促進を効果的に実施することができた。</p>	A	グリーン社会推進課		○
<p>【施策②】 「スマート回廊」の魅力発信のため、「川口エネ・ミュージー」とその周辺施設が連携し、ニューノーマルに対応したオンラインによるICT授業や、VRによるダム・発電所の施設見学、YouTube「川口エネ・ミュージーチャンネル」による動画配信等に取り組む。〈再掲〉</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 自然エネルギーに関するICT授業やVRによるダム・発電所の施設見学を実施した結果、426名の利用者があった。また、「川口エネ・ミュージーチャンネル」での動画配信を随時行うとともに、出前授業（アウトリーチ）や「自然エネルギー探検隊」、「秋の間伐体験」等のイベントを実施した。</p> <p>■成果 コロナ禍においても、こうした取組を実施することにより、川口エネ・ミュージーを核とした科学技術による人材育成や、川口ダム湖畔を中心としたスマート回廊の魅力発信を行うことができた。</p>	A	企業局	○	○
<p>【施策③】 地域防災力の向上を目指し、災害時の切り札となる自然エネルギーを活用した「自立分散型電源」の導入を促進する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 四国電力や金融機関と連携したワンストップの相談窓口を設け、県の補助金・貸付金制度に加え、国補助金の活用により、個人や事業者及び避難施設への「自立・分散型電源」の導入を支援した。</p> <p>■成果 ワンストップ相談により、「自立・分散型電源」の導入を考えている個人や事業者を支援することができた。</p>	A	グリーン社会推進課		○



主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策④】 地球温暖化対策の切り札となる究極のクリーンエネルギー「水素」の利活用拡大のため、「水素ステーション」の整備を促進するとともに、「燃料電池バス」をはじめ水素モビリティの積極導入を促進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 全国初となる「製造・供給一体型」水素ステーションが正式開所するとともに、中四国初となる燃料電池バスが鳴門線で路線運行されている。 また、DMV1周年記念イベント（海陽町）において、燃料電池バスの試乗会を実施し、乗車体験による普及啓発を行った。</p> <p>■成果 県内における水素エネルギーの積極運用が図られ、水素社会実現に向けた取組が進展した。</p>	A	グリーン社会推進課		○
<p>【施策⑤】 電気自動車など次世代エコカー（EV、FCV、PHV等）の優れた蓄電・発電機能を災害時の非常用電源として有効活用するため、県及び市町村の公用車を次世代エコカーに更新するとともに、それを用いて防災拠点や避難所等へ電力を供給する取組（V2Hの設置等）を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(エ)</p>	<p>■令和4年度取組 「走る発電所」として災害時の非常用電源として期待されている燃料電池自動車（FCV）を活用し、「防災まつり2022（那賀町）」をはじめ、県内各地で外部給電のデモンストレーションを実施することにより普及啓発に努めた。</p> <p>■成果 普及啓発により、優れた環境性能だけでなく、災害時の非常用電源としても有効な次世代エコカーへの理解が深まった。</p>	A	グリーン社会推進課		○
<p>【施策⑥】 南部地域の林業・木材産業で発生する林地残材・木くずなどの未利用資源を「木質バイオマス」として活用する取り組みについて支援します。</p> <p style="text-align: right;">(オ)</p>	<p>■令和4年度取組 今後、需要が増加する木質バイオマス燃料を安定的に供給する施設の整備を支援するとともに、木質チップの原料となる県産材が安定的に供給されるよう、素材生産業者への協力を図り、素材生産量の増産を進めた。</p> <p>■成果 那賀町が事業着手した「木質チップ製造工場」が完成、南部地域で発生する未利用資源を「木質バイオマス」として活用する体制が整備された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部		○

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●地域の活性化とコミュニティの再生を図るため「地域自立型クリーンエネルギー発電事業」の可能性を調査する。</p> <p>●三重大学船岡教授が発明した相分離変換システムのパイロットプラントを整備しリグノフェノール及びナノセルロース・リグノフェノール複合体の製造実験を行う。 石油製品に替わる応用製品などを開発するため、リグノフェノール及びナノセルロース・リグノフェノール複合体のサンプル品を製造する。</p>	<p>■令和4年度取組 県立広島大学との共同研究により、ラボレベルにてkgオーダーでリグノフェノール製造するプロセスを検討した。 リグノフェノールのサンプル品を1kg製造することを目標として取り組んだ。</p> <p>■成果 リグノフェノールをラボレベルにてkgオーダーで製造するプロセスを確立した。 品質が高いリグノフェノールのサンプル品を約1kg製造した。製造したサンプルの一部で物性や組成を解析し、良好な結果が得られた。</p>	那賀町
<p>●災害対応も見据えバイオマスや太陽光など自然エネルギー活用の模索、併せて官民連携による事業実施の検討を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 自然エネルギーの活用に向け官民連携で取り組む手法、可能性調査を実施。</p> <p>■成果 調査結果を踏まえ、今後の可能性について役場関係課で情報共有を図った。</p>	美波町
<p>●住民への住宅用太陽光発電システム設置費用の助成制度などにより、「地域自立型クリーンエネルギー」の導入を促進する。</p>	<p>■令和4年度取組 海陽町住宅用太陽光発電システム設置費補助金の広報（HP及び広報誌へ記載）及び受付を行い、クリーンエネルギーの普及促進を行った。 （R4年度当初予算160,000円×6件分）</p> <p>■成果 補助実績として申請件数3件で実績額480,000円（160,000円×3件分）となった。</p>	海陽町

## 5 にぎわいと笑顔あふれる地域づくり

### (1) 訪れたい、住みたい魅力的な地域の創造

#### 【プラン21】「四国の右下ファン」の創出・拡大

##### 徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 大学生等と地域の協働による地域課題の解決	イ 多様化する移住・定住希望者のニーズに対応した切れ目ないサポート
ウ サテライトオフィス誘致・定着の加速	

プラン評価	要改善
事務局所見	<p>【地域創生防災部】</p> <p>オンラインの活用等により、新たな繋がり方や交流のあり方を検討する契機となり、高等教育機関の学生によるフィールドワークや移住・サテライトオフィスの誘致活動の取組における参加者の拡がりが見られたり、継続的に交流しやすくなる等の効果が見受けられた。</p> <p>また、サテライトオフィスの開設や移住に関心のある企業等に向けて、さまざまな媒体を通じた情報発信や相談対応に従事する関係者へのアドバイスなど、南部圏域一体での対応を可能とすることで、県南に関わった方々が地域を知り、交流を重ねながら地域に根付くための支援の拡充が図られた。</p>

#### 主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'22 (R4)達成度	DX	GX
県外からの移住者数 〈'17〉 380人 → 〈'22〉 500人	380人	350人	400人	450人	500人	△		
		469人	325人	384人	376人			
県外からの移住者数(45歳未満) 〈'17〉 282人 → 〈'22〉 350人	282人	250人	280人	320人	350人	△		
		349人	238人	266人	266人			
サテライトオフィスの誘致(累計) 〈'17〉 24社 → 〈'22〉 34社	24社	28社	30社	32社	34社	◎	○	
		28社	30社	31社	40社			
南部圏域でのフィールドワーク参加学生数(延べ参加人数) 〈'17〉 535人 → 〈'22〉 500人	535人	500人	500人	500人	500人	◎		
		1,146人	516人	1,715人	2,420人			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】 大学生と地域の交流による「四国の右下ファン」の創出や大学生目線による地域課題の解決を目的に、南部圏域において県内外の大学生によるフィールドワークを実施する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 県内外（各4大学）の学生が、地域資源の発掘や若者ならではの発想・視点を活かして県南の地域活性化に取り組むフィールドワークを実施した。 現地でのフィールドワークに加えて、オンラインを活用した地域との交流、県外のフェアへの出展や、南部圏域の特産品と県外店舗のコラボメニュー販売を行うなど、遠隔地と南部圏域の繋がりを創出する活動を実施した。</p> <p>■成果 参加学生が地域と交流を深める体験を通じて、地域への愛着・地域と関わり続ける「四国の右下」ファンの創出に繋がった。 コロナ禍においても、オンラインを活用した地元住民との交流や県外イベントとの連携を実施することにより、遠隔地においても南部圏域との繋がりを深めるとともに、取組の様子をHPやSNS等で発信することで、新たな大学との繋がりの創出も図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町		
<p>【施策②】 移住希望者を対象として、圏域内での担い手確保や新規創業を促し、働く場や地域おこし協力隊等の働き方を発信するとともに、商工関連団体との連携を強化することにより創業等をトータル支援する体制を構築、また、圏域内の生徒・学生を対象としたキャリア教育により、人材還流と地域活性化を推進する。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 東京・大阪で開催された大規模な移住フェアの機会を捉えて「四国の右下」グッズを配布する等のPRにより、南部圏域の情報発信を行った。また、県内の若者が南部圏域の地域資源に実際に触れながら、先輩移住者や地域の担い手と交流する体験ツアーなどを通じて若者が地域の維持・活性化のための自らの役割を意識する機運の醸成が図られた。</p> <p>■成果 少子高齢化による地域の担い手不足やコロナ禍を契機とした場所にとられない働き方など、時代の潮流を踏まえた人々の意識の変化を意識した移住施策のあり方を検討する機会となった。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		
<p>【施策③】 SNSや移住者フェア等を活用し、市町の移住相談で多い相談内容である空き家や仕事に関する情報などを全国へ発信し、県南部への移住に向けた関心の醸成を行う。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 HP（「四国の右下」移住ナビ）やFacebook（「四国の右下」暮らし）において、仕事や空き家など移住の検討に役立つ情報提供を行った。 （HP：47件、Facebook：251件の記事を掲載）</p> <p>■成果 対面でのPRや交流に加えたオンラインでの実施も図ることにより、県南部の魅力をはじめ、暮らし・しごと・住まいなど、移住にまつわる各種情報の効果的な発信に繋げることができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部	○	

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策④】 市町や移住者受入れに積極的な住民団体を対象とした移住の受入れに関する研修会を開催し、移住促進のためのスキルアップや圏域内のネットワーク化を推進する。</p> <p>(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 市町の担当者や移住支援員に対し、希望に応じたテーマや講師を招いた研修会（5回）を実施した。</p> <p>■成果 定期的な研修会の開催により、人事異動等に伴う相談対応スキルの格差解消と移住担当者同士のコミュニケーションの円滑化が図られた。の入れ替わりで年度によって相談対応に差が出ないようにスキルアップを行った。また、各市町の移住担当者及び移住支援員との連携強化を図ることができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町		
<p>【施策⑤】 全国屈指の光ブロードバンド環境や地域資源を活かし、さらなる企業の誘致や新たな雇用の創出を図るため、「『四国の右下』若者創生協議会」に、ワンストップで視察相談・案内に対応する総合相談窓口（コンシェルジュ）を設置するとともに、オフィス開設に関心のある企業に対する認定制度の活用や、圏域アクティビティを組み合わせた視察ツアーの実施を行う。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 総合相談窓口であるコンシェルジュを配置し、サテライトオフィス企業や進出検討中の企業への相談対応と受入支援を行い、41団体/109名の視察受入れ、7社の新規開設に繋がった。 南部圏域独自のサテライトオフィス認定制度を活用し、進出初期の活動に伴う費用等のソフト支援を行い、企業の進出や定着を後押しした。</p> <p>■成果 コンシェルジュによる「視察～進出」までの切れ目無いサポートや、進出後の企業が南部圏域で活動する際の経費を支援することにより、南部圏域全体で40社のサテライトオフィス進出・活動に繋がった。（令和4年度末現在）</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 とくしまぐらし 応援課 各市町	○	
<p>【施策⑥】 美波町を舞台にサテライトオフィス誘致の創成期を描く映画「波乗りオフィスへようこそ」のショートムービーやワーケーション動画等を活用し、首都圏で県南の豊かな自然と新しい働き方をPRするとともに徳島の新たなビジネスモデルを発信し、主要都市に本社を置く企業における南部圏域へのサテライトオフィス進出の機運醸成や既存のサテライトオフィスの定着を推進する。</p> <p>(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 東京・大阪で開催されたサテライトオフィスマッチングイベントや企業誘致フォーラムにおいて、「新しい働き方」（ワーケーション等）を提案する動画や県南地域のコワーキングスペース紹介動画を放映し、南部圏域で働く魅力を発信した。</p> <p>■成果 首都圏で開催されるイベントにおける動画を用いたPRにより、都市部の企業関係者へ、ダイレクトに南部圏域での働き方のイメージを伝えることができ、南部圏域への興味や関心・視察の動機付け等が図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部 とくしまぐらし 応援課 各市町	○	

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策⑦】 ワーク・ライフ・バランスの向上や勤務形態の多様化に適切に対応するため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、出張相談などのアウトリーチ型支援やICT支援窓口のオンライン展開など、「テレワークセンター徳島」を拠点とした企業のテレワーク導入支援を積極的に実施するとともに、テレワーカーの養成や企業とのマッチングなど、人材の確保・育成支援を行うことで、テレワークの普及を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 「テレワークセンター徳島」では、テレワークツールの体験ができる「とくしまスマートライフショーケース」を備え、個人・企業からの相談に対応するとともに、ホームページやSNSを通じて情報提供を行った。また、雇用型テレワークの普及を図るため、アドバイザーによる出張相談・出前講座等を実施したほか、徳島労働局等の関係機関や障がい者雇用促進事業等の関係事業と連携した普及啓発を行った。さらに、テレワーカー等を養成するための講座等を実施するとともに、企業とのマッチング支援を行った。</p> <p>■成果 「テレワークセンター徳島」を拠点とした4年間の取組により、県内へのテレワークの普及が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「テレワークセンター徳島」の支援によるテレワーク導入企業数 71社（R1～R4合計）</li> <li>・養成した「テレワーカー」 49名、「コーディネーター」 20名（R1～R4合計）</li> </ul>	A	労働雇用戦略課	○	

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●移住交流支援センターの設置による、U・I・Jターン者等の受入れの整備。</p> <p>●利活用可能な空き家物件情報の把握に努める。また、定住自立圏共生ビジョンの取組内容に基づき、圏域町と連携して空き家情報の連携体制を検討した上で情報の共有に努める。</p> <p>●かもだ岬温泉保養施設内「かもだカフェ」の支援、富岡商店街での「阿南まちゼミ」への支援など、地域住民の活躍と交流により、地域の魅力を発信する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常における移住相談のほか、東京5回、大阪2回の移住フェアや移住相談会に参加し、移住促進コーディネーターが中心となって移住者に対して個々のニーズに応じた情報提供を行った。</li> <li>・U・I・Jターンを促進するための補助金の交付。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大により、施設休館などの影響もあったが、かもだカフェの運営や、阿南まちゼミ開催に向けての支援を行った。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度においては、128件の移住相談があり23件の現地案内を実施した。また、3件の空き家調査（インスペクション）を実施。空き家登録をしている利活用可能な空き家のマッチングを5件行い、移住や定住定着に繋げた。</li> <li>・1件の申請があり、満額の500,000円を交付決定。</li> <li>・まちゼミの開催支援を行い、富岡商店街を含む45店舗が参加、404人の参加者があり、地域の魅力を発信できた。</li> </ul>	阿南市

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●那賀町における移住交流人口増加を図るため、移住交流推進地としてブランド化させる、プロモーション活動を実施する。また、移住・定住支援員による新規移住交流推進事業を計画・実施する。</p> <p>●移住者の増加を図るため、那賀町での田舎暮らしの魅力を情報発信するとともに、U I Jターンの移住希望者に対し、移住に係る障害の低減と増加する空家の有効活用を進めるべく、売買及び貸借費用の低減補助を行う。また各地域組織団体等での空家の紹介、移住者生活支援等の具体的な方法を検討する。</p> <p>●那賀町への移住希望者に対し、那賀町での田舎暮らしを体験することの出来る、「おためしハウス」を整備する。既存の空家を借り上げ、改修し、生活体験をしてもらうことにより、具体的な魅力を実感してもらいU I Jターン希望者の増加を促進する。</p>	<p>■令和4年度取組 移住促進を図るための移住支援情報システム構築し移住支援情報システム検討協議会において検証を行った。また、JOIN主催の移住・地域おこしフェアにオンライン出展し、移住相談・しごとの紹介を行なうとともに、おためし住宅として活用するため、上那賀地区の物件を購入し改修工事を実施した。</p> <p>■成果 移住相談件数は前年度比で約23%増加、賃貸・売買成立件数も前年度比で約124%の増加。</p>	那賀町
<p>●空き家バンクの内容（件数、種類）の充実と情報発信に努める。</p> <p>●住宅改修に係る助成制度を創設し、移住促進を図る。</p> <p>●牟岐町に特化したソーシャル情報プラットフォーム（牟岐町アプリ）により、ユーザー登録すると自動的にふるさと会員となり、牟岐町の様々な情報を受け取れるシステムを構築したため、関西・関東を中心に牟岐町ゆかりの方への加入を進め、牟岐町に興味を持っていただいた方等にも魅力情報発信を行い関係人口の増加につなげる。</p>	<p>■令和4年度取組 HPと移住定住ウェブサイト「MUG I Z I N E」で空き家バンク情報を掲載し情報発信を行った。牟岐町ゆかりの方への加入を勧め、牟岐人アプリに牟岐町の情報を掲載し情報発信を行った。オフィシャルとしては19件の情報を掲載。</p> <p>■成果 空き家バンクの活用 0件 住宅改修 0件 アプリ新規登録者数56人（3月末現在） 移住定住ウェブサイト「MUG I Z I N E」新規アクセス者2,504人</p>	牟岐町
<p>●過疎が進む現実を受け入れながらも、内外から人が集い、開業や起業が相次ぐにぎやかな町「にぎやかそ ～にぎやかな過疎美波町～」の実現を推進する。</p> <p>●移住交流センターによる移住希望者のニーズにあった空き家情報の提供やお試し滞在施設の活用など移住交流コーディネーター及び地域づくり団体と連携し、移住の推進を図る。</p>	<p>■令和4年度取組 ・株式会社あわえが主催するマッチングイベントに参加するなど、コロナ過ではあるが、誘致に対する取り組みを積極的に行ってきた。</p> <p>・移住希望者のニーズにあった空き家の紹介を行った。</p> <p>■成果 ・令和4年度のサテライトオフィス誘致数は4社。 美波町では現在29社のサテライトオフィス登録があり、引き続き誘致に向け取り組んでいきたい。</p> <p>・令和4年度移住者数38人に対し、空き家紹介では3件のマッチングに成功した。</p>	美波町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●空き家を地域資源として捉え、空き家バンクの機能が最大限に発揮できるよう、積極的な情報収集及び情報発信に努めるとともに、各種助成制度により必要な支援を行いながら、移住の促進及びサテライトオフィスの誘致を図る。</p> <p>●移住体験施設を有効に活用し、まちの暮らしの体験を通して、移住を促進する。</p>	<p>■令和4年度取組（空き家バンク） 町ホームページへの掲載や窓口で空き家バンク登録物件の情報を発信し、令和4年度は新たに12件を登録した。</p> <p>■成果（空き家バンク） 合計17件（賃貸8件、売買9件）の契約が成立し、移住・定住につながった。また、空き家改修支援補助金制度を利用した空き家の改修を7件実施し、空き家の有効活用につながった。</p> <p>■令和4年度取組（移住促進とサテライト） 令和4年度のサテライトオフィス誘致に関しては2回（東京と大阪）参加して城山荘と町をPRした。移住推進に関しては、移住フェアや徳島県主催の移住相談会（合計12回）に参加した。</p> <p>■成果（移住促進とサテライト） サテライトオフィスの誘致にはつながらなかった。移住相談については、相談者から海陽町へ移住をする家族をつくることのできた。引き続き移住促進を継続させていく。</p> <p>■令和4年度取組（移住体験施設） 移住フェアや相談会、町のHPで体験施設を紹介して、入居者の募集を行った。</p> <p>■成果（移住体験施設） 令和4年度は移住体験施設退去者すべてが海陽町へ移住を決めた（5組10名 子供2名含）。引き続き移住定住へ向けて事業を進めていく。</p>	<p>海陽町</p>



【プラン22】「地域の宝」を育む結婚・妊娠・出産・子育て支援

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取組み

ア 「道の駅」における子育て応援	イ 出逢い・交流の場づくり，結婚支援
ウ 安全・安心な妊娠・出産への支援	エ 子育て世代の経済的・心理的負担軽減のための支援の充実

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【次世代育成・青少年課】 令和5年4月開設の阿南市の「認定こども園」の開設を支援するとともに，保護者のニーズに応じた「病児・病後児保育事業」を補助することにより，安心して子育てができる環境整備に資することができた。</p> <p>【保健福祉環境部】 高校文化祭や出前講座の機会を捉え，心と体の健康づくりに関する普及啓発・情報提供を行い，若い世代からのライフプラン教育を推進するとともに，不妊症・不育症に関する相談・支援体制の充実を図った。</p> <p>【県土整備部】 管内「道の駅」において，新たな妊婦向け屋根付き優先駐車場スペース整備・供用しており，観光客が安心して訪問できる施設づくりを推進した。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'22 (R4)達成度	DX	GX
「道の駅」における子育て応援箇所数（累計） '17 ー → '22 2箇所	—	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	◎		
小中高校生を対象としたライフプラン教育の実施回数（累計） '17 79回 → '22 173回	79回	113回	133回	153回	173回	◎		
認定こども園設置数（累計） '17 13箇所 → '22 17箇所	13箇所	15箇所	16箇所	17箇所	17箇所	◎		
放課後児童クラブの設置数（累計） '17 18クラブ → '22 30クラブ	18クラブ	30クラブ	30クラブ	30クラブ	30クラブ	◎		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】 少子高齢化対策の一環として，既存の「道の駅」に子育て世代を応援する施設の整備を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ア)</p>	<p>■令和4年度取組 妊婦向け屋根付き優先駐車場スペースについて令和3年度で計2箇所の整備が完了し，現在供用中である。</p> <p>■成果 子育て世代を応援する施設整備を着実に推進した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策②】 「とくしまマリッジサポートセンター（略称：マリッサとくしま）」を拠点とし、地域の特色を活かした魅力ある婚活イベントを開催するなど、市町等と連携し独身者に出逢いの機会を提供し、結婚を支援する。</p> <p style="text-align: right;">(イ)</p>	<p>■令和4年度取組 マリッサとくしまの出張登録会を阿南市で月1回開催し、会員の増加に努めるとともに、企業と連携した婚活イベントを6回（阿南市内）開催し、出逢いの機会を提供した。 また、オンラインマッチングの対応ができるように環境整備を行った。</p> <p>■成果 結婚を希望する独身者の支援が図られた。</p>	A	次世代育成・青少年課	○	
<p>【施策③】 不妊症・不育症に関する相談・支援体制の充実を図る。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 R4年度より体外受精・顕微授精に要する不妊治療費の医療保険適用が開始されたが、年度をまたぐ治療に関して、一部助成対象とされた。制度移行に伴い、治療を受ける方が混乱しないよう、面接や電話にて相談・支援を実施した。 R4年度助成件数 24件</p> <p>■成果 申請者の経済的負担及び制度移行に伴う不安の軽減を図った。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策④】 小中高校生を対象に安全安心な妊娠・出産につながる心と体の健康づくりに関する基本的な正しい知識の普及啓発、情報提供等を行い、若い世代からのライフプラン教育を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 たばこやアルコールに関する出前講座、高校文化祭での普及啓発活動にて、心と体の健康づくりについて健康教育を行うなど、若い世代からのライフプラン教育の推進に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会の開催は見送った。 R4年度 25回</p> <p>■成果 次世代を担う若い世代が自分や相手の心と体の健康に関心を持つ機会とすることができた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑤】 県南部における安全・安心な妊娠・出産を支える適切な医療提供体制の構築に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 「徳島大学寄附講座設置事業」において、引き続き、「地域産婦人科診療部」を開設し、海部病院における産科・婦人科に係る医療提供体制の確保を図った。 また、小児救急医療機関等に向けて運営費や手当に対する支援を行うとともに、子どもの急な発熱やけがの電話相談窓口「#8000」を運営した。</p> <p>■成果 県南部における妊婦健診、分娩や小児救急等をはじめとする医療提供体制が確保され、地域住民の安全・安心につながった。</p>	A	医療政策課 病院局		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策⑥】 乳幼児等の疾病の早期発見と早期治療を促進するとともに、安心して子どもを産み育てられるよう、市町が実施する子どもはぐくみ医療費助成事業に対して助成する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 管内1市4町に助成を行い、子どもの健全な発育の促進と、安心して子どもを産み育てられる環境の整備に努めた。</p> <p>■成果 子育てにおいて安心して医療にかかることができ、子どもの健全な発育の促進が図られた。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑦】 人生経験の豊富な高齢者が子育て支援に参加することで、子どもやその親と世代間の交流が促進され、地域の子育て力の強化が図られることから、圏域内の子育て活動を実施しているシニア団体を支援する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 子育て支援活動を行うシニア団体を表彰した。</p> <p>■成果 子育て支援活動への協力意欲を高め、地域の子育て力の強化につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課		
<p>【施策⑧】 すべての子どもに適切な保育を保障し、質の高い幼児教育を提供できる認定こども園の設置を促進する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 阿南市のエクセレント羽ノ浦こども園の開設（R5年4月）に係る支援を行った。</p> <p>■成果 質の高い幼児教育を提供できる環境整備につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課		
<p>【施策⑨】 昼間に保護者が家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を確保する放課後児童クラブの拡充を図るとともに、放課後児童クラブ利用料無料化制度を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し、運営費の補助を行うとともに、人材の確保及び資質向上のための研修を実施した（放課後児童支援員認定資格研修を阿南市で実施）。</p> <p>■成果 児童が放課後を安全・安心に過ごすことができる環境の確保につながった。また、共働き世帯への子育て支援の充実が図られた。</p>	A	次世代育成・青少年課		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策⑩】 短期のパートタイム就労など、子育て家庭の様々なニーズに合わせ、より一層利用しやすくなるよう、一時預かりサービスの拡充を図る。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 保護者の勤務形態の多様化に伴うニーズに応じた一時預かりサービスを提供する市町に対し、補助を行った。</p> <p>■成果 安心して子育てができる環境整備につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課		
<p>【施策⑪】 経済的負担軽減するため、保育所・幼稚園等保育料無料化制度を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 保育所等における第3子以降の保育料無料化の支援が、1市4町で実施された。</p> <p>■成果 多子世代における経済的負担の軽減につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課		
<p>【施策⑫】 子育て環境の多様なニーズに対応するため、病児・病後児預かりの受け入れ体制の強化を促進する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 子どもの病気や体調不良に伴う保護者のニーズに応じた病児・病後児預かりを提供する市町に対し、補助を行った。</p> <p>■成果 医療・福祉・こども園・学校・地域等各関係機関と連携し、病児・病後児預かりの受け入れ体制の促進が図られた。</p>	A	次世代育成・青少年課		
<p>【施策⑬】 保育所を利用せず、在宅で育児をしている家庭の負担を軽減するため、様々な子育て支援サービスを利用できるクーポンを交付する事業に取り組む市町村に対して助成する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 在宅で0歳から2歳までの乳幼児を育児する家庭の負担を軽減するため、子育て支援サービスの利用料に使用できるクーポンを交付する市町村に対し、補助を行った。</p> <p>■成果 在宅育児家庭の負担軽減につながった。</p>	A	次世代育成・青少年課		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●子育て支援施策や家庭づくり等の情報提供・発信を行う。</p>	<p>■令和4年度取組 町HPや広報紙による告知に加え、課の公式Twitterを開設し、子育て支援情報の配信を行った他、メディアへのプレスリリースを積極的に行った。</p> <p>■成果 虹の丘公園のリニューアルやフードパントリー等の新規事業が、地方紙に取り上げられた。新しい配信ツールにより、より広く情報発信ができるようになった。</p>	那賀町
<p>●特別支援連携協議会を中心に関係機関と連携し、幼少時から就労に至るまでの支援体制の強化を継続する。</p> <p>●子育て支援事業としてファミリーサポートセンター事業を推進するとともに、事業の中で子どもたちと地域住民との交流の場を設ける。</p>	<p>■令和4年度取組 特別支援連携協議会を中心として個々のケース会議の実地等、専門機関と連携し支援に繋げるとともに、本町にない高校までの見守り支援体制も構築している。</p> <p>■成果 家庭でのフォローの仕方等アドバイスをもらうことで安心してもらった。</p>	牟岐町
<p>●子育て世代包括支援センターを中心とした、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する。</p>	<p>■令和4年度取組 ・子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠前から子育て期に渡る継続的な支援を提供した。妊娠届時及び出産後の訪問時にサポート計画を立て、各種事業につなげるようにした。 ・新たに、美波町子ども家庭総合支援拠点を開設するために子ども家庭支援員を養成した。</p> <p>■成果 ・産前から、助産師による電話訪問や産前サポートの訪問、相談において支援し、引き続き、産後の身体的回復や心理的安定につなげることができた。また、出産後の早い時期に訪問して児の授乳や抱っこの仕方などを確認することで、安心して育児に取り込むことができています。 ・新たに、0～18歳までのすべての子どもとその家庭、妊産婦等を対象として様々な相談に受けつけ実情に応じた支援を実施する「美波町子ども家庭総合支援拠点」を開設した。</p>	美波町
<p>●子育て世帯が交流や相談できる機会を充実させ、子育て世帯が相互間また、子育て支援機関とのつながりを深めることにより、子育てしやすいまちづくりに取り組む。</p>	<p>■令和4年度取組 海部庁舎3階に開所している子育て支援センター「あのね」では、乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場所として、子育てについての相談、情報の提供、助言を行い、親子で楽しめるイベントも企画・実施しました。</p> <p>■成果 令和4年度の実績は、延べ1,299人の利用</p>	海陽町

(2) だれもがいいきと暮らし、かがやく地域の創造

【プラン23】「地域の絆」によるまちづくりの推進

徳島県南部圏域振興計画第5章

ア 地域コミュニティの活性化	イ 精神障がい者ピアサポーターの養成・活動支援
ウ 障がい者の自立支援の推進	エ 生活困窮者の自立支援
オ 地域の共同活動促進による農地や農業用水等の保全	カ 企業・大学・NPO法人等との協働による農山漁村集落の活性化
キ 住民団体や企業等と連携した公共施設の新たな維持管理の推進	ク 農福連携の推進

プラン評価	要注視
事務局所見	<p>【保健福祉環境部】 精神障がい者ピアサポーターの養成・支援については、障がい者の回復にピアが与える影響や効果、またその必要性を管内精神科医療機関との間で共有できたことで、ピアサポーターと専門職が協働する支援に向けた仕組みづくりの一歩となった。</p> <p>【県土整備部】 県管理河川・道路において、官民協働で14.64haの草刈りを実施し、公共施設の「新たな維持管理システム」づくりを推進した。</p> <p>【農林水産部】 農地等において、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための共同活動（農地・農業用施設等の保全）に対し、交付金による支援を行うことで、3,023haの地域資源の保全が図られた。 また、農業者、福祉事業者双方の不安感の払拭、ノウハウ蓄積のため、「お試しノウフク」をはじめセミナー、イベント等による情報発信を行い意識啓発・PRすることで、6事業者における継続的な農福連携の取組に繋がった。</p> <p>【地域創生防災部】 圏域内の所管NPO法人に対する制度概要等の情報提供、各種手続きに係る助言等を適時適切に行い、過疎・高齢化が進む圏域における地域の活力の維持向上、官民協働・連携が図られた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19(R1)	'20(R2)	'21(R3)	'22(R4)	'22(R4)達成度	DX	GX
精神障がい者ピアサポーターによる交流会等の実施回数 (累計) <'17> - → <'22> 9回	-	1回	3回	6回	9回	△		
		1回	1回	2回	5回			
農地や農業用水などを保全するため共同活動に取り組む 地区面積 <'17> 3,075ha → <'22> 3,000ha	3,075ha	3,000ha	3,000ha	3,000ha	3,000ha	◎		○
		3,022ha	2,997ha	3,037ha	3,023ha			
「農福連携」に取り組む事業者数(累計) <'17> - → <'22> 6事業者	-	-	-	-	6事業者	◎		○
		-	-	-	6事業者			

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策①】 NPO法人等の充実した活動の展開及び地域住民の社会貢献活動への参加・参画の促進を図り、NPO法人等市民活動団体の活性化と官民協働・連携の推進を図る。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 未来創生政策課、とくしま県民活動プラザと連携し、県民局管内のNPO法人の事務手続きに関する相談対応を実施した。</p> <p>■成果 適正な手続きに繋がる相談や助言等を行うことで、適切な事務処理の遂行が図られ、管内NPO法人の社会貢献活動の円滑化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		
<p>【施策②】 人生経験の豊富な高齢者が子育て支援に参加することで、子どもやその親と世代間の交流が促進され、地域の子育て力の強化が図られることから、圏域内の子育て活動を実施しているシニア団体を支援する。 (ア) &lt;再掲&gt;</p>	<p>■令和4年度取組 子育て支援活動を行うシニア団体を表彰した。</p> <p>■成果 子育て支援活動への協力意欲を高め、地域の子育て力の強化につながった。</p>	A	次世代育成・ 青少年課		
<p>【施策③】 県健康福祉祭において地域における高齢者が参加しやすい環境を整備するとともに、高齢者の生きがいと健康づくりをさらに推進し、より多くの「元気高齢者づくり」を目指すため、「県南部、県西部サテライト大会」を開催する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 高齢者の健康づくりと世代間・地域間の交流を図るスポーツの祭典として、県内に広く定着している県健康福祉祭を、県南部地域や県西部地域の高齢者がより身近で参加しやすい大会とするため、南部・西部サテライト大会を実施。 ○南部サテライト大会 ・日時：令和4年10月1日ほか ・会場：那賀川河川敷明見グラウンドほか ・参加者数：854人（種目：グラウンド・ゴルフほか）</p> <p>■成果 サテライト大会の開催も10年を数え、地域の高齢者にとって生きがいづくり・健康づくりの励みとなる大会として受け入れられている。地域の高齢者人口も減少に転じる中で、こまやかな啓発活動と各団体の熱心な取り組みにより参加者を集い健康寿命の延伸に寄与している。ぬくもりと活力のある長寿社会をめざして、生涯スポーツによる健康づくりの推進を図った。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部 ダイバーシティ推進課		
<p>【施策④】 地域の医療・福祉機関等と連携し、精神障がい者ピアサポーターの養成・支援体制を整備する。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 管内精神科医療機関とピアサポーターの養成や活動について協議の場を設け、ピアサポーターと協働し、事業を実施することができた。</p> <p>■成果 地域の保健・福祉関係者を対象に、ピアサポーターと管内精神科医療機関職員を講師に招いた学習会を開催。地域の関係者が、ピアサポーターについて理解を深める機会となり、ピアサポーター自身の達成感にもつながった。</p>	B	南部総合県民局 保健福祉環境部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑤】 障がい者が高齢者等に対し、日用品等の移動販売や見守り活動を行うことにより、働く意欲と特性に応じ活躍できる場を創出し、地域に貢献する活動の推進を図る。 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 「令和4年度徳島県地域支え合い活動推進事業」として、中山間地の高齢者等への買い物支援や見守り活動の支援のため、移動販売車導入を支援した。</p> <p>■成果 その結果、阿南市、海部郡（牟岐町、美波町、海陽町）を含む20市町村において、障がい者等が移動販売による地域の見守り活動等を実施した。</p>	A	障がい福祉課		
<p>【施策⑥】 生活保護受給者をはじめ生活困窮者の自立を促進するため、ハローワーク等関係機関と連携して就労支援を推進する。 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 生活保護受給者の稼働年齢層（15歳から64歳）の中から就労可能な14人を選定し、重点的に就労支援を行った。</p> <p>■成果 2人が就労を開始し、保護脱却に至った。</p>	A	南部総合県民局 保健福祉環境部		
<p>【施策⑦】 土地改良施設や農地等の保全及び農山漁村地域の活性化の推進に対し、理解と熱意を有する地域のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成とその活動を支援する。〈再掲〉 (オ)</p>	<p>■令和4年度取組 農山漁村地域の活性化を図るため、那賀町と美波町の3名の「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動（地域内外住民との農業体験交流の場づくりと景観保全の実施等による地域活性化）を支援した。</p> <p>■成果 「ふるさと水と土指導員」が実施する地域活動の支援により、農山漁村地域の活性化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課		○
<p>【施策⑧】 過疎化や高齢化に悩む農山漁村集落と、社会貢献・地域貢献の一環として農山漁村地域を応援したい企業・大学・NPO法人等との協働による農山漁村の活性化に係る活動を「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」により支援する。 (カ)</p>	<p>■令和4年度取組 「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」により、応援を求める農山漁村集落と協働パートナーとの協働による農山漁村地域の維持保全活動を支援した。（南部圏域で3件）</p> <p>■成果 応援を求める農山漁村集落と協働パートナーとの協働活動によって、農山漁村地域の維持保全および活性化が図られた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課		
<p>【施策⑨】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮にあたり、農地・農業用水等の保全のため、地域の共同活動により行われる取組みや、中山間地域等における農業生産活動を維持するための取組み等を支援する。（再掲） (キ)</p>	<p>■令和4年度取組 多面的機能支払交付金を活用し、3,023haの農地に対する農業の多面的機能の維持・発揮のための地域協働活動を支援した。</p> <p>■成果 農地・農業用水等の保全のための地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動が促進された。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課		○



主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑩】 地域住民の河川・道路敷地の草刈り活動等を支援し、その取組みを一層促進するため、公共施設の新たな維持管理を推進する。</p> <p>(キ)</p>	<p>■令和4年度取組 県管理河川・道路において、官民協働による草刈りを実施した。 阿南管内：河川13団体・72,800㎡、道路5団体・16,400㎡ 美波管内：河川3団体・35,400㎡、道路8団体・21,800㎡</p> <p>■成果 公共施設の「新たな維持管理システム」づくりを推進した。</p>	A	南部総合県民局 県土整備部		
<p>【施策⑪】 ワーク・ライフ・バランスの向上や勤務形態の多様化に適切に対応するため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、出張相談などのアウトリーチ型支援やICT支援窓口のオンライン展開など、「テレワークセンター徳島」を拠点とした企業のテレワーク導入支援を積極的に実施するとともに、テレワーカーの養成や企業とのマッチングなど、人材の確保・育成支援を行うことで、テレワークの普及を図る。〈再掲〉</p> <p>(キ)</p>	<p>■令和4年度取組 「テレワークセンター徳島」では、テレワークツールの体験ができる「とくしまスマートライフショーケース」を備え、個人・企業からの相談に対応するとともに、ホームページやSNSを通じて情報提供を行った。また、雇用型テレワークの普及を図るため、アドバイザーによる出張相談・出前講座等を実施したほか、徳島労働局等の関係機関や障がい者雇用促進事業等の関係事業と連携した普及啓発を行った。さらに、テレワーカー等を養成するための講座等を実施するとともに、企業とのマッチング支援を行った。〈再掲〉</p> <p>■成果 「テレワークセンター徳島」を拠点とした4年間の取組により、県内へのテレワークの普及が図られた。 ・「テレワークセンター徳島」の支援によるテレワーク導入企業数 71社（R1～R4合計） ・養成した「テレワーカー」 49名、「コーディネーター」 20名（R1～R4合計）〈再掲〉</p>	A	労働雇用戦略課	○	
<p>【施策⑫】 労働力を補完する農福連携の取組を支援するため、労働力不足に悩む農業者と農業分野での就労機会を求める障がい者施設のマッチングを拡大する。</p> <p>(ク)</p>	<p>■令和4年度取組 農業者、福祉事業者双方に向けた研修会等を実施するなど、農福連携の理解増進を図った。 農業者、福祉事業者双方の不安感の払拭、ノウハウ蓄積のため、事前マッチングに基づく試行的な農福連携（お試しノウフク）を支援した。</p> <p>■成果 「お試しノウフク」をはじめセミナー、イベント等についてSNS等による情報発信を行い意識啓発・PRすることで、継続的な「農福連携」の取組に繋げることができた。</p>	A	南部総合県民局 農林水産部	○	

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●ボランティア活動の活性化を図るための情報提供や、活動支援を行う。</p> <p>●利活用可能な空き家物件情報の把握に努める。また、定住自立圏共生ビジョンの取組内容に基づき、圏域町と連携して空き家情報の連携体制を検討した上で情報の共有に努める。〈再掲〉</p> <p>●阿南市内各地域の伝統芸能、伝統文化を掘り起こし、共有の財産として後世に引き継ぐための施策を展開するとともに、広報あなんやSNSの活用により各地域の祭りなどの行事を広く市民にPRする。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動に関する取組は実施していない。</li> <li>・利活用可能な空き家を抽出し、所有者と交渉して移住者へ案内できるよう情報を登録した。</li> <li>・本市の貴重な民俗芸能である阿波人形浄瑠璃を継承している新野町にある中村園太夫座に活動補助金を交付した。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3件の空き家調査（インスペクション）を実施し、移住者へ情報提供できるよう努めた。</li> <li>・令和5年1月に中村園太夫座による阿波人形浄瑠璃の講演会を実施し、市民に広く阿南の誇る民俗芸能の普及啓発が図られた。</li> </ul>	阿南市
<p>●コミュニティの維持・活性化のほか、産業の振興や後継者育成など地域にあった活動を実施するまちづくり協議会に対して必要な支援を行い、地域の特性を活かしながら、住みよいまちづくりを目指すことを推進する。</p> <p>●文化事業として、町内に多く存続する農村舞台で、古くから受け継がれてきた人形浄瑠璃や襖からくりを地域住民が主体性をもち企画を行うと共に、後継的存在である丹生谷清流座や他の座などの協力のもと、八面、拝宮、北川、辺川、鎌瀬、坂州の6カ所の農村舞台を活用し人形浄瑠璃を上演する。今後においても人形浄瑠璃以外の利用について模索検討を行う。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>町内まちづくり協議会10団体に対しての補助を行った。コミュニティ助成事業は、活用する団体がおらず令和4年度コミュニティ助成事業は行っていない。</p> <p>■成果</p> <p>町内まちづくり協議会に補助を行うことにより、各団体の住民が交流をもち活性化が図られた。</p> <p>■令和4年度取組</p> <p>那賀町を代表する文化振興の一つにある農村舞台の活性化を目的とし、那賀町農村舞台再生協議会への支援を行い、丹生谷清流座などのへの技術の継承のための外部から講師指導として嵯峨先生、興津先生を招聘し、人情浄瑠璃の演者の育成に努める。</p> <p>■成果</p> <p>今年度においても、新型コロナウイルス拡大の状況から昨年度に引き続きいくつかの農村舞台は中止となったが、6月と11月に拝宮農村を配信方式にし、かつ11月の拝宮については地元住民限定で入場許可するなど新型コロナウイルスに配慮をしながら農村舞台の継続に努め、伝統文化の継承・発展を図った。</p>	那賀町
<p>●出羽島集落において、重伝建事業による町並み保存を計画に沿って実施し、空き家の多角的有効活用を並行して実施することで、行政・地域・地域住民の受け入れ体制整備を推進する。</p> <p>●空き家を活用した交流施設の活用を実施する。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>重伝建事業として本年度2件の修理を実施し計画的に推進している。</p> <p>■成果</p> <p>2件の修理実施と周辺の景観維持のための施策を実施した。</p>	牟岐町

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●定住促進対策条例，小規模事業起業支援制度等の有機的連携を通じ，空き家や空き店舗等の再生による小さな経済の創出と集積による地域活性化に取り組む。</p> <p>●少子高齢化が進行する地域において，介護予防をはじめ地域の見守り等に取り組む地域づくり団体を支援する。また，既存公共施設（美波町高齢者福祉センター）を改修し，高齢者をはじめ子ども等が気軽に集い，地域で支え合う拠点整備に取り組む。</p> <p>●地域コミュニティの維持，活性化のための地域おこし協力隊事業や地域づくり団体への各種支援を実施すると共に長期にわたる活動の実証や検証を行う。</p> <p>●にぎやかな過疎→「にぎやかそ」のブランド化と魅力あるまちづくりに向け，町と住民が一体となり取り組むことができるよう「にぎやかそ町民憲章」の制定をする。</p> <p>●人が集い自然環境にも恵まれ，誰もがいきいきと暮らせる持続可能なまちを目指し，SDGsの推進に取り組む。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定住促進対策条例，小規模事業起業支援制度等の有機的連携を通じ，空き家や空き店舗等の再生による小さな経済の創出と集積による地域活性化に取り組んだ。</li> <li>介護予防事業を行っている地域団体「美波のsora」へ支援を行う。</li> <li>地域コミュニティの維持，活性化のため各所団体に地域おこし協力隊の募集及び各種支援事業について周知を行った。</li> <li>令和4年3月，合併15周年を迎え，過去から現在そして未来へ，子どもたちへ希望と夢をつなぐメッセージとして，そして今を生きる町民全員の相互の信頼と誓いを込めた町民による町民のための「にぎやかそ町民憲章」を策定した。併せて，広報表紙を集めたにぎやかそ事例集を作成。</li> <li>SDGs 未来都市の選定を受け，日和佐うみがめ博物館リニューアルに際しウミガメ保護の歴史をもとにウミガメの過ごしやすい環境づくりのためクラウドファンディングを実施した。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の小規模事業起業支援制度には3件の申請（起業1件・第二創業1件・継業1件）があり，3件とも採択され支援を実施した。</li> <li>地域包括支援センターが行う介護予防事業だけでなく，防災や地域の各種団体と連携した介護予防を行うことができた。</li> <li>地域おこし協力隊として，5名が地域団体と共に地域づくり事業を実施するなど地域に貢献している。地域づくり事業では，新たに2団体が地域づくり団体に登録して，各種支援事業の受け入れが可能となった。</li> <li>徐々にではあるが，「にぎやかそ」にぎやかな過疎が定着化しつつ思われる。</li> <li>SDGs 未来都市として環境保護活動とウミガメの過ごしやすい環境づくりへ411件，14,133,000円の応援が集まった。</li> </ul>	美波町
<p>●海陽町元気になる「和」条例の基本理念の1つである「活力ある地域づくり」実現するため，「海陽町集落右上がり事業」による，農水産物の出荷支援等の農水業振興と同時に買い物弱者対策及び高齢者の見守りサービスを行い，農山漁村の活性化を図る。</p> <p>●地域おこし協力隊事業を活用し，地域コミュニティの維持・活性化を図る。</p> <p>●耕作放棄地解消に向け，企業，NPOなどを含めた観光農業，グリーンツーリズムなどの多面的な取組みを推進する。また，農用地としての利用が困難な場合は，太陽光発電施設用地等としての利用など，耕作放棄地の有効活用を図る。</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海陽町集落右上がり事業を継続。</li> <li>令和4年度は町のホームページとJOINのホームページ上で観光産業振興事業を担ってくれる隊員を募集した。</li> <li>耕作放棄地有効活用に向けて「農地中間管理機構」との連携を行い，有効活用を図った。</li> </ul> <p>■成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「海陽町集落右上がり事業」を実施し，農産物出荷支援，高齢者見守りや健康促進，いきがいつくり，地域活性化を図ることができた。</li> <li>応募者は0名であった。引き続き継続して募集を行う。</li> <li>耕作放棄地については，「農地中間管理機構」と連携を行い，農地の集積化等で耕作放棄地の対策を図ることができた。</li> </ul>	海陽町

【プラン24】だれもがかがやく未来に向けた学びの場の確保

徳島県南部圏域振興計画第4章 今後の取り組み

ア 県立総合大学校南部校主催講座の充実・利便性向上	イ 人口減少に対応した小中一貫教育の推進
ウ 「牟岐少年自然の家」体験活動拠点化の推進	エ 高等教育機関との連携強化

プラン評価	順調
事務局所見	<p>【地域創生防災部】</p> <p>県立総合大学校南部校において、大規模災害に備えるための地域防災力向上を図る「防災講座」や、地域の魅力を再発見するとともに、地域の価値を次世代へ継承していくことを目指した「南部の魅力再発見講座」を実施するなど、南部圏域ならではの課題や地域資源について、県民が知る機会を提供し、受講者自らが学び・考えることのできる未来志向の講座を開催することができた。</p>

主要業績指標

主要業績指標項目	'17(H29)実績	'19 (R1)	'20 (R2)	'21 (R3)	'22 (R4)	'22 (R4)達成度	DX	GX
県立総合大学校南部校主催講座数 '17 12講座 → '22 20講座	12講座	20講座 25講座	20講座 22講座	20講座 20講座	20講座 25講座	◎		
牟岐少年自然の家を拠点とした自然体験・交流体験等への参加者数(再掲) '17 800人 → '19~'22 年間900人	800人	900人 857人	900人 850人	900人 526人	900人 899人	◎		
県立総合大学校南部校で実施する講座回数 '17 - → '22 100講座	-	- -	- -	- -	100講座 94講座	◎		

主要施策・主要事業	令和4('22)年度実施状況及び成果	評価	担当	DX	GX
<p>【施策①】</p> <p>県立総合大学校南部校において、圏域の特性を活かした講座を充実させ、将来を担う人材の育成を図る。</p> <p>(ア)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <p>県立総合大学校南部校において、自然環境を活かしたサーフィン・SUP講座や星空観察会に加えて、R3年に世界初の本格営業運行を開始した「DMV」について学ぶ体験講座など、南部圏域ならではの地域資源を活かした学びを提供した。</p> <p>また、地域で活躍するキーパーソンの方々によるトークセッションや、地域ゆかりの若者自ら南部圏域の魅力を発信するための講座を現地・オンラインで開催し、後日アーカイブ配信するなど、オンライン講座の充実にも取り組んだ。</p> <p>■成果</p> <p>地域の自然環境・伝統文化を体験する講座や、防災に関する講座など、県民のニーズに合わせた講座を開催することで、令和元年度～令和4年度の4年間で実施した428講座において、のべ19,731人の方に学びの機会を提供することができた。</p>	A	南部総合県民局 地域創生防災部		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策②】 県立総合高等学校の主催講座等をオンデマンド配信するなど、県民の生涯学習に関する利便性の向上や学習機会の充実を図る。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 県立総合高等学校のホームページにおいて、ワンストップサービスによる総合高等学校の講座情報の提供や、主催講座のインターネット配信などを行った。 また、講座の実施方法については、「オンライン化」を推進するとともに、対面とオンラインのメリットを活かす「ハイブリッド化」も実装して、受講者が受講しやすい環境整備に努めた。</p> <p>■成果 受講しやすい環境で講座を提供したことにより、県民の生涯学習に関する利便性の向上や学習機会の充実が図られた。</p>	A	県立総合高等学校本部	○	
<p>【施策③】 大学との連携による地域の課題解決や活性化を図るため、「大学等サテライトオフィス開設支援制度」を活用し、大学のサテライトオフィスを誘致し、地域に密着した教育・研究活動や地域貢献活動を支援する。 (ア)</p>	<p>■令和4年度取組 高等教育機関との連携を強め、4大学（徳島大学、徳島文理大学、明治大学、大正大学）が、4市町（阿南市、那賀町、美波町、海陽町）に6箇所のサテライトオフィスを設置しており、「地域住民を対象とした講座の開催」や「地域資源を活用した商品開発」など、地域に密着した教育・研究活動や地域貢献活動を行う際の拠点として活用された。</p> <p>■成果 県内外の大学のサテライトオフィスの誘致を通じ、大学の有する知的・人的資源や社会貢献機能を活用して、地域の人材育成や課題解決が推進された。</p>	A	県立総合高等学校本部		
<p>【施策④】 急激に人口減少が進む中、小規模化する学校をコストをかけずに存続させ、かつ教育の質を保障するという「小中一貫教育（徳島モデル）」を県内に普及するため、県南部においてICTを活用した合同授業等に取り組む。 (イ)</p>	<p>■令和4年度取組 多様な学びを保障する小中一貫教育（徳島モデル）の全県展開に向け、実践地区交流研修会、あわ教育発表会等において、特色ある取組を県内に発信した。また、実践報告及び成果物等を県ホームページに掲載した。</p> <p>■成果 地域の特性を活かした小中一貫教育（徳島モデル）の成果を県内に普及するとともに、チェーンスクール9地域、パッケージスクール4地域、全実践地域が13地域に達した。</p>	A	教育委員会	○	
<p>【施策⑤】 牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験や出張授業による自然学習、交流体験、食育等を推進する。〈再掲〉 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 牟岐少年自然の家の主催事業・共催事業において「海辺の環境学習」や「わんぱく冒険王」などの自然体験、交流体験活動を11事業実施した。さらに、穴喰小学校や鷺敷小学校等の小学生を対象に、オンライン（5回）も含め全9回の出前授業を実施した。</p> <p>■成果 一部天候の影響を受けて中止となった事業もあったが、宿泊を伴う体験活動を充実させ、前年度より引き続きオンラインを活用した小学生対象の出前授業を実施するなど、様々な手法で地域の自然や文化活動の魅力を発信することができた。</p>	A	教育委員会		

主要施策・主要事業	令和4（'22）年度実施状況及び成果	評価	担 当	DX	GX
<p>【施策⑥】 外国人との交流や体験活動の機会を提供する際に、県南施設や観光資源などを有効活用し、小・中・高校生を対象にした英語によるキャンプ等を実施し、グローバル人材育成の取組みを行う。 (ウ)</p>	<p>■令和4年度取組 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小・中・高校生それぞれを対象とした英語キャンプは、近隣施設での参集による活動とオンラインによる活動を併用して実施した。</p> <p>■成果 新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、令和2年度から令和4年度半ばまで、キャンプの大半は予定を変更し、オンラインを活用して実施した。児童生徒が生きた英語に触れ、異文化理解を深めたり、英語によるコミュニケーション能力を向上させることができた。</p>	A	教育委員会		
<p>【施策⑦】 豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。〈再掲〉 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組 徳島森林管理署、南部総合県民局及び那賀町との連携・協力のもと、「労働安全特別教育（チェーンソー）や刈り払い機」「小型移動式クレーン運転技能講習等」の資格取得を実施した。また、測量分野における産業用ドローン活用方法についても学んだ。地元中学校との交流学习では、木頭スギを使ったイス作りを実施し、次世代への林業教育の充実を図った。</p> <p>■成果 四年制大学への進学や公務員、地域の林業関連産業への就職など、林業に関する様々な知識や技術を身に付け、地域林業を担う人材育成が図られた。</p>	A	教育委員会		
<p>【施策⑧】 高大連携や地域・民間連携の拠点となる高校・大学・地元企業が一体化した阿南光高校新野キャンパスにおいて、徳島大学との高大接続教育や産業界と連携した研究開発及び防災教育活動に取り組み、イノベーションを創出できる人材を育成します。〈再掲〉 (エ)</p>	<p>■令和4年度取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イシマササユリ保護活動（6月・11月実施）</li> <li>2 植物工場での水耕栽培の共同研究</li> <li>3 徳島大学との高大接続講義</li> <li>4 徳島大学及び地域の企業と連携した「あらたのマルシェ」の開催</li> <li>5 徳島大学及び地域と連携した「広域防災訓練」の実施</li> </ol> <p>■成果 徳島大学や地域との持続可能な連携を構築し、地域の活性化と地方創生を担う人材の育成が図られた。</p>	A	教育委員会		

市・町関連施策	令和4（'22）年度実施状況及び成果	市町名
<p>●大学との共同研究により、建築に携わる学生の人材育成を兼ねて空き家の利活用を進める。</p> <p>●大学生、高校生、中学生が主体となり、多様な学びの場づくりに取り組み、地域住民や外部支援者等との交流を通じて町を担う人材を創出する。</p>	<p>■令和4年度取組 本年も新型コロナウイルス感染拡大の影響から健康状態良好な県内大学生による対面方式、その他県外大学生についてはリモートでの対応により多様な学びの場の提供に努めた。</p> <p>■成果 このコロナ禍で可能な限り実施し成果は継続している。</p>	牟岐町
<p>●門前町の再生、道の駅の魅力向上や新商品開発、南海トラフ地震・津波対策や事前復興まちづくり計画、点在集落の持続と活性化、日和佐町漁協周辺整備の検討など、多様な分野において、それぞれ専門性を有する大学や研究者、学生等との連携を深める。</p>	<p>■令和4年度取組 徳島大学・美波町地域づくりセンターと連携し、南海トラフ巨大地震に対応するための防災まちづくりを推進した。門前町のほか、まち中再生における神奈川大学との連携では、設計士・学生が美波町に駐在また訪問し活動をおこなった。</p> <p>■成果 防災まちづくり、地域づくりが図られた。新たな空き家の活用に向けた調査や、空き地を活用したポケットパークの提案等連携を図れた。</p>	美波町
<p>●豊かな自然と地域資源（ストック）を活かして、教育機関と連携し、「山村留学」による小中学生の受け入れを実施する。</p> <p>●地域、大学及び行政の連携の下、地域をキャンパスに大学が授業を実施し、若者の発想や視点を活かした新たな地域活性化のための取組みを図る。</p>	<p>■令和4年度取組 「山村留学」事業は実施していない。</p> <p>■成果 コロナ禍であるが、昨年に引き続き、令和4年12月に四国大学生生活科学部と大学連携事業として、鞆浦地区に「苔アート」を制作して、話題作りを行った。</p>	海陽町